SONY

4-668-324-01(1)

VAIOを使って楽しもう！

ノートブックコンピューター

PCG-NV_E Series

Microsoft® Windows®
XP Home Edition 搭載モデル

取扱説明書

お買いあげいただきありがとうございます

⚠警告

家電製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。
この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な
注意事項と製品の取り扱いかたをしめしています。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、
製品を安全にお使いください。

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。
しかし、電気製品は間違った使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故につながることがあり危険です。
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

7～14ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

故障したら使わない

すぐにVAIOカスタマーリンク修理窓口に修理をご依頼ください。

万一異常が起きたら

- 煙が出たら
- 異常な音、においがしたら
- 内部に水、異物が入ったら
- 製品を落としたり、キャビネットを破損したとき

❶ 電源を切る
❷ 電源コードや接続ケーブルをを抜き、バッテリを取りはずす
❸ VAIOカスタマーリンク修理窓口に修理を依頼する

データはバックアップをとる

ハードディスク内の記録内容は、バックアップをとって保存してください。ハードディスクにトラブルが生じて、記録内容の修復が不可能になった場合、当社は一切その責任を負いません。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながることがあります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

注意

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

水ぬれ禁止

ぬれ手禁止

行為を指示する記号

指示

プラグをコンセントから抜く

電気通信事業法に基づく認定について

本製品は、電気通信事業法に基づく技術基準適合認定を受けています。認証機器名は次のとおりです。
認証機器名：PCG-9F1N/9F4N/9F1Q/9F2Q

電波法に基づく認証について（PCG-NV99E/BなどのワイヤレスLAN搭載モデルのみ）

本機内蔵のワイヤレスLANカードは、電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。
従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。
ただし、以下の事項を行うと法律に罰せられることがあります。

- 本機内蔵のワイヤレスLANカードを分解／改造すること
- 本機内蔵のワイヤレスLANカードに貼られている証明ラベルをはがすこと

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

瞬時電圧低下について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお薦めします。

（社団法人電子情報技術産業協会（旧JEIDA）のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）
* 充電されたバッテリ使用時には、無停電電源装置等は不要です。

レーザー安全基準について

この装置には、レーザーに関する安全基準（JIS・C-6802）クラス1適合のCD-RW/DVD-ROM一体型ドライブが搭載されています。また、この装置に装着して使用するNet MD ベイ ユニットには、レーザーに関する安全基準（JIS・C-6802）クラス1適合のMD ドライブが搭載されています。

高調波電流規制について

この装置は、高調波ガイドライン適合品です。

無線の周波数について（PCG-NV99E/BなどのワイヤレスLAN搭載モデルのみ）

本製品は2.4 GHz帯を使用しています。他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

本製品の使用上のご注意

本製品の使用周波数は2.4 GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. 不明な点その他お困りのことが起きたときは、VAIOカスタマーリンクまでお問い合わせください。VAIOカスタマーリンクについては、付属の「バイオ サービス・サポートのご案内」をご覧ください。

2.4DS4

この表示のある無線機器は2.4 GHz帯を使用しています。変調方式としてDS-SS変調方式を採用し、与干渉距離は40 mです。

目次

はじめにお読みください

バイオを準備する

コンピュータの基本的な使いかた

インターネットを始める

電子マニュアル「サイバーサポート」の使いかた

ワイヤレスLANを使ってみる

本機を拡張する

次のページへつづく

その他

困ったときは

画面で見る電子マニュアル「サイバーサポート」について

本機には電子マニュアル「サイバーサポート（CyberSupport for VAIO）」（以降、「サイバーサポート」と略します）が付属しています。「サイバーサポート」は、バイオの使いかたや楽しみかたをディスプレイ画面上で説明する電子マニュアルです。
この説明書の内容以外にもさまざまな情報を見ることができます。
使いかたについて詳しくは、「電子マニュアル「サイバーサポート」の使いかた」（124ページ）をご覧ください。

⚠警告 火災 感電 下記の注意事項を守らないと**火災・感電**などにより**死亡**や**大けが**の原因となります。

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 本機と机や壁などの間にはさみこんだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、VAIOカスタマーリンク修理窓口に交換をご依頼ください。

油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には置かない

上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となります。この取扱説明書に記されている使用条件以外の環境でのご使用は、火災や感電の原因となります。

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。
万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続ケーブルを抜いて、VAIOカスタマーリンク修理窓口に点検・修理をご依頼ください。

内部をむやみに開けない

- 本機および付属の機器(ケーブル含む)は、むやみに開けたり改造したりすると火災や感電の原因となります。内部の点検、修理はVAIOカスタマーリンク修理窓口にご依頼ください。
- メモリモジュールを取り付けたり、取りはずすときは、「メモリモジュールを取り付ける/取りはずす」(158ページ)に従って注意深く作業してください。また、指定されている部分以外には触れないでください。指定以外の部分にむやみに触れると、火災や感電の原因となります。

指定のACアダプタ以外は使用しない

火災や感電の原因となります。

⚠警告 火災 感電 下記の注意事項を守らないと**火災・感電**などにより**死亡**や**大けが**の原因となります。

ひざの上で長時間使用しない

長時間使用すると本機の底面が熱くなり、低温やけどの原因となります。

禁止

本機は日本国内専用です

本機に内蔵されているモデムは国内専用です。
海外などでモデムを使用すると、故障・火災・感電の原因となることがあります。

指示

モデムは一般電話回線以外に接続しない

本機の内蔵モデムをISDN（デジタル）対応公衆電話のデジタル側のジャックや、構内交換機（PBX）へ接続すると、モデムに必要以上の電流が流れ、故障・発熱・火災の原因となります。
特に、ホームテレホン・ビジネスホン用の回線などには、絶対に接続しないでください。

禁止

品 NETWORK（ネットワーク）コネクタに指定以外のネットワークや電話回線を接続しない

本機の 品 NETWORK（ネットワーク）コネクタに次のネットワークや回線を接続すると、コネクタに必要以上の電流が流れ、故障や発熱、火災の原因となります。
特に、ホームテレホンやビジネスホンの回線には、絶対に接続しないでください。

- 10BASE-Tと100BASE-TXタイプ以外のネットワーク
- 一般電話回線
- ISDN（デジタル）対応公衆電話のデジタル側のジャック
- PBX（デジタル式構内交換機）回線
- ホームテレホンやビジネスホンの回線
- 上記以外の電話回線など

また、品 NETWORK（ネットワーク）コネクタをお使いになるときは、職場などのネットワーク管理者にご相談ください。

禁止

落雷のおそれがあるときは本機を使用しない

落雷により、感電したり本機が故障することがあります。
雷が予測されるときは、火災や感電、製品の故障を防ぐためにテレホンコードや電源プラグを抜いてください。
また、雷が鳴り出したら、本機には触らないでください。

禁止

⚠警告 下記の注意事項を守らないと、**医療機器**などを**誤動作させる**おそれがあり**事故**の原因となります。

満員電車の中など混雑した場所ではワイヤレス機能を使用しない

付近に心臓ペースメーカーを装着されている方がいる可能性のある場所では、WIRELESS LANスイッチを「ON ▶」と反対方向に合わせてください。
電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

心臓ペースメーカーの装着部位から22 cm以上離して使用する

電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

病院などの医療機関内、医療用電気機器の近くではワイヤレス機能を使用しない

WIRELESS LANスイッチを「ON ▶」と反対方向に合わせてください。
電波が影響を及ぼし、医療用電気機器の誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

本製品を使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合は、ワイヤレス機能を使用しない

WIRELESS LANスイッチを「ON ▶」と反対方向に合わせてください。
電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

航空機内ではワイヤレス機能を使用しない

WIRELESS LANスイッチを「ON ▶」と反対方向に合わせてください。
電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

⚠警告　下記の注意事項を守らないと、
健康を害するおそれがあります。

ディスプレイ画面を長時間続けて見ない

ディスプレイなどの画面を長時間見続けると、
目が疲れたり、視力が低下するおそれがあります。
ディスプレイ画面を見続けて体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。

キーボードを使いすぎない

キーボードやタッチパッド、センタージョグなどを
長時間使い続けると、腕や手首が痛くなったりすることがあります。
キーボードやタッチパッド、センタージョグを使用中、体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。万一、休息しても
不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。

大音量で長時間つづけて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。特にヘッドホンで聞くときはご注意ください。
呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。

⚠注意　下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**物品**に**損害**を与えたりすることがあります。

ぬれた手で電源プラグにさわらない

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをすると、感電の原因となることがあります。

接続するときは電源を切る

ACアダプタや接続ケーブルを接続するときは、本機や接続する機器の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。感電や故障の原因となることがあります。

指定された電源コードや接続ケーブルを使う

この説明書に記されている電源コードや接続ケーブルを使わないと、感電や故障の原因となることがあります。

電源コードや接続ケーブルをACアダプタに巻き付けない

断線や故障の原因となることがあります。

排気口、吸気口をふさがない

排気口、吸気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。風通しをよくするために次の項目をお守りください。

- 毛足の長い敷物(じゅうたんや毛布など)の上に放置しない。
- 布などでくるまない。

排気口からの排気に長時間あたらない

本機をご使用中、その動作状況により排気口から温風が排出されることがあります。
この温風に長時間あたると、低温やけどの原因となる場合があります。

⚠注意 下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**物品**に**損害**を与えたりすることがあります。

通電中の本機やACアダプタに長時間ふれない

長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

本機やACアダプタを布や布団などでおおった状態で使用しない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置かないでください。また、横にしたり、ひっくり返して置いたりしないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

本機の上に重いものを載せない

壊れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。

お手入れの際は、電源を切って電源プラグを抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

移動させるときは、電源コードや接続ケーブルを抜く

接続したまま移動させると、ケーブルが傷つき、火災や感電の原因となったり、接続している機器が落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
また、本機を落とさないようにご注意ください。

コネクタはきちんと接続する

- コネクタの内部に金属片を入れないでください。ピンとピンがショート(短絡)して、火災や故障の原因となることがあります。
- コネクタはまっすぐに差し込んで接続してください。斜めに差し込むと、ピンとピンがショートして、火災や故障の原因となることがあります。
- コネクタに固定用のスプリングやネジがある場合は、それらで確実に固定してください。接続不良が防げます。

長時間使用しないときは電源プラグを抜く

長時間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

直射日光のあたる場所や熱器具の近くに設置・保管しない

内部の温度が上がり、火災や故障の原因となることがあります。

液晶画面に衝撃を与えない

液晶画面はガラス製のため、強い衝撃を与えると割れて、けがの原因となることがあります。

ディスプレイパネルの裏側を強く押さない

液晶画面が割れて、故障やけがの原因となることがあります。

本機に強い衝撃を与えない

故障の原因となることがあります。

電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠危険

- 指定された充電方法以外で充電しない。
- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解しない。電子レンジやオーブンで加熱しない。コインやヘヤーピンなどの金属類と一緒に携帯、保管するとショートすることがあります。
- 火のそばや炎天下などで充電したり、放置しない。
- バッテリに衝撃を与えない。
  落とすなどして強いショックを与えたり、重いものを載せたり、圧力をかけないでください。故障の原因となります。
- バッテリから漏れた液が目に入った場合は、きれいな水で洗ったあと、ただちに医師に相談してください。
- 本機に付属または指定された別売りのバッテリ以外は使用しないでください。

⚠警告

バッテリを廃棄する場合は、以下のご注意をお守りください。

- 地方自治体の条例などに従う。
- 一般ゴミに混ぜて捨てない。

または、ソニーサービスステーションにお持ちください。

本機の発熱についてのご注意

使用中に本機の底面やACアダプタが熱くなることがあります

CPUの動作や充電時の電流によって発熱していますが、故障ではありません。使用している拡張機器やソフトウェアによって発熱量は異なります。

本機やACアダプタが普段よりも異常に熱くなったときは

本機の電源を切り、ACアダプタの電源コードを抜き、バッテリを取りはずしてください。次に、VAIOカスタマーリンク修理窓口に修理をご依頼ください。

VAIO

はじめにお読みください

バイオでこんなことができます

本機は大型液晶ディスプレイを搭載し、デジタルスチルカメラやデジタルビデオカメラレコーダーなどのAV 機器と組み合わせて使うことを想定した、ソニーならではのノートブックコンピュータです。
また、携帯電話やPHSとつないで、外出先でもインターネットに接続して情報収集したり、電子メールで情報交換できます。
ここでは、本機を使ってできることの例をご紹介します。

MDや“メモリースティック”を使って音楽を楽しむ

付属の「SonicStage」ソフトウェアを使って、インターネットから配信された音楽データや音楽CDの曲を本機に取り込んで再生することができます。
本機に取り込んだ音楽データをMDや“メモリースティック”に転送（チェックアウト）して、お手持ちのMD機器や“メモリースティック”対応機器で楽しむこともできます。

コンパクトウーファー ベイを使う（PCG-NV99E/B・NV95ENなどのコンパクトウーファー ベイ同梱モデルのみ）

本機にコンパクトウーファー ベイを装着することで、音楽を再生する際に迫力のある中低音を楽しむことができます。

テンキーで数字を入力する

本機にテンキー ベイを装着することで、計算機感覚で数字の入力が行えます。付属の家計簿ソフトウェアを使うときなどに便利です。

センタージョグを便利に使う

センタージョグを回したり押したりするだけで、さまざまな操作が簡単にできます。例えば、ポインタを動かさずにウィンドウを上下にスクロールしたり、メニューから項目を選択することができます。
タッチパッド・左右ボタンの中央部に配置されているので、キーボードを使いながらでも操作がスムーズに行えます。

画像を取り込んで加工する

“メモリースティック”やデジタルビデオカメラレコーダーなどから画像を取り込んで次のようなことができます。

- 付属の「MovieShaker」や「DVgate」ソフトウェアを使って、ビデオ特集。
- 付属の「PictureGear Studio」ソフトウェアを使って、静止画加工や、オリジナルのフォトアルバムやCD・MDのラベル作り。

撮影している動画をインターネット上で放送する

本機につないだデジタルビデオカメラレコーダーで撮影した映像を、付属の「URecSight」ソフトウェアを使ってインターネットで生放送することができます。

家庭内で無線通信（ワイヤレスLAN）を楽しむ（PCG-NV99E/BなどのワイヤレスLAN搭載モデルのみ）

ADSLモデムなどにつながれたワイヤレスLANアクセスポイント（別売り）と無線で通信することで、ご家庭でも簡単にワイヤレスブロードバンドが楽しめます。

家の中でワイヤレス通信！

次のページへつづく

バッテリを上手に使う

付属の「PowerPanel」ソフトウェアを使って、バッテリでの使用時間を優先したり、バッテリの残量などを簡単に把握することができます。

これらの機能をお使いいただくには、最初に、「Windowsを準備する」(37ページ)の手順に沿って本機を使えるよう準備を行う必要があります。また、それぞれの操作について詳しくは、本機電子マニュアル「サイバーサポート」または各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

こんなときはこのマニュアル

本機に付属しているマニュアルの内容を簡単に紹介します。それぞれの目的に合わせてお読みください。
画面で見る電子マニュアル「サイバーサポート」の使いかたについて詳しくは、「電子マニュアル「サイバーサポート」の使いかた」（124ページ）をご覧ください。

本機の使いかたを知りたい場合は

❑ 取扱説明書 本書

基本的な使いかたなど、本機を使ううえで大事なことを記載しています。

❑ サイバーサポート

本機の使いかたや楽しみかた、インターネットへの接続方法など、本機について詳しく説明した、デスクトップの画面上で見る電子マニュアルです。
デスクトップ画面上の をダブルクリックして起動します。

❑ バイオ サービス・サポートのご案内

本機に付属の電子マニュアル「サイバーサポート」の使いかたや、VAIOカスタマーリンクなどのサービス・サポートについて説明しています。

❑ How to VAIO

バイオの基礎を学べる学習ツールです。

次のページへつづく

❑ ヘルプとサポートセンター

液晶ディスプレイ右下にあるHELPボタン（22ページ）を押して起動します。または、デスクトップ画面左下の スタート ボタンをクリックして、表示されるメニューから［ヘルプとサポート］をクリックしても起動できます。

本機に付属しているソフトウェアについて知りたい場合は

❑ サイバーサポート

本機に付属のソフトウェアの起動方法やお問い合わせ先などを説明しています。「サイバーサポート」画面左側の 付属ソフトの紹介 をクリックして表示される一覧から、各ソフトウェアの項目をクリックして表示される情報をご覧ください。

❑ VAIO Media ホームネットワーク準備ガイド

ホームネットワークを楽しむための準備について説明しています。

❑ バイオで音楽を楽しもう！

本機に付属の「SonicStage」ソフトウェアと「Drag'n Drop CD」ソフトウェアを使って、音楽を楽しむ方法を紹介しています。

❑ ソニー製ソフトウェアのヘルプ

各ソフトウェアのヘルプメニューから、ヘルプを選びます。

❑ その他のソフトウェアのヘルプ

ソニー製以外のソフトウェアにもメニューからヘルプを参照できるものがあります。

電子マニュアルとは

本機やソフトウェアの操作説明などをデスクトップ画面上で読めるようにしたマニュアルのことです。

ヘルプとは

ソフトウェアやWindowsなどの操作がわからなくなったときに、デスクトップ画面上でその解決方法についての情報を検索して、表示する機能のことです。

各部のなまえ

本機正面

1 液晶ディスプレイ

2 キーボード（62ページ）

3 タッチパッド（60ページ）
マウスの代わりに画面上のポインタを動かします。

4 左／右ボタン（60ページ）
マウスの左／右ボタンに相当します。

5 ⏻（パワー）ボタン（35ページ）

次のページへつづく

1 IDラベル（203、216ページ）
型名が記載されています。

2 内蔵スピーカー

3 吸気口

4 (Num Lock）ランプ（63ページ）
Num Lockキーを有効にすると点灯します。

5 (Caps Lock）ランプ（64ページ）
Caps Lockキーを有効にすると点灯します。

6 (Scroll Lock）ランプ（68ページ）

7 WIRELESS LANスイッチ（PCG-NV99E/BなどのワイヤレスLAN搭載モデルのみ）（140ページ）
ワイヤレスLANの電波をオン／オフします。

8 HELPボタン（268ページ）
「ヘルプとサポートセンター」が起動します。

1 ⏻（パワー）ランプ（35ページ）
電源が入ると緑色に点灯します。

2 ▭（バッテリ）ランプ
バッテリの状態をお知らせします。

3 ⌸（ハードディスク）ランプ
ハードディスクにアクセスしているときに点灯します。

4 MG（メモリースティック）ランプ
“メモリースティック”にアクセスしているときに点灯します。

5 MG（マジックゲート対応メモリースティック）スロット
“メモリースティック”を挿入します。

6 WIRELESS LANランプ（PCG-NV99E/Bなどのワイヤレス LAN搭載モデルのみ）（140ページ）
ワイヤレスLANを使用しているときに点灯します。

7 センタージョグ
ウィンドウのスクロールや項目の選択など、各ソフトウェアの操作の一部を行うことができます。

8 BACKボタン
センタージョグの操作中に、ひとつ前の階層に戻したいときなどに使います。

次のページへつづく

本機左側面

1 PCカードスロット

2 （マイク）コネクタ（179ページ）
マイクをつなぎます。
ヘッドホンコネクタと区別がしやすいように、マイクコネクタの左に突起がついています。マイクをお使いになるときは、誤ってヘッドホンコネクタに接続しないようにご注意ください。

3 （ヘッドホン）コネクタ（178ページ）
ヘッドホンやスピーカーをつなぎます。

4 音量調整ダイヤル

5 A/V OUTコネクタ（175ページ）
テレビをつなぎます。

6 NETWORK（ネットワーク）コネクタ（171ページ）
LANケーブルなどをつなぎます。

7 TEL LINE（モジュラジャック）（81ページ）

8 S400（i.LINK）コネクタ（170ページ）
i.LINK端子の付いた他の機器とデータをやりとりできます。

本機右側面

1 **バッテリベイ(33ページ)**
バッテリを取り付けます。

2 **CD-RW/DVD-ROM一体型ドライブ**

3 **エンターテインメントベイ**
工場出荷時には、あらかじめフロッピーディスクドライブ ベイが取り付けられています(164ページ)。フロッピーディスクドライブ ベイを取りはずして、Net MD ベイ、テンキー ベイ、コンパクトウーファーベイなどのベイユニットを取り付けることもできます(167ページ)。

4 **CD-RW/DVD-ROM一体型ドライブ マニュアルイジェクト穴、イジェクトボタン、アクセスランプ**

次のページへつづく

本機後面

1 ⊖-Ͼ-⊕ DC INコネクタ（34ページ）
ACアダプタをつなぎ、電源コンセントにつなぎます。

2 USBコネクタ（172ページ）
USB規格に対応した機器をつなぎます。

3 IOIOI SERIALコネクタ（180ページ）
ターミナルアダプタや外部モデムなどをつなぎます。

4 PRINTERコネクタ（173ページ）
プリンタをつなぎます。

5 MONITORコネクタ（174ページ）
コンピュータ用ディスプレイをつなぎます。

6 **排気口**

本機底面

1 **吸気口**

2 **リセットスイッチ**
（218、219、220、221ページ）

3 **排気口**

4 RELEASEレバー（164、169ページ）
エンターテインメントベイに取り付けたベイユニットを取りはずします。

5 **ポップアップチルトスタンド**
以降、チルトスタンドと略します。
Net MD ベイやコンパクトウーファー ベイを使うときは、左右のボタンを押してチルトスタンドを起こします。また、立てて使うと、キーボードを使うときに手首に負担がかからないなど、通常お使いになるときも立てて使うことができます。

VAIO

バイオを準備する

操作の流れ

本機をお使いになる前に必要な準備や操作の大まかな流れを以下に示します。

1 付属品を確かめる（30ページ）

箱を開け、この説明書を読みながら本機の付属品がすべてそろっているか確かめます。

2 電源を入れる（33ページ）

本機の電源を入れます。

3 Windowsを準備する（37ページ）

Windowsを使うために、名前などを登録します。

4 カスタマー登録する（43ページ）

登録カスタマー専用のいろいろなサービスを受けられるように、本機をカスタマー登録してください。

5 電源を切る（55ページ）

本機の電源を切ります。

必要に応じて下記もご覧ください。

❑ コンピュータの基本操作（57ページ）

コンピュータを初めてお使いになる方のために、キーボードの使いかたなどについて説明しています。

❑ インターネットに接続する（69ページ）

インターネットを始めたい方のために、インターネット接続のための準備、ホームページの見かたや電子メールのやりとりのしかたについて説明しています。

❑ ワイヤレスLANを使う（137ページ）

ワイヤレスLANを使って、無線通信を行うときにご覧ください。

❑ メモリを増設するときは（158ページ）

本機を拡張するときにご覧ください。

❑ 周辺機器を接続するときは（164～180ページ）

本機と周辺機器を接続するときにご覧ください。

❑ その他（181ページ）

本機をお使いになる際のご注意やお手入れのしかたなどについて説明しています。

❑ 困ったときは（213ページ）

本機を操作していてトラブルが発生したときにご覧ください。

付属品を確かめる

本機を初めて使うにあたって、以下のものがすべてそろっているかご確認ください。
❑ マークにチェックしながら確認すると便利です。
付属品が足りないときや破損しているときは、VAIOカスタマーリンクにご連絡ください。
なお、付属品は本機のみで動作保証がされています。

❑ **パソコン本体（1）**

❑ **ACアダプタ（1）**

❑ **バッテリ（1）**

❑ **ウェイトセーバー（1）**

（エンターテインメントベイを
使わないときに使用します。）

❑ **電源コード（1）**

❑ **テレホンコード（1）**

❑ **AV接続ケーブル（1）**

❑ **3.5型フロッピーディスクドライブ
ベイ ユニット**

以降、フロッピーディスクドライブ
ベイと略します。
（工場出荷時にはあらかじめ
本機に装着されています）

❑ Net MD ベイ ユニット

以降、Net MD ベイと略します。
（PCG-NV99E/BなどのNet MD ベイ同梱モデルのみ、1）

❑ テンキー ベイ ユニット

以降、テンキー ベイと略します。
（PCG-NV99E/Bなどのテンキー ベイ同梱モデルのみ、1）

❑ コンパクトウーファー ベイ ユニット

以降、コンパクトウーファー ベイと略します。
（PCG-NV99E/B・NV95ENなどのコンパクトウーファー ベイ同梱モデルのみ、1）

説明書およびCD-ROM

❑ 取扱説明書（本書、1）

❑ VAIO Media ホームネットワーク準備ガイド（1）

❑ バイオで音楽を楽しもう！（1）

❑「Microsoft® Windows® XP Home Edition*」ファーストステップガイド（1）

❑ リカバリ CD-ROM パッケージ（1）

❑ Office XP Personal プレインストールパッケージ（PCG-NV99E/BなどのOffice XP Personalプレインストールモデルのみ、1）

❑ ファンタシースターオンラインCD-ROMおよびインストール手順説明書（1）

* この説明書では以降、Windows XPと略します。特に必要な場合は正式名称を記載します。

その他

❑ VAIOカスタマー登録、保証書お申込書（1）

❑ バイオ サービス・サポートのご案内（1）

❑ VAIOカルテ（1）

❑ ソフトウェア使用許諾契約書（1）

❑ その他パンフレット類

大切な情報が記載されている場合があります。必ずご覧ください。

本機に付属のソフトウェアについては、「付属ソフトウェアお問い合わせ先」（207ページ）をご覧ください。

この説明書の説明図や画面について

この説明書で使われている説明図や画面は実際のものと異なる場合があります。
特に指示のない限り、本文中の説明図にはPCG-NV99E/Bを使用しています。

電源を入れる

バッテリを取り付ける。

停電や誤ってAC電源がはずれ、作業中のデータが失われてしまうことのないよう、付属のバッテリを取り付けます。

① バッテリベイのふたを開ける。

② バッテリを挿入する。

③ バッテリベイのふたを閉じる。

「カチッ」と音がするまでしっかりと閉じてください。

次のページへつづく

2 AC電源をつなぐ。

本機と壁のACコンセントを接続します。

① 電源コードのプラグをACアダプタに差し込む。

② 電源コードのもう一方のプラグを、壁のコンセントに差し込む。

③ ACアダプタのプラグを、本機後面の ⊖-●-⊕ DC INに差し込む。

3 ディスプレイロックレバーを矢印の方向にずらしながら、ディスプレイパネルを開く。

⏻（パワー）ボタンを押し、⏻（パワー）ランプが点灯（グリーン）したら離す。

電源が入ると、⏻（パワー）ランプが緑色に点灯し、Windowsのロゴの画面が表示され、本機が起動します。

ご注意

⏻（パワー）ボタンを4 秒以上押したままにすると、電源が切れてしまいます。⏻（パワー）ランプが点灯したら指を離してください。

本機の電源を初めて入れる場合は、Windowsのロゴの画面が表示され、しばらくして「Microsoft Windowsへようこそ」画面が表示されます。
「Microsoft Windowsへようこそ」画面が表示されたら、「Windowsを準備する」（37ページ）の手順に従って、Windowsのセットアップを行ってください。

ご注意

「Microsoft Windowsへようこそ」画面が表示されるまでにしばらく時間がかかりますが、そのままお待ちください。途中で電源を切るなどの操作を行うと、本機の故障の原因となります。

本機の2回目の起動時か、「Norton AntiVirus」ソフトウェアを初めて起動したときは、「Norton AntiVirus情報ウィザード」画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

次のページへつづく

本機はエネルギースター規格に基づいて設計されており、工場出荷時の設定では、AC電源でご使用中に約30分操作しないと、自動的に現在作業中の状態を保持したまま、省電力動作モードへ移行します（スタンバイ*1）。本機のキーボードのいずれかのキーを押すか（テンキー ベイのキーは無効）、⏻（パワー）ボタン*2 を押すと、元の状態に戻ります。
AC電源でご使用中に自動的にスタンバイに移行しないように設定することもできます。*3
また、バッテリで長時間使用できるようにするため、工場出荷時の設定では、バッテリでご使用中に数分間以上操作をしないと自動的に本機の液晶ディスプレイが暗くなります（LCD/Video スタンバイ*1 またはスタンバイ）。
さらに数分間以上操作をしないとシステムの状態をハードディスクに書き込んでから自動的に本機の電源を切ります（休止状態*1）。
元の状態に復帰させるには、⏻（パワー）ランプの状態により次の操作を行ってください。

- ⏻（パワー）ランプがグリーンで点灯（LCD/Videoスタンバイ）
  タッチパッドに触れるか、キーボードのいずれかのキーを押す。
- ⏻（パワー）ランプがアンバー（赤褐色）で点滅（スタンバイ）
  本機のキーボードのいずれかのキー（テンキー ベイのキーは無効）または⏻（パワー）ボタンを押す。*2
- ⏻（パワー）ランプが消灯（休止状態または電源オフ）
  ⏻（パワー）ボタンを押す。

*1 詳しくは、「サイバーサポート」画面左側の バイオの使いかた をクリックし、[設定を変更する] → [バッテリの消費電力を節約する（「PowerPanel」の使いかた）] → [省電力動作モードについて] の順にクリックして表示される情報をご覧ください。
*2 ⏻（パワー）ボタンを4秒以上押しつづけると保存された状態が破棄されますのでご注意ください。
*3 詳しくは、「サイバーサポート」画面左側の バイオの使いかた をクリックし、[設定を変更する] → [バッテリの消費電力を節約する（「PowerPanel」の使いかた）] → [プロファイルのパワーマネージメント設定を変更する] の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

Windowsを準備する

本機を使う前に、Windowsを使うための準備が必要です。
Windowsが使える状態になると、本機に付属のソフトウェアやいろいろな機能も使えるようになります。次の手順に従って、Windowsを使う準備をします。

- 停電や誤ってAC電源がはずれ、作業中のデータが失われてしまうことのないよう、次の操作を行う前に付属のバッテリを本機に取り付けてください。
  取り付けかたについては「電源を入れる」（33ページ）をご覧ください。
- 「タッチパッドを使う」（60ページ）や「キーボードを使う」（62ページ）では、タッチパッドやキーボードの使いかたについて説明しています。そちらもあわせてご覧ください。

「Microsoft Windowsへようこそ」画面が表示されたら、画面右下にある ➡ をクリックする。

タッチパッドに触れて指を動かし、➡ の上までポインタを移動し、左ボタンを「カチッ」と1回押してすぐに離します。
これを「クリックする」と言います。

次のページへつづく

「使用許諾契約」画面が表示されます。

2 画面に表示された内容を読み、内容に同意するときは［同意します］の ◯ をクリックして ◉ にし、 ➔ をクリックする。

ご注意

［同意しません］の ◯ をクリックすると、Windowsの準備作業は中止され、Windowsと本機に付属のソフトウェアはお使いになれません。

「コンピュータに名前を付けてください」画面が表示されます。

3 必要な場合はコンピュータ名を変更し、→ をクリックする。

コンピュータ名は、本機をネットワークに接続して使用する場合にコンピュータを識別するために必要です。「このコンピュータの名前」の欄に自動的に表示されますが、必要な場合は認識しやすい名前に変更してください。

また、コンピュータにわかりやすい説明をつけることもできます。その場合は「コンピュータの説明」欄に入力してから をクリックしてください。

「インターネット接続が選択されませんでした」画面が表示されます。

4 → をクリックする。

「Microsoftにユーザー登録する準備はできましたか？」画面が表示されます。

次のページへつづく

5

［いいえ、今回はユーザー登録しません］の ◯ をクリックして ◉ にし、 をクリックする。

［はい、今すぐユーザー登録します］を選んで ➡ をクリックすると、マイクロソフトへのオンライン登録ができます。ただし、オンライン登録するには本機を電話回線に接続しておく必要があります。
インターネットに接続するための設定について詳しくは、「インターネットを始める」（70ページ）をご覧ください。

「このコンピュータを使うユーザーを指定してください」画面が表示されます。

6

ユーザーの名前を入力し、 をクリックする。

複数のユーザーを入力した場合、ここで入力した名前は、本機の電源を入れたときに表示される「ようこそ」画面に表示されます。Windowsを起動するときは、表示された名前をクリックします。

Windowsのセットアップ完了後に、使用するユーザーを追加したり、設定を変更することもできます。詳しくは、「本機を2名以上の複数のユーザーでお使いになるには」（42ページ）の内容、または「サイバーサポート」画面左側の できるWindows をクリックして表示される情報をご覧ください。

「設定が完了しました」画面が表示されます。

7 をクリックする。

これでWindowsが使えるようになりました。
引き続き、カスタマー登録を行います（43ページ）。
カスタマー登録は後で行うこともできます。
また、いろいろな操作をするためには、デスクトップ画面上の をダブルクリックして「サイバーサポート」画面を表示させ、「サイバーサポート」画面左側の バイオの使いかた をクリックして表示される情報をご覧ください。
電源の切りかたについては、「電源を切る」（55ページ）をご覧ください。

ご注意

- 本機に付属のOS（Operating System）以外をインストールした場合の動作保証はいたしかねます。
- デスクトップ画面上にあるアイコンには、一定の期間使用しないと自動的にデスクトップ画面上から削除されるものがあります。Windowsの初回起動時から一週間後に、アイコンを削除するかどうかを確認する画面が表示されます。
  その後60日ごとに、使用していないデスクトップ画面上のアイコンが自動的に検索され、削除するかどうかを確認する画面が表示されます。デスクトップ画面上のアイコンを削除しても、ソフトウェア自体は削除されません。

複数ユーザーで使用する

本機を2名以上の複数のユーザーでお使いになるには

本機では設定したユーザーごとに専用のデスクトップ画面やマイドキュメントが用意され、それぞれのユーザーがご自分専用のコンピュータのように使用することができます。
ソフトウェアによっては、ユーザーの簡易切り替えに対応していないものがあります。詳しくは各ソフトウェアのヘルプをご覧になるか、各ソフトウェアのお問い合わせ先にお問い合わせください。
2名以上の複数ユーザーを設定するには、はじめて本機をお使いになる際のWindowsのセットアップ画面で設定することができます。
Windowsのセットアップについて詳しくは、「Windowsを準備する」（37ページ）をご覧ください。Windowsのセットアップ完了後にユーザーを追加したり、変更したりするには、デスクトップ画面左下の スタート ボタンをクリックし、［コントロールパネル］→［ユーザーアカウント］の順にクリックして表示される「ユーザーアカウント」画面で行います。
詳しくは「ユーザーアカウント」画面左のヘルプをご覧ください。

ユーザーアカウントの種類について

本機では、使用者がOS上で作業を行うには一定のユーザー権限とアクセス許可が必要となりユーザーを設定する際にユーザーアカウントの種類を選びます。
ユーザーアカウントには、「コンピュータの管理者」と「制限付きアカウント」の2種類があります。

	コンピュータの管理者	制限付きアカウント
プログラムとハードウェアをインストールする	✓	
システム全体の変更を行なう	✓	
個人ファイル以外のすべてのファイルにアクセスして読み取る	✓	
ユーザー アカウントを作成または削除する	✓	
ほかのユーザーのアカウントを変更する	✓	
自分のアカウントの名前または種類を変更する	✓	
自分の画像を変更する	✓	✓
自分のパスワードを作成、変更、または削除する	✓	✓

「コンピュータの管理者」を選ぶと

ユーザーアカウントの追加や変更、システムの変更など、Windowsのすべての設定が可能になります。

「制限付きアカウント」を選ぶと

自分の画像の変更や、パスワードの変更など一部の設定のみ変更することができます。また、ソフトウェアがインストールできない、起動できない、または機能の一部が使用できない、などのように動作が制限されることがあります。この場合は、システムの管理が可能なユーザー名で再度ログオンするか、お使いのユーザー名に「コンピュータの管理者」の権限を与える設定にして作業をやり直してください。
ユーザーアカウントについて詳しくは、デスクトップ画面左下の スタート ボタンをクリックし、［コントロールパネル］→［ユーザーアカウント］の順にクリックして表示される「ユーザーアカウント」画面左のヘルプをご覧ください。

複数のユーザーを設定している際の「ユーザー切り替え」について

複数のユーザーを設定して本機をお使いの場合、ユーザーを切り替えるときは、起動しているソフトウェアをいったん終了させてからユーザーを切り替えてください。

「サイバーサポート」画面左側の できるWindows をクリックして表示される情報でも、使用するユーザーを追加したり、設定を変更する方法についてご覧いただけます。

カスタマー登録する

VAIOカスタマーご登録について

ソニーマーケティング株式会社およびソニー株式会社（以下、「ソニー」）はバイオをご所有のお客様へセキュリティ情報などの必要な情報をお知らせし、充実したサービス・サポートをご提供するために、「VAIOカスタマーご登録」を行っていただくことをおすすめしています。ご登録のメリットについては、VAIOホームページ（http://www.vaio.sony.co.jp/）をご覧ください。
また、出荷時点で付属する保証書が提供する製品の保証期間はお買い上げ時から3か月間です。
ご登録を行っていただくことで、VAIOカスタマー専用デスクから、ご購入日より1年間有効な保証書と「VAIOカスタマーID」を記したご登録証「VAIO Customer's Card」をお送りします（すでに「VAIO Customer's Card」をお持ちの方へはカードの送付は行われません）。
なお、保証について詳しくは「保証書とアフターサービス」（203ページ）をご覧ください。

電話回線を通じて手軽にご登録が行えます。（78ページ）

- 付属の「VAIOカスタマー登録・保証書お申込書」にご記入の上、郵送いただくことでもご登録を行えます。
- 次の場合を除き、ソニーがお客様の同意なく登録内容を外部へ開示することはありません。ただし、お客様個人を特定できない統計情報はこの限りではありません。
  ① お客様にお知らせした使用目的のために、業務を委託する協力会社に開示が必要な場合。（ソニーは、当該協力会社に対して、お客様の情報の厳重な管理と使用目的の遵守を徹底します。）
  ② 司法機関または行政機関から法的義務を伴う要請を受けた場合。
- VAIOカスタマーご登録は、本機のセットアップをしたあとなどに再び行う必要はありません。住所などのご登録内容の変更を行うときは、VAIOホームページ内（http://www.vaio.sony.co.jp）のページ上で、変更手続きが行えます。
  また、スタート ボタンをクリックして、[すべてのプログラム] にポインタを合わせ、[VAIOオンラインカスタマー登録] をクリックして変更手続きを行うこともできます。
- 13才より小さいおこさまは、ほごしゃのかたといっしょにとうろくしてください。

VAIOカスタマーご登録に関するお問い合わせ先
ソニーマーケティング株式会社 VAIOカスタマー専用デスク
電話番号：03-5977-7255
受付時間：月～金 10時～18時（土日祝日、年末年始を除く）

VAIOオンラインカスタマーご登録の方法

あらかじめ電話回線につないでおきます。(78ページ)

ご注意

- VAIOオンラインカスタマーご登録は、「コンピュータの管理者」アカウントを持つユーザーのみ行うことができます。
- VAIOオンラインカスタマーご登録にご使用いただく電話回線は一般電話回線だけでなく、ISDN回線にも対応しています。ISDN回線をお使いになる場合は、本機の IOIOI SERIALコネクタ(180ページ)または USBコネクタ(172ページ)とターミナルアダプタのSERIALコネクタまたはUSBコネクタをつないでください。詳しくは、「ISDN回線を利用するときは」(82ページ)をご覧ください。
  ISDN回線やターミナルアダプタについて詳しくは、NTT(局番なしの116番)またはターミナルアダプタの製造元にお問い合わせください。

スタート ボタンをクリックして[すべてのプログラム]にポインタを合わせ、[VAIO オンラインカスタマー登録]をクリックする。

「VAIOオンラインカスタマー登録」画面が表示されます。

2

次へ> をクリックする。

カスタマー登録をしない、または後でするときは、キャンセル をクリックして表示される画面で 終了(E) をクリックすると、「インターネット接続サービスのご紹介」画面が表示されます。
インターネットに接続する設定を行うときは、画面の指示に従って操作してください。
インターネットを利用しない、または後で入会手続きを行う場合は、キャンセル をクリックします。
インターネット接続について詳しくは、「インターネットを始める」(70ページ)をご覧ください。

「VAIOカスタマーID VAIOカスタマーパスワード」画面が表示されます。

3

次へ> をクリックする。

「VAIOカスタマーご登録を行っていただくときのご注意」画面が表示されます。

1つ前の画面を見たいときは、<戻る(B) をクリックします。

[次へ>] をクリックする。

「同意の確認」画面が表示されます。

5

スクロールバーの [▲] または [▼] をクリックして、画面に現れた内容をすべて読み、内容に同意するときは [同意する>] をクリックする。

「登録種別の選択」画面が表示されます。

ご注意

[同意しない] をクリックすると、「ここでこのアプリケーションを終了すると登録が完了しません。」というメッセージが表示されます。[終了(E)] をクリックすると、「インターネット接続サービスのご紹介」画面が表示されます。インターネットに接続する設定を行うときは、画面の指示に従って操作してください。
インターネットを利用しない、または後で入会手続きを行う場合は、[キャンセル] をクリックします。
インターネット接続について詳しくは、「インターネットを始める」（70ページ）をご覧ください。

次のページへつづく

「新規」の ◯ をクリックして ◉ にし、 次へ> をクリックする。

「お客様氏名の入力」画面が表示されます。

- 本機を含めてバイオをすでに2台以上お持ちの方など、すでにVAIOカスタマーIDをお持ちの方は、「機種追加」を選び、画面の指示に従って操作してください。
- すでにVAIOカスタマーご登録がお済みの方で、住所など、ご登録内容を変更したいときは、「更新」を選び、画面の指示に従って操作してください。

7

お客様のお名前を漢字で、ふりがなをカタカナで入力し、 次へ> をクリックする。

「本機を登録される方」で「法人・団体」を選んだときは、法人、団体用の情報を入力する画面が表示されます。
画面の指示に従って情報を入力してください。

「お客様情報の入力」画面が表示されます。

生年月日（任意）を入力し、性別（任意）を選び、［郵便番号・住所検索(S)...］をクリックする。

「郵便番号・住所検索」画面が表示されます。

9 ［検索方法］で「郵便番号から」の ○ をクリックして ◉ にし、ご自分の郵便番号を入力してから［検索(S)］をクリックする。

自動的に入力された住所を確認し、正しければ［採用］をクリックしてください。

「郵便番号・住所検索」画面が閉じ、郵便番号や住所が自動的に入力されます。

次のページへつづく

10 残りの空欄を入力し、「VAIO Customer's Card」などの送付先が入力した住所でよければ「はい」の ○ をクリックして ◉ にし、 [次へ>] をクリックする。

「住所の確認」画面が表示されます。

入力した住所とは別に「VAIO Customer's Card」と保証書などを送付してほしいときは「いいえ」の ○ をクリックして ◉ にしてください。「VAIO Customer's Card/保証書の送付先」画面が表示されますので、画面の指示に従って操作してください。

11 住所をご確認の上で、 [次へ>] をクリックする。

「電子メールアドレスの入力(任意)」画面が表示されます。

12 すでに電子メールアドレスをお持ちの方は、電子メールアドレスを入力し、[次へ>] をクリックする。

「パスワードリマインダー（任意）」画面が表示されます。

13 質問と答えを入力し、[次へ>] をクリックする。

「製品情報の入力」画面が表示されます。

パスワードリマインダーは、VAIOカスタマーパスワードを忘れてしまったときに備え、あらかじめ設定しておいた質問と答えを使って、パスワードの初期化と再設定を行える便利な機能です。
「パスワードリマインダー」画面の質問と答えは必ずしも入力する必要はありません。必要がない場合は、何も入力せずに [次へ>] をクリックしてください。

次のページへつづく

14 本機のモデル名を確認し、本機の購入日や販売店名を入力し、［次へ>］をクリックする。

「登録内容の確認」画面が表示されます。

15 ご登録いただく内容をご確認の上で、［次へ>］をクリックする。

「接続方法の選択」画面が表示されます。

登録内容を変更するときは［<戻る(B)］をクリックし、変更したい画面まで戻り、入力し直します。

16 「VAIOオンラインカスタマー登録専用回線」の ○ をクリックして ◉ にし、[次へ>] をクリックする。

ご注意

- 外線発信（0発信）はできません。
- 「インターネット経由」を選んでご登録いただく場合、接続料金はお客様の負担となります。
- ターミナルアダプタ、携帯電話、PHSなど、お使いになる通信機器によっては、正しく接続できないことがあります。この場合は、本機の TEL LINE（モジュラジャック）と一般電話回線をつなぎ（78ページ）、通信を行ってください。

- [次へ>] をクリックすると、「接続デバイスの選択」画面が表示されることがあります。
  この場合は、通信に使う機器を選び、[次へ>] をクリックしてください。
- 「インターネット経由」を選んで [次へ>] をクリックしたときは、「インターネット経由の接続設定」画面が表示されますので、画面の指示に従って操作してください。
  また、LANの環境などによっては、「インターネット経由の接続設定」画面でプロキシの設定をする必要があります。プロキシの設定について詳しくは、各法人・団体様のシステム管理者におたずねください。

「発信方式の設定」画面が表示されます。

次のページへつづく

17 お使いの電話回線のダイヤル方法を選び、［次へ>］をクリックする。

- トーン式ダイヤルとは
  電話機のダイヤルボタンを押すと「ピポパ」と音がし、「カチカチ」という音がしない電話機のダイヤル方法です。
- パルス式ダイヤルとは
  ボタンではなくダイヤルを回す電話機、またはダイヤルボタンを押すたびに「カチカチ」という音がする電話機のダイヤル方法です。
- お使いの電話回線のダイヤル方法がわからない場合は、電話会社から送られてくる請求内訳表をご覧ください。請求内訳表の中に「プッシュ回線使用料」と記載されている場合は「トーン式ダイヤル」です。回線（基本）使用料のみ記載されている場合は「パルス式ダイヤル」です。
  電話回線のダイヤル方法について詳しくは、契約している電話会社へお問い合わせください。

「登録確認」画面が表示されます。

18 電話回線がつながっていることを確認し、［登録］をクリックする。

登録内容が電話回線を通じて送られ、送信が終わると「ご登録の完了」画面が表示されます。

オンラインご登録時にお知らせする「VAIOカスタマーID」と「VAIOカスタマーパスワード」は、正規の「VAIOカスタマーID」と「VAIOカスタマーパスワード」が届くまでの間ご使用いただく仮のIDとパスワードです。正規のIDとパスワードは後日、ソニーより「VAIO Customer's Card」「1年間保証書」などとともに郵送でお知らせいたします。
なお、次の手順19、20の操作を行い、仮のIDとパスワードの情報をファイルとして保存しておくことをおすすめします。

ご注意

ターミナルアダプタ、携帯電話、PHSなど、お使いになる通信機器によっては、正しく接続できないことがあります。この場合は、本機の ⌂ TEL LINE（モジュラジャック）と一般電話回線をつなぎ（78ページ）、通信を行ってください。

19 ［ID、パスワードをファイルに保存］をクリックする。

「名前を付けて保存」画面が表示されます。

20 ファイルに任意の名前を付け、［保存(S)］をクリックする。

お客様のカスタマーIDとパスワードの情報がファイルとして「マイドキュメント」フォルダの中に保存されます。

ご注意

保存されたデータを他人に見られたり、紛失しないようにご注意ください。

次のページへつづく

21 OK をクリックする。

「インターネット接続サービスのご紹介」画面が表示されます。

- OK をクリックすると、サービス内容などをお知らせする画面が表示されることがあります。この場合は、次へ> をクリックしてください。「インターネット接続サービスのご紹介」画面が表示されます。
- VAIOカスタマーご登録が終わると、デスクトップ画面上に が表示されます。このアイコンをダブルクリックすると、バイオに関するサービス・サポート情報やVAIOホームページのご案内などのお知らせを見ることができます。

これでVAIOオンラインカスタマーご登録は終了です。
インターネットに接続するときは、76ページへお進みください。
インターネットを利用しない、または後で入会手続きを行う場合は、キャンセル をクリックします。
インターネット接続について詳しくは、「インターネットを始める」（70ページ）をご覧ください。

電源を切る

次の手順に従って、本機の電源を切ります。

ご注意

必ず次の手順に従って電源を切ってください。手順に従って電源を切らないと本機の故障の原因となったり、作成した文書などのファイルが使えなくなることがあります。

1 スタート ボタンをクリックする。

［スタート］メニューが表示されます。

2 メニューの 終了オプション(U) をクリックする。

「コンピュータの電源を切る」画面が表示されます。

次のページへつづく

3 をクリックする。

ここをクリックする。

数秒後に本機の電源が自動的に切れ、⏻（パワー）ランプ（グリーン）が消灯します。
これで、本機を使う上で必要な準備と操作はひと通り終わりました。

液晶ディスプレイパネルを閉じるときは、⏻（パワー）ランプが消灯したのを確認してから閉じてください。

VAIO

コンピュータの基本的な使いかた

デスクトップ画面の各部のなまえとはたらき

本機の電源を入れた後、ディスプレイ画面全体に表示されるのが「デスクトップ画面」です。
「デスクトップ画面」は、本機のさまざまな機能を使いこなしていただくときの出発点となります。

デスクトップ画面のイラストは実際のものとは異なる場合があります。

■デスクトップアイコン

❶ ごみ箱

いらなくなった文書や画像などを捨てる場所です。ごみ箱に捨てた文書や画像などは、ごみ箱の中に残っています。

❷ Internet Explorer

インターネットのホームページなどを見るときに使うソフトウェアです。詳しくは、「インターネットを始める」をご覧ください。

❸ VAIOマニュアル CyberSupport

バイオの使いかたや楽しみかた、困ったときの解決方法をディスプレイ画面上で説明する電子マニュアルです。使いかたについて詳しくは「電子マニュアル「サイバーサポート」の使いかた」をご覧ください。

❹ インターネット新規ご入会

インターネット接続サービスを提供する会社（プロバイダ）と契約（オンラインサインアップ）します。詳しくは、「インターネットを始める」をご覧ください。

❺ できるWindows for VAIO

Windowsの使いかたを説明しています。

❻ ヘルプとサポート

Windowsの操作や、Windowsのサポートについての情報を検索できます。「サイバーサポート」もここから起動できます。

❼ 各ソフトウェアのショートカット類

左隅に が付いたアイコンが各種あります。これらは簡単にソフトウェアを起動するためにデスクトップ画面上に置かれたものです。

❽タスクバー

本機に付属のソフトウェアやコンピュータの設定をすばやく確認し、操作できるための機能をまとめた場所です。大きく3領域があり、それぞれ［スタート］ボタン、使用中のソフトウェアや文書などを表示しておく機能をもつ領域、Windowsに関連する機能を表示しておく通知領域（タスクトレイ）に分かれます。

スタート

［スタート］ボタン

ここをマウスでクリックすると、本機に付属のソフトウェアを起動したり、本機のさまざまな機能を使うためのメニューが表示されます。まずはここをクリックして始めてください。

マイ コンピュータ　ドキュメント - ワードパ...

ウィンドウのボタン表示

使用中のソフトウェアや文書などがここにボタンとして表示されます。
デスクトップ画面上にソフトウェアや文書などが表示されていなくても、このボタンをクリックすると画面にそのソフトウェアや文書などが表示されます。

21:01

通知領域（タスクトレイ）

本機を起動したときに自動的に使えるようになったWindowsの機能がここに表示されます。アイコンが表示されていないときは をクリックすると表示されます。

■「スタート」メニュー

スタート ボタンをクリックすると「スタート」メニューが表示され ます。
「スタート」メニューの左側には、最近使用したファイルやソフトウェアのアイコンが表示されます。

❾ ユーザー名

現在コンピュータを使用しているユーザーの名前が表示されます。

❿ インターネット

インターネットのホームページなどを見るときに使うソフトウェアです。詳しくは、「インターネットを始める」をご覧ください。

⓫ (Microsoft Outlook)または (Outlook Express) 電子メール

電子メールをやりとりするときに使うソフトウェアです。ここに表示される電子メールソフトウェアは機種によって異なります。詳しくは、「インターネットを始める」をご覧ください。

⓬ マイドキュメント

本機に付属のさまざまなソフトウェアで作成した文書や画像などを保存しておく場所です。マイドキュメントは、マイコンピュータの中にあるC:ドライブの中のものと同じです。

⓭ マイピクチャ

デジタル写真、イメージ、グラフィックなどを保管しておくフォルダが開きます。

⓮ マイミュージック

ミュージックファイルやオーディオファイルを保管しておくフォルダが開きます。

⓯ マイコンピュータ

ここからソフトウェアを起動したり、作成した文書や画像をコピーしたりできます。

⓰ コントロールパネル

本機に接続されている各種の記憶装置やシステムの設定のための機能が入っている場所です。

⓱ 接続(PCG-NV99E/Bなどのワイヤレスワイヤレス LAN搭載モデルのみ)

ワイヤレスLANなど、ネットワークへ接続するための設定を行う機能が入っている場所です。

⓲ ヘルプとサポート

Windowsの操作や、Windowsのサポートについての情報を検索できます。「サイバーサポート」もここから起動できます。

⓳ 検索

作成した文書や画像を探したり、インターネットなどで情報を検索するときに使います。

⓴ ファイル名を指定して実行...

作成した文書や画像を指定することでソフトウェアを起動することができます。また、参照(B)... をクリックすると作成した文書や画像を探し出せます。

㉑ ここから始めようバイオ!

ソニー製ソフトウェアを起動するときに使います。

㉒ すべてのプログラム

本機に付属しているさまざまなソフトウェアを起動するときに使います。

㉓ ログオフ

本機を使用するユーザーを切り換えるときに使います。

㉔ 終了オプション

スタンバイ状態にするとき、電源を切るとき、再起動するときに使います。

ご注意

デスクトップ画面上にあるアイコンには、一定の期間使用しないとデスクトップ画面上から削除されるものがあります。
Windowsの初回起動時から1週間後に、アイコンを削除するかどうかを確認する画面が表示されます。
その後60日ごとに、使用していないデスクトップ画面上のアイコンが自動的に検索され、削除するかどうかを確認する画面が表示されます。
デスクトップ画面上のアイコンを削除しても、ソフトウェア自体は削除されません。

アイコンとは

画面上に表示されるソフトウェア、文書、画像などを表す絵記号のことです。それぞれの固有のデザインにより、ソフトウェア、文書、画像などの種類がわかりやすくなっています。

ウィンドウとは

「スタート」メニューから「マイコンピュータ」や「マイドキュメント」を選んでクリックしたとき、デスクトップ画面に表示される枠で囲まれた領域を「ウィンドウ」と言います。文書や画像を作成するときもウィンドウで作業します。

タッチパッドを使う

タッチパッドに触れて指を動かすと、画面上のポインタも同じ方向に移動します。

ポインタを目的の位置まで動かして左または右のボタンを押すだけで、
メニューを選んだり、さまざまな命令をコンピュータに伝えることができます。

クリックする

ポインタを希望の位置に合わせて、タッチパッドの手前にある左ボタンを1回押します。
［OK］や［キャンセル］などのボタンを押したり、メニューを選ぶときなどに使います。
また、タッチパッドを指で1回軽くたたいても同じ働きをします。

ダブルクリックする

ポインタを希望の位置に合わせて、左ボタンを2回続けて押します。
ワードプロセッサや表計算などのソフトウェアを実行したり、作成した文書などのファイルを開くときなどに使います。
またタッチパッドを、2回続けて軽くたたいても同じ働きをします。

右クリックする

ポインタを希望の位置に合わせて、右ボタンを1回押します。
押したときのポインタの位置によって、さまざまな内容のポップアップメニューが表示されます。

ドラッグする

ポインタを希望の位置に合わせて、左ボタンを押したまま、タッチパッド上で指を動かします。ファイルを移動したり、ウィンドウの大きさを変更するときなどに使います。
また、タッチパッドを2回続けて軽くたたき、そのままタッチパッド上で指を動かしても同じ働きをします。

ドラッグアンドドロップする

ファイルなどのアイコンをドラッグし、他のフォルダやウィンドウ、ソフトウェアのアイコンなどの上で左ボタンを離します。ファイルを移動したり、コピーするときなどに使います。

スクロールする

指をタッチパッド上の右端に合わせて、上下に動かします。選択されているウィンドウ上の垂直方向のスクロールバーを移動できます。
指をタッチパッドの右上または右下に置いたままにして、ウィンドウを上方向または下方向にスクロールし続けることができます。
また、指をタッチパッドの下端に合わせて、左右に動かします。選択されているウィンドウの水平方向のスクロールバーを移動できます。

上記は工場出荷時の設定です。設定を変更したり、タッチパッドをより便利に使うこともできます。詳しくは、「サイバーサポート」画面左側の バイオの使いかた をクリックし、[設定を変更する] → [タッチパッドをカスタマイズする] の順にクリックして表示される項目から、お好みの項目をクリックして表示される情報をご覧ください。

キーボードを使う

キーボードを使って文字や記号を入力したり、コンピュータへ命令を送ることができます。
ここでは、他のキーと組み合わせて使う、特殊なキーのなまえと機能を紹介します。
使用するソフトウェアによって働きが異なるものもあります。各ソフトウェアのヘルプも
あわせてご覧ください。
文字の入力の仕方について詳しくは、「サイバーサポート」画面左側の できるWindows をクリックして表示される情報をご覧ください。

ご注意

- キートップがはずれてしまったら、元の位置に戻して「カチッ」と音がするまで押し込んでください。（244ページ）
- キートップを故意にはずしたり、取り付けるときに無理に力を加えると故障や破損の原因となります。取り扱いにはご注意ください。

なまえ	機能
Esc（エスケープ）キー	設定を取り消したり、実行を中止するときなどに押します。
ファンクションキー	使用するソフトウェアによって働きが異なります。Fnキーと組み合わせて使うと、特定の機能を実行できます。詳しくは、「Fnキーとの組み合わせ」（67ページ）をご覧ください。

なまえ	機能
Num Lk（ナムロック）キー	テンキーと組み合わせて使うと、数字を入力できます。Num Lkキーを押すと、液晶ディスプレイの下にある(Num Lock) ランプが点灯します。もう1度Num Lkキーを押すと、消灯します。詳しくは、「Num Lkキーの機能」(65ページ) をご覧ください。
Prt Sc（プリントスクリーン）キー	表示されている画面全体をクリップボードに取り込みます。Altキーを押しながらこのキーを押すと、選択されているウィンドウだけを取り込みます。取り込んだ画像は「ペイント」などのソフトウェアで保存、加工、印刷できます。
Insert（インサート）キー	文字入力モードを切り替えます。文字を入力するとき、このキーを押すごとに、カーソルの位置に文字を挿入するか、カーソルの位置から文字を上書きするか切り替えることができます。使用するソフトウェアによっては働かない場合があります。
Delete（デリート）キー	カーソルの右側の文字を消します。
Back space（バックスペース）キー	カーソルの左側の文字を消します。
矢印キー	カーソルを動かしたり、数ページにわたる画面の次ページまたは前ページを表示できます。
アプリケーションキー	タッチパッドの右ボタンを押したときと同じ働きをします。
Alt（オルト）キー	文字キーなどと組み合わせて使うと、特定の機能を実行できます。オルタネートキーともいいます。使用するソフトウェアによって働きが異なります。詳しくは各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。
Windows（ウィンドウズ）キー	Windowsの［スタート］メニューが表示されます。他のキーと組み合わせて使うと、特定の機能を実行できます。使用するソフトウェアによって働きが異なります。詳しくは各ソフトウェアのヘルプおよび「Windowsキーとの組み合わせ」(66ページ) をご覧ください。
Fn（エフエヌ）キー	キーボード上で紫色で表記されている機能を使うとき、このキーと組み合わせて押します。 詳しくは、「Fnキーとの組み合わせ」(67ページ) をご覧ください。
Ctrl（コントロール）キー	文字キーなどと組み合わせて使うと、特定の機能を実行します。使用するソフトウェアによって働きが異なります。詳しくは各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。 例）Ctrlキーを押しながら、Sキーを押す。 メニューから「保存する」を選ばずに、ファイルを保存できます。

次のページへつづく

なまえ	機能
Shift（シフト）キー	文字キーと組み合わせて使うと、大文字を入力できます。また、文字キーと他の機能キーと組み合わせて使うと、特定の機能を実行できます。
Caps Lock （キャプスロック）キー	Shift（シフト）キーを押しながらこのキーを押し、液晶ディスプレイの下にある Ⓐ(Caps Lock）ランプが点灯しているときに、文字キーを押すと、アルファベットの大文字を入力できます。 もう1度、Shiftキーを押しながらこのキーを押すと、 Ⓐ ランプが消え、アルファベットの小文字入力に戻ります。
Home（ホーム）キー	行の先頭にカーソルを移動します。
PageUp（ページアップ）キー	現在表示している画面の前のページを表示します。
PageDown（ページダウン）キー	現在表示している画面の次のページを表示します。
End（エンド）キー	行の最後にカーソルを移動します。

Num Lkキーの機能

なまえ	機能
テンキー	Num Lkキーを押し、液晶ディスプレイの下にある[1] (Num Lock) ランプが点灯しているときにこれらのキーを押すと、キー前面左側に印字されている数字を入力できます。 例: Uキーを押すと「4」が入力されます。

キーボードショートカット

メニューを開かなくても、キーボードから各種コマンドを実行できます。

Windowsキーとの組み合わせ

キー操作の表記

例: +F ➡ Windowsキーを押しながらFキーを押す。

組み合わせ	機能
+F1	Windowsのヘルプを表示します。
+E	「マイ コンピュータ」画面を表示します。
+R	「ファイル名を指定して実行」画面を表示します。 [スタート]メニューから[ファイル名を指定して実行...]を選んだときと同じです。
+D	デスクトップを表示します。
+F	検索画面を表示します。 [スタート]メニューから[検索]を選んだときと同じです。
+Ctrl+F	コンピュータの検索画面を表示します。
+M	表示されているすべてのウィンドウを最小化します。
+Shift+M	最小化したウィンドウを元のサイズに戻します。
+Tab	タスクバーに表示されているボタンの選択を切り替えます。

Fnキーとの組み合わせ

キー操作の表記

例：Fn + 🔇 (F3) ➡ Fnキーを押しながらF3キーを押す。

組み合わせ	機能
Fn+🔇 (F3)	本機の内蔵スピーカーの音声を入／切します。
Fn+◿ (F4)	本機の内蔵スピーカーの音量が調節できます。このコマンドを実行すると、数秒間だけ音量表示が表示されます。このときに↑または→キーを押すと大きくなり、↓または←キーを押すと小さくなります。
Fn+☼ (F5)	液晶ディスプレイの明るさを調節できます。このコマンドを実行すると、数秒間だけ明るさ表示が表示されます。このときに↑または→キーを押すと明るい画像になり、↓または←キーを押すと暗い画像になります。
Fn+LCD/VGA(F7)	MONITORコネクタに接続した外部ディスプレイなどと、本機の液晶ディスプレイの表示を切り替えます。 液晶ディプレイのみ→液晶ディスプレイと外部ディスプレイ同時表示→外部ディスプレイのみ→液晶ディスプレイのみ→… **ご注意** 動画再生中には、ディスプレイの切り替えは行わないでください。
Fn+ LCD/TV(F8)	本機の A/V OUTコネクタに接続したテレビなどの外部ディスプレイと、本機の液晶ディスプレイの表示を切り替えます。 液晶ディスプレイのみ→液晶ディスプレイと外部ディスプレイの同時表示→外部ディスプレイのみ→液晶ディスプレイのみ→… **ご注意** 動画再生中には、ディスプレイの切り替えは行わないでください。

次のページへつづく

組み合わせ	機能
Fn+ (F12)	本機の液晶ディスプレイやCPUだけでなく、ほとんどの電源供給を停止します（休止状態）。使用環境はハードディスクに書き込まれるので、復帰後もそのまま作業ができ、電源オフからの起動よりも早く本機を使用できます。
Fn+Scr Lk（スクロールロック）	使用するソフトウェアによって働きが異なります。詳しくは、各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。
Fn+Pause（ポーズ）	使用するソフトウェアによって働きが異なります。詳しくは、各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。
Fn+Break（ブレイク）	使用するソフトウェアによって働きが異なります。詳しくは、各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。
Fn+F	画面の解像度を液晶パネルの解像度より低くしているとき、液晶ディスプレイ表示の拡大／縮小を切り替えることができます。

Fnキーを5回押して「固定Fnキー機能」画面を表示し、［固定Fnキー機能を使用する］をチェックしてから［OK］をクリックすると、同時に2つのキーを押さずに、Fnキーと他のキーをそれぞれ押して上記の操作を行うことができます。
Fnキーの固定を解除するには、通知領域の を右クリックし、［固定Fnキー機能を無効にする］をクリックします。

ご注意

Windows起動後でないと作動しないものがあります。

VAIO

インターネットを始める

インターネットとは

インターネットとは、世界中のコンピュータがつながった、地球規模のネットワークのことです。
ここではインターネットでできることを簡単に紹介します。

ホームページを見る

調べたい情報を検索する。
世界の景色を見る。
ホテルや乗物の予約をする。
趣味の仲間をさがす。
オンラインショッピングをする。

電子メールをやりとりする

電子メールで時差を気にせず
世界中の人たちと
コミュニケーション。

情報を発信する

自分の意見を発言する。
趣味の仲間をつのる。
絵や文芸作品を発表する。
仕事の広告を出す。

インターネット接続に必要なものは

世界中の情報に接することのできるインターネットですが、インターネット自体は電話回線のように、ケーブルがつながったものでしかありません。情報を受け取ったり、発信したりするためには専用のソフトウェアが必要になります。
また、電話回線を通してインターネットにつなぐためにインターネット接続サービスを提供する会社と契約する必要があります。
インターネットに接続するために必要なものは以下の通りです。

電話回線

電話回線には一般電話回線とISDN回線の2種類があります。電話を使っている回線が一般電話回線です。
ISDN回線をお使いになる場合はNTT（局番なしの116番）にご相談ください。

ADSLについて

ADSLについて詳しくは、「電話回線につなぐ（ADSL接続サービスを利用するときは）」（83ページ）をご覧ください。

ターミナルアダプタについて

コンピュータや従来の一般電話回線対応の通信機器、電話機をISDN回線につなぐための機器です。
ISDN回線を使って本機を使用するためには、本機の他にこの機器が必要になります。
ターミナルアダプタについて詳しくは、NTT（局番なしの116番）またはターミナルアダプタの製造元にお問い合わせください。

モデム

電子メールをやりとりしたり、インターネット上のホームページを見るために電話をかける装置です。一般電話回線に接続する場合、本機にはモデムが内蔵されていますので、準備する必要はありません。

次のページへつづく

インターネット接続に必要なものは（つづき）

ソフトウェア

インターネットに接続してホームページを見るには専用のソフトウェア（「ウェブブラウザ」と言います。）が必要です。また、電子メールをやりとりするにも専用のソフトウェアが必要です。本機には両方の専用ソフトウェアが付属しています。
本機には以下のウェブブラウザおよび電子メールソフトウェアが付属しています。

ウェブブラウザ

 Microsoft Internet Explorer

電子メールソフトウェア

 Outlook Express

この説明書では、「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアと「Outlook Express」ソフトウェアの設定と使いかたを中心に説明していきます。
これらのソフトウェアの特長について詳しくは、「サイバーサポート」画面左側の
付属ソフトの紹介 をクリックし、［インターネット・メール］をクリックして、各ソフトウェアの紹介をご覧ください。

インターネット接続サービス（インターネットサービスプロバイダ：ISP）

インターネットにつなぐためには、インターネット接続サービスを提供する会社と契約する必要があります。この会社のことを「インターネットサービスプロバイダ」（ISP）または単に「プロバイダ」と言います。（以下、「プロバイダ」と記します。）
プロバイダはインターネットと本機との間を仲介する役割を持っています。プロバイダと契約すると、インターネットを使って、いろいろな情報が載ったホームページを簡単に見ることができます。また、「電子メールアドレス」という、あなたの住所のようなものが契約時に用意されます。電子メールアドレスは、電子メールを送受信するときの宛先になります。
これらのサービスの他に、契約するプロバイダによっていろいろなサービスがあります。
プロバイダと契約すると、サービスに応じた接続料金がかかります。また、プロバイダとの契約条件によっては、接続料金とは別に電話回線の通話料がかかることがあります。

ご注意

- 本機および付属ソフトウェアの設定によっては、本機の電源を切っている間でも、自動的にインターネットに接続することがあります。自動接続すると、接続を自動的に終了しないことがあります。この場合、通話料と接続料金が多額になる可能性がありますので、ご注意ください。
- インターネットに接続している間は、電話をかけたり、受けたりできないことがあります。

インターネット上のトラブルについて

現在一般に普及し、さまざまなサービスを提供しているインターネットですが、普及に伴いトラブルも発生しています。
インターネットは非常に便利なものですが、使いかたを誤ったり、安易な気持ちで使用すると思わぬトラブルにあう可能性があります。

インターネット上の情報について

インターネット上の情報はすべてが正しいとは限りません。
ひぼう・中傷・暴力・わいせつなど、情報を受ける側もモラルを持って情報を利用する必要があります。
また、情報を発信する場合もマナーを守って行わないと、気がつかないところで自分が加害者になる恐れもあります。
ユーザー名やパスワードなどは他人に知られないように管理してください。

コンピュータウィルスやチェーンメールなどの被害について

ホームページからダウンロードしたファイルや悪意を持った人たちから突然送られてくる電子メールには、コンピュータウイルス（コンピュータの動作に悪影響を与えるプログラム）が潜んでいたり、チェーンメールなどにより不快な内容の電子メールが送られてくることもあります。
不審な電子メールが送られてきた場合は、安易に開いたり、添付されているプログラムを実行せずに削除してください。
また、できるだけインターネットサービスプロバイダなどに報告して、自分が加害者にならないようにしましょう。

情報の機密性について

ソフトウェアやOSなどの不具合により、コンピュータの情報などがインターネット上にもれ出すことがあります。悪意を持った人たちの標的になりやすいため対応することが必要です。
ウェブブラウザやOSの各ソフトウェアの情報が、開発元のホームページなどに掲載されていますので、不具合情報をこまめに確認することをおすすめします。
また、電子メールには完全な機密性はありません。送信する内容にはご注意ください。

インターネットショッピングでのトラブル

インターネットショッピングをするときに、むやみにクレジットカードの番号を入力しないようにご注意ください。プライバシー情報がもれる可能性があります。
注文した品物と違う、代金を送金したのに品物が届かないなどのトラブルも発生しています。
できるだけ信用のおけるところを利用するなどの注意が必要です。

その他

インターネット上で無料で公開されているソフトウェアの中には、国際電話やダイヤルQ2などに接続してしまうものもあります。
知らない間に接続し、課金されている場合がありますのでご注意ください。

- インターネット上での個人情報の公開には細心の注意を払いましょう。
- 社会的に犯罪とされているものはインターネット上でも犯罪です。

インターネットに接続するまでの流れ

インターネットを利用してホームページを見たり、電子メールをやりとりするには、本機をインターネットに接続する必要があります。
以下の流れに従ってインターネットに接続します。詳しくは、各手順の参照ページをご覧ください。

ご注意

「コンピュータの管理者」アカウントを持つユーザーのみインターネットに接続するための設定を行うことができます。

1 電話回線につなぎましょう。（78ページ）

本機を電話回線につなぎます。

2 プロバイダと契約しましょう（84ページ）

プロバイダと契約します。
契約すると、インターネット接続に必要な情報が記載された資料が郵送されてきます。

3 チェックシートを作成しましょう（85ページ）

プロバイダから郵送されてきた資料をもとに、チェックシートを作成します。資料の内容など、インターネット接続の設定の際の不明点については、契約したプロバイダにお問い合わせください（208ページ）。

郵送されてくるまでしばらく時間がかかります。

4 接続のための設定をしましょう（91ページ）

チェックシートをもとに、本機を使ってインターネットに接続するための設定をします。

5 インターネットに接続して（100ページ）、ホームページを見てみましょう（103ページ）

契約したプロバイダに接続し、ホームページを見てみます。

6 電子メールソフトウェアの設定をして（110ページ）、電子メールを送受信してみましょう（116ページ）

電子メールを使うための設定をし、電子メールを使ってみます。

電話回線につなぐ

付属のテレホンコードを使って本機と電話回線をつなぐと、インターネットを楽しんだり、ファックスを送受信できるようになります。
本機の内蔵モデム（V.90、K56flex対応）の通信速度は、データ受信時最大56 kbps、データ送信時最大33.6 kbpsです。電話回線の状況によって通信速度は変化することがあります。
お使いの電話回線のコンセントによっては、別売りアクセサリが必要なものもあります。
接続する前にコンセントの種類をご確認ください。詳しくは、「サイバーサポート」画面左側の をクリックし、[基本的な使いかた] → [電話回線につなぐ] → [電話回線のコンセントの種類] の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

ご注意

- 本機の内蔵モデムで使用可能な回線は、一般電話回線です。その他の回線に接続した場合には、故障・発火の原因となることがあります。
- 会社やホテルなどのPBX回線に接続する場合は、本機の内蔵モデムに対応している回線かどうかを、回線管理者やホテルのフロントなどにお問い合わせください。
- 分配器を使用して電話回線を分岐すると、モデムおよび接続先の機器が正しく動作しないことがあります。なお、屋内配線の中には分配器経由で各部屋に配線されている場合があります。

ADSL接続サービスを利用するとき（83ページ）や、職場などのネットワーク（LAN）に接続するときは、本機左側面の NETWORK（ネットワーク）コネクタにつなぎます。（171ページ）

1 お使いの電話回線のダイヤル方法（トーン式またはパルス式）を確認する。

電話機のダイヤルボタンを押すと「ピポパ」と音がし、「カチカチ」という音がしないときはトーン式ダイヤルです。ボタンではなくダイヤルを回す電話機、またはダイヤルボタンを押すたびに「カチカチ」という音がする電話機は、パルス式ダイヤルです。
お使いの電話回線のダイヤル方法がわからない場合は、NTTなど電話会社から送られてくる請求内訳表をご覧ください。請求内訳表の中に「プッシュ回線使用料」と記載されている場合は「トーン式ダイヤル」です。回線（基本）使用料のみ記載されている場合は「パルス式ダイヤル」です。電話回線のダイヤル方法について詳しくは、NTT（局番なしの116番）など電話会社にお問い合わせください。

2 モデムのダイヤル方法を設定する。

① スタート ボタンをクリックして、[コントロール パネル] をクリックする。

② [プリンタとその他のハードウェア] アイコンをクリックする。

③ [電話とモデムのオプション] アイコンをクリックする。

「電話とモデムのオプション」画面が表示されます。

④ 設定されている所在地をクリックして選び、 編集(E)... をクリックする。

「所在地の編集」画面が表示されます。

該当する所在地がないときは [新規] をクリックしてください。「新しい所在地」画面が表示されます。

次のページへつづく

⑤ 手順1で確認したお使いの電話回線のダイヤル方法に合わせて［トーン］または［パルス］を選択する。

⑥ ダイヤル元の市外局番を半角の数字で入力する。

外線発信番号が必要な場合は、「市内通話の場合の外線発信番号」と「市外電話の場合の外線発信番号」ともに入力してください。

⑦ ［OK］をクリックし、「所在地の編集」画面を閉じる。

⑧ ［OK］をクリックし、「電話とモデムのオプション」画面を閉じる。

3 電話回線につなぐ。

モジュラプラグのつめが「カチッ」とロックするまでまっすぐに差し込みます。

モジュラジャックが2つある電話機をお使いのときは、下図のようにつなぎます。

ご注意

接続後、お使いになる通信用ソフトウェアで、電話機やファックス、通信方法などの設定をする必要があります。詳しくは、それぞれのソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

ISDN回線を利用するときは

「ISDN回線」とはNTTのデジタル通信網を使った電話回線で、通信速度も速く、1回線で従来の2回線が使えます。ISDN回線を使って本機を使用するには、付属のテレホンコードのほかにターミナルアダプタや従来の一般電話回線対応の通信機器、電話機をつなぐためのISDN回線用の機器が必要です。

オンラインカスタマー登録（43ページ）やインターネットに接続してホームページを見たり、電子メールをやりとりするときは、本機の IOIOI SERIALコネクタ（180ページ）または USBコネクタ（172ページ）とターミナルアダプタのSERIALコネクタまたはUSBコネクタをつないでください。

接続について詳しくは、ターミナルアダプタの取扱説明書をご覧ください。

電話回線につなぐ（ADSLサービスを利用するときは）

ADSLとは、「Asymmetric Digital Subscriber Line」の略で、一般電話回線を利用してインターネットへ高速に常時接続できるサービスです。このサービスを利用するには、ADSL接続サービスを提供している接続業者（プロバイダ）と契約し、申し込むことが必要です。料金やサービスの内容をご検討のうえ、ご自分にあったプロバイダと契約することをおすすめします。

プロバイダとの契約については「プロバイダと契約する」（84ページ）をご覧ください。

ご注意

ADSLの接続や設定に関しては、必ず各プロバイダにお問い合わせください。
各プロバイダのお問い合わせについては「付属ソフトウェアのお問い合わせ先」の「ISP サインアップ」（208ページ）をご覧ください。

プロバイダと契約する

インターネットに接続するには、インターネット接続サービスを提供する会社「プロバイダ」と契約する必要があります。
数多くのプロバイダがありますので、料金やサービスの内容をご検討のうえ、ご自分にあったプロバイダと契約することをおすすめします。

本機では、デスクトップ画面上の をダブルクリックし、表示される画面からプロバイダと契約することができます。各プロバイダのアイコンをクリックし、料金やサービス内容をご確認のうえ、お申し込みください。

「サイバーサポート」画面左側の 付属ソフトの紹介 をクリックし、[ISP サインアップ] → [インターネット接続サービスご紹介] の順にクリックして各プロバイダの紹介を見ることもできます。

ご注意

- 契約時にクレジットカードが必要になるプロバイダもあります。
- 接続料金はプロバイダにより異なります。

プロバイダとの契約にインターネット接続を手動で設定する、またはLAN（ネットワーク）を使って接続するときは

「インターネット接続サービスへの新規入会ご案内」画面右下の
その他のインターネットサービスご紹介（インターネット経由） をクリックします。

入会手続きをしない、または後でするときは

「インターネット接続サービスへの新規入会ご案内」画面上の ☒ をクリックします。

入会手続きが終わると、インターネットが使えるようになります。

プロバイダと契約したあとは

契約後は、契約内容とインターネットに接続するために必要な情報が記載された資料が、プロバイダからお手元に郵送されてくるまでお待ちください。すぐにインターネットに接続したいときは、契約するプロバイダにご相談ください。

ご注意

接続や設定に関しては、必ず各プロバイダにお問い合わせください。
各プロバイダのお問い合わせについては、「付属ソフトウェアのお問い合わせ先」の「ISP サインアップ」（208ページ）をご覧ください。

チェックシートを作成する

プロバイダと契約を結ぶと、通常、インターネットに接続するために必要な情報が記載された資料が郵送されてきます。
その資料をもとにインターネットに接続するための設定をします。
プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になりながら、次ページのチェックシートをあらかじめ作成しておくと、「接続のための設定をする」（91ページ）および「電子メールソフトウェアの設定をする」（110ページ）の手順でインターネットに接続するための設定が簡単になります。
「設定項目について」（87ページ）からの説明に従ってチェックシートの各項目をご記入ください。

ご注意

- チェックシートに書き込む内容は、あなたの個人情報です。取り扱いには充分ご注意ください。
- チェックシートは、将来、再度設定し直さなければならないときなどにも活用できますので、チェックシートは大切に保管しておいてください。
- 他人にご自分のパスワードなどの情報がもれないようにご注意ください。パスワードは、他人に自分の名前を使われたり、電子メールを読まれたりしないようにするためのものです。できるだけ紙に書き留めず、記憶しておくことをおすすめします。
- 「(4) パスワード（PPP）」はプロバイダに電話回線を通じて接続できるようにするためのパスワードです。「(14) パスワード（POPアカウントパスワード）」は電子メールを受信できるようにするためのパスワードです。これらのパスワードは両方とも同じでも、別々でもかまいません（プロバイダによって、自由に設定できる場合と、プロバイダが規定する場合があります）。

- 次ページのチェックシートをコピーするなどしたうえで各項目を記入し、他人に見られることがないように、厳重に保管することをおすすめします。
- 複写した紙に記入しておくと、「接続のための設定をする」（91ページ）の手順を行うときに便利です。

次のページへつづく

チェックシートを作成する（つづき）

設定項目	あなたの設定値	例（So-netの場合）
(1) ダイヤルアップ接続名		So-net
(2) 電話番号（アクセスポイント）		03-5792-9060
(3) ユーザー名（PPP）		ichiro@aa2
(4) パスワード（PPP）		
(5) 市外局番		03
(6) トーン／パルス（電話回線の種類）		
(7) DNSサーバーアドレス（プライマリDNS）	.　.　.	202.238.95.24
(8) 別のDNSサーバーアドレス（セカンダリDNS）	.　.　.	202.238.95.26
(9) 表示名（差出人フィールドでの表示）		Ichiro Suzuki
(10) 電子メールアドレス	@	ichiro@aa2.so-net.ne.jp
(11) 受信メール（POP3、IMAPまたはHTTP）サーバー		pop.aa2.so-net.ne.jp
(12) 送信メール（SMTP）サーバー		mail.aa2.so-net.ne.jp
(13) POPアカウント名		ichiro
(14) パスワード（POPアカウントパスワード）		
(15) インターネットメールアカウント名		ichiro@aa2.so-net.ne.jp

記入内容がわからないときは契約したプロバイダにお問い合わせください。

「(7) DNSサーバーアドレス（プライマリDNS）」、「(8) 別のDNSサーバーアドレス（セカンダリDNS）」、「(11) 受信メール（POP3、IMAPまたはHTTP）サーバー」、「(12) 送信メール（SMTP）サーバー」は、プロバイダによっては設定しなくてよいことがあります。

設定項目について

(1)ダイヤルアップ接続名

デスクトップ画面左下の スタート ボタンをクリックして、[接続] にポインタを合わせ、[すべての接続の表示] をクリックして表示される「ネットワーク接続」画面の中の接続アイコンの名前です。
お好みの名前をご記入ください。
例:So-net

- プロバイダによっては、オンラインサインアップソフトウェアを使って契約すると自動的に接続アイコンが作られ、名前も付けられます。
- 接続アイコンをデスクトップ画面上に作ることもできます。(94ページ)

(2)電話番号(アクセスポイント)

プロバイダから送られてきた資料をご覧になり、プロバイダのアクセスポイントの電話番号(接続先の電話番号)をご記入ください。アクセスポイントは「V.90」に対応しているものをお選びになると、より高速な通信ができます。
例:03-5792-9060

ご注意

- ここで記入する電話番号はご自分の電話番号ではありませんのでご注意ください。
- 電話番号は必ず市外局番からご記入ください。
- ISDN回線をお使いの場合やPHSを使ってインターネットに接続するときは、電話番号が異なる場合があります。詳しくは、契約したプロバイダにお問い合わせください。

(3)ユーザー名(PPP)

プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になり、プロバイダにダイヤルアップ接続するときに使用するユーザー名をご記入ください。
例:ichiro@aa2

ユーザー名は「ユーザーID」、「PPPログイン名」、「ネットワークID」、「接続ログイン名」、「アカウント名」、「ログオン名」などともいいます。

次のページへつづく

(4) パスワード（PPP）

プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になり、プロバイダにダイヤルアップ接続するときに使用する、ユーザー名に対するパスワードを記入します。

- このパスワードは「PPPパスワード」、「ネットワークパスワード」、「接続パスワード」などともいいます。
- パスワードの入力は、一般的に半角の英数字や記号などを使います。

(5) 市外局番

ご自分の電話番号の市外局番をご記入ください。
例：03

(6)トーン／パルス（電話回線の種類）

お使いの電話回線のダイヤル方法がトーン式かパルス式か確認してご記入ください。

トーン式

電話機のダイヤルボタンを押すと「ピポパ」と音がし、「カチカチ」と音がしない電話機のダイヤル方法です。

パルス式

ボタンではなくダイヤルを回す電話機、またはダイヤルボタンを押すたびに「カチカチ」と音がする電話機のダイヤル方法です。パルス式ダイヤルの場合、ダイヤルボタンを押すと受話器から電子音が聞こえるものもあります。

お使いの電話回線のダイヤル方法がわからない場合は、NTTなど電話会社から送られてくる請求内訳表をご覧ください。請求内訳表の中に「プッシュ回線使用料」と記載されている場合は「トーン式ダイヤル」です。回線（基本）使用料のみ記載されている場合は「パルス式ダイヤル」です。電話回線のダイヤル方法について詳しくは、NTT（局番なしの116番）など電話会社にお問い合わせください。

(7) DNSサーバーアドレス（プライマリDNS）

プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になり、ご記入ください。
例：202.238.95.24

- DNSサーバーは「ネームサーバー」、「プライマリDNSサーバー」、「プライマリネームサーバー」、「ドメインネームサーバー」ともいいます。
- この項目が必要ないプロバイダもあります。詳しくは、プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になるか、契約したプロバイダにお問い合わせください。

(8) 別のDNSサーバーアドレス（セカンダリDNS）

「(7) DNSサーバーアドレス」以外のアドレスがプロバイダから郵送されてきた資料に書かれている場合はご記入ください。

DNSサーバーアドレスは1つだけのプロバイダもあります。この場合は、「(8) 別のDNSサーバーアドレス」は空欄のままでかまいません。

例：202.238.95.26

(9) 表示名（差出人フィールドでの表示）

あなたが送る電子メールの差出人欄に表示する名前をお好みでご記入ください。通常はご自分の名前のフルネームにします。

例：Ichiro Suzuki

この表示名は全角の漢字でも良いですが、日本語圏以外の相手に電子メールを送ることが多いかたは半角のアルファベットにすることをおすすめします。こうすることによって電子メールを送った相手には「Ichiro Suzuki <ichiro@aa2.so-net.ne.jp>」などと表記されます。

(10) 電子メールアドレス

電子メールをやりとりするときのあなたの宛先をご記入ください。プロバイダから郵送されてきた資料には「xxxxx@xxxx.xx.xx」と記載されています。電子メールアドレスは、あなたの住所と同じ役割をします。

例：ichiro@aa2.so-net.ne.jp

電子メールアドレスは、「E-Mailアドレス」、「Mailアドレス」、「メールアドレス」などともいいます。

(11) 電子メール（POP3、IMAPまたはHTTP）サーバー

プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になり、電子メールを受け取るサーバーのアドレスをご記入ください。受信メールサーバーは、郵便局のような役割をします。受信メールサーバーからあなたの電子メールアドレスに電子メールが送られます。

例：pop.aa2.so-net.ne.jp

- 受信メールサーバーは、「メールサーバー」、「POPサーバー」、「メール受信サーバー」、「POP3」などともいいます。
- この項目が自動的に設定されるプロバイダもあります。詳しくは、プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になるか、契約したプロバイダにお問い合わせください。

次のページへつづく

（12）送信メール（STMP）サーバー

プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になり、電子メールを送信するサーバーのアドレスをご記入ください。送信メールサーバーも郵便局のような役割をします。あなたが送った電子メールを受け取り、送り先の電子メールアドレスに送ります。

例：mail.aa2.so-net.ne.jp

- 送信メールサーバーは「メールサーバー」、「SMTPサーバー」、「メール送信サーバー」、「SMTP」などともいいます。「(11) 受信メールサーバー」と同じ場合もあります。
- この項目が自動的に設定されるプロバイダもあります。詳しくは、プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になるか、契約したプロバイダにお問い合わせください。

（13）POPアカウント名

プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になり、受信メールサーバーにアクセスするためのアカウント名をご記入ください。「(10) 電子メールアドレス」の「@」（アットマーク）より前の部分を記入します。電子メールを見るためには、このアカウント名と「(14) パスワード」の両方が必要になります。

例：「ichiro@aa2.so-net.ne.jp」が電子メールアドレスなら、POPアカウント名は「ichiro」になります。

POPアカウント名は「メールアカウント名」、「メールサーバーログイン名」、「メールログイン名」、「POPサーバーアカウント」、「POPサーバーログイン名」ともいいます。「(3) ユーザー名」と同じ場合もあります。

（14）パスワード（POPアカウントパスワード）

受信メールサーバーにアクセスするためのアカウント名に対するパスワードを半角の英数字でご記入ください。

電子メールを見るためには、「(13) POPアカウント名」とこのパスワードの両方が必要になります。

このパスワードは、「メールパスワード」、「メールサーバーパスワード」などともいいます。

（15）インターネットメールアカウント名

お好みの名前をご記入ください。わかりやすいように電子メールアドレスを入れることをおすすめします。

例：ichiro@aa2.so-net.ne.jp

接続のための設定をする

本機をインターネットに接続するための設定を行います。ここでは、本機の内蔵モデムを使って一般電話回線に接続し、インターネットにダイヤルアップ接続するための設定方法を説明します。

- 一般電話回線で接続される方は、このままお進みください。
- ADSL（PPPoE）を使ってインターネットに接続する場合、「電話回線につなぐ（ADSLサービスを利用するには）」（83ページ）をご覧ください。

「チェックシートを作成する」（85ページ）で作成したチェックシートをご覧になりながら、各項目に記入した内容を実際の画面の入力欄にキーボードを使って入力していきます。次の手順に従って操作してください。

1

本機の電源を入れる。（33ページ）

2

デスクトップ画面左下の スタート ボタンをクリックし、インターネット Internet Explorer をクリックする。

「新しい接続ウィザードの開始」画面が表示されます。

接続のための設定が終わったあとは スタート ボタンをクリックして［インターネット］をクリックすると、「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアが起動するようになります。もう1度「新しい接続ウィザード」を表示させたいときは、デスクトップ画面左下の スタート ボタンをクリックして［すべてのプログラム］にポインタを合わせ、［アクセサリ］、［通信］、［新しい接続ウィザード］の順にクリックします。

3

次へ(N) > をクリックする。

「ネットワーク接続の種類」画面が表示されます。

4

［インターネットに接続する］の ○ をクリックして ◉ にし、次へ(N) > をクリックする。

「準備」画面が表示されます。

［接続を手動でセットアップする］の ◯ をクリックして ◉ にし、 次へ(N) > をクリックする。

WindowsXPアップグレードサービスをご利用の場合など、すでにプロバイダのインターネットサーバーに接続したことがあるときは、［インターネットサービスプロバイダ（ISP）の一覧から選択する］の ◯ をクリックして ◉ にし、 次へ(N) > をクリックしてください。そのあとは、画面の指示に従って操作してください。

「インターネット接続」画面が表示されます。

6

［ダイヤルアップ モデムを使用して接続する］の ◯ をクリックして ◉ にし、 次へ(N) > をクリックする。

「接続名」画面が表示されます。

7 「ISP名」（ダイヤルアップ接続名）を入力し、［次へ(N) >］をクリックする。

「ダイヤルする電話番号」画面が表示されます。

8 アクセスポイントの電話番号を入力し、［次へ(N) >］をクリックする。

「インターネットアカウント情報」画面が表示されます。

9 ユーザー名とパスワードを入力し、「パスワードの確認入力」に同じパスワードを再度入力してから、［次へ(N) >］をクリックする。

「パスワード」はパスワードの文字数と同じ数の「*」で表示されます。

「新しい接続ウィザードの完了」画面が表示されます。

次のページへつづく

10 完了 をクリックする。

「新しい接続ウィザード」が終了します。

「新しい接続ウィザードの完了」画面の「この接続へのショートカットをデスクトップに追加する」にチェックしておくと、デスクトップ画面上にダイヤルアップ接続のアイコンが作られます。

11 デスクトップ画面左下の スタート ボタンをクリックして、[コントロール パネル] をクリックする。

「コントロール パネル」画面が表示されます。

手順12および13の「コントロールパネル」画面での操作は、お買い上げ時の状態のものです。

12 [プリンタとその他のハードウェア] アイコンをクリックする。

「プリンタとその他のハードウェア」画面が表示されます。

13 [電話とモデムのオプション] アイコンをクリックする。

「電話とモデムのオプション」画面が表示されます。

14 設定されている所在地をクリックして選び、［編集(E)...］をクリックする。

該当する所在地がないときは［新規(N)...］をクリックしてください。「新しい所在地」画面が表示されます。

「所在地の編集」画面が表示されます。

15 各項目を以下のように設定し、［OK］をクリックする。

- 市外局番：ダイヤル元の市外局番を半角の数字で入力する。

  外線発信番号が必要な場合は、「市内通話の場合の外線発信番号」と「市外通話の場合の外線発信番号」ともに入力してください。

- ダイヤル方法：お使いの電話回線のダイヤル方法に合わせて［トーン］または［パルス］をクリックして選ぶ。

次のページへつづく

インターネットを始める

16 「電話とモデムのオプション」画面の [OK] をクリックする。

17 デスクトップ画面左下の [スタート] ボタンをクリックして［接続］にポインタを合わせ、［すべての接続の表示］をクリックする。

「ネットワーク接続」画面が表示されます。

以下の方法でも「ネットワーク接続」画面を表示することができます（お買い上げ時のウィンドウの設定の場合）。
デスクトップ画面左下の [スタート] ボタンをクリックして、［コントロールパネル］をクリックする。表示された「コントロールパネル」画面で［ネットワークとインターネット接続］アイコンをクリックする。表示された「ネットワークとインターネット接続」画面で［ネットワーク接続］アイコンをクリックする。

18 ダイヤルアップ接続（チェックシートの（1））のアイコンをダブルクリックする。

So-netの例では［So-net］をダブルクリックします。
「So-netへ接続」画面が表示されます。

手順10で、「新しい接続ウィザードの完了」画面の「この接続へのショートカットをデスクトップに追加する」にチェックしておくと、デスクトップ画面上にダイヤルアップ接続のアイコンが作られます。これをダブルクリックして、手順19に進むこともできます。

19 [プロパティ(O)] をクリックする。

ダイヤルアップ接続名のプロパティ画面が表示されます。

20 ［ダイヤル情報を使う］の □ をクリックして ☑ にし、ダイヤル情報(R) をクリックする。

「電話とモデムのオプション」画面が表示されます。

21 複数の所在地があるときは、「所在地」から設定されている所在地をクリックして選ぶ。

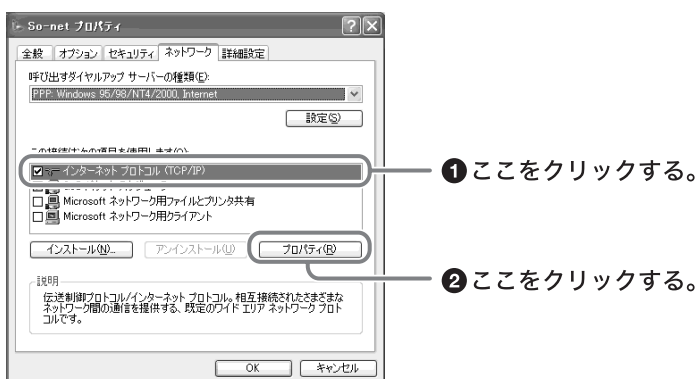
22 「電話とモデムのオプション」画面の OK をクリックする。

ご注意

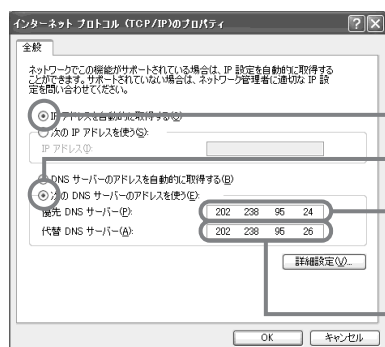
手順23～26は、チェックシートに（7）DNSサーバーアドレス（プライマリDNS）および（8）別のDNSサーバーアドレス（セカンダリDNS）を記入した場合（プロバイダから郵送されてきた資料にDNSサーバーアドレスが記入されている場合）のみ操作を行ってください。

次のページへつづく

23 [ネットワーク] タブをクリックする。

24 「この接続は次の項目を使用します」で[インターネットプロトコル(TCP/IP)]をクリックし、［プロパティ(R)］をクリックする。

「インターネットプロトコル（TCP/IP）のプロパティ」画面が表示されます。

25 各項目を以下のように設定し、 OK をクリックする。

- ［IPアドレスを自動的に取得する］の ○ をクリックして ◉ にする。
- ［次のDNSサーバーのアドレスを使う］の ○ をクリックして ◉ にし、DNSサーバーアドレスを入力する。

「(7) DNSサーバーアドレス（プライマリDNS）」と「(8) 別のDNSサーバーアドレス（セカンダリDNS）」は同じ場合があります。このときは「代替DNSサーバー」には入力する必要はありません。

「インターネットプロトコル（TCP/IP）のプロパティ」画面が閉じます。

26 ダイヤルアップ接続名のプロパティ画面で OK をクリックする。

ダイヤルアップ接続名のプロパティ画面が閉じます。

27 「（ダイヤルアップ接続名）へ接続」画面で キャンセル をクリックする。

「（ダイヤルアップ接続名）へ接続」画面が閉じます。

これでインターネット接続のための設定は終わりです。

インターネットに接続する

契約したプロバイダのインターネットサーバーに一般電話回線を使用して接続するには、
以下の手順に従って操作してください。

ご注意

ADSLの接続や設定に関しては、必ず各プロバイダにお問い合わせください。
各プロバイダのお問い合わせについては、「付属ソフトウェアのお問い合わせ先」の「ISP サインアップ」(208ページ)をご覧ください。

1

デスクトップ画面左下の スタート ボタンをクリックして[接続]にポインタを合わせ、[すべての接続の表示]をクリックする。

「ネットワーク接続」画面が表示されます。

以下の方法でも「ネットワーク接続」画面を表示することができます(お買い上げ時のウィンドウの設定の場合)。

① デスクトップ画面左下の スタート ボタンをクリックして、[コントロール パネル]をクリックする。
「コントロール パネル」画面が表示されます。

② [ネットワークとインターネット接続]アイコンをクリックする。
「ネットワークとインターネット接続」画面が表示されます。

③ [ネットワーク接続]アイコンをクリックする。

2

ダイヤルアップ接続(チェックシートの(1))のアイコンをダブルクリックする。

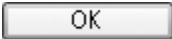
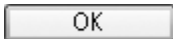
So-netの例では[So-net]をダブルクリックします。
「So-netへ接続」画面が表示されます。

「接続のための設定をする」の手順10で、「新しい接続ウィザードの完了」画面の「この接続へのショートカットをデスクトップに追加する」にチェックしておくと、デスクトップ画面上にダイヤルアップ接続のアイコンが作られます。これをダブルクリックして、手順3に進むこともできます。

3 各項目を入力または確認する。

① パスワード（チェックシートの (4)）を入力する。

ご注意

「次のユーザーが接続するとき使用するために、このユーザー名とパスワードを保存する」の ☐ をクリックして ☑ に、「このユーザーのみ」の ○ をクリックして ◉ にすると次回からパスワードを入力する手間が省けます。「このコンピュータを使うすべてのユーザー」の ○ をクリックして ◉ にすると、他人に勝手にインターネットに接続される恐れがありますのでご注意ください。

- 「パスワード」（チェックシートの(4) パスワード（PPP））は「*」で表示されます。
- 「パスワード」入力欄は、「電子メールソフトウェアの設定をする」（110ページ）の手順5で、「パスワードを保存する」の ☐ をクリックして ☑ にすると、入力された状態で表示されます。

② ユーザー名（チェックシートの(3)）が正しいか確認する。

③ [ダイヤル(D)] をクリックする。

プロバイダのインターネットサーバーに接続します。
「（ダイヤルアップ接続名）は現在接続しています。」画面が表示されたときは、[OK] をクリックします。
[OK] をクリックする前に［今後、このメッセージを表示しない］をチェックしておけば、次回からこの画面は表示されません。
デスクトップ画面右下には アイコン が表示されます。
これで、接続は完了です。
インターネットに接続しているときは、常にデスクトップ画面右下に アイコン が表示されます。

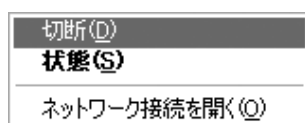
- ホームページを見るには
  「ホームページを見る」（103ページ）をご覧ください。
- 接続を切断するときは
  「接続を切断するには」（102ページ）をご覧ください。
- 接続できなかった場合は
  「困ったときは：モデム・インターネット」（224ページ）をご覧ください。

インターネットを始める

接続を切断するには

インターネットに接続している間は、ホームページを見たり、電子メールをやりとりするなどの操作を行っていないときでも通話料やプロバイダへの接続料金がかかります。また、「Microsoft Internet Explorer」や「Outlook Express」ソフトウェアを終了しても、インターネットへの接続は解除されません。操作を行わないときや操作が終わった後などは、インターネットの接続を切断してください。

接続を切断するには、以下の2つの方法があります。

- デスクトップ画面右下の通知領域にある を右クリックして表示されるメニューから[切断]をクリックする。

- デスクトップ画面右下の通知領域にある をダブルクリックして表示される「自動切断」画面で 切断(D) をクリックする。

ここをクリックする。

- 電子メールを書いているときや電子メールを受け取った後に読むときは、インターネットの接続を切断しておけば接続料金はかかりません(オフライン作業)。
- ワイヤレスLAN機能などを同時に使用していると、デスクトップ画面右下の通知領域に が複数表示されます。
  アイコンにポインタを当てて接続しているアイコン名を確認してから切断してください。

ホームページを見る

インターネット上のホームページを見てみます。ホームページを見るには、「ウェブブラウザ」という専用ソフトウェアが必要です。ここでは、付属の「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアを使ってホームページを見てみます。
次の操作をする前に、デスクトップ画面右下の通知領域に が表示されていることを確認してください。表示されていれば、インターネットに接続しています。インターネットに接続していない場合は、次の操作を行うと、「新しい接続ウィザード」が起動します。「インターネットに接続する」（100ページ）の手順に従い、インターネットに接続し、 を表示させてください。

「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアを起動する

まず「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアを起動します。

デスクトップ画面左下の スタート ボタンをクリックして、［インターネット］をクリックする。

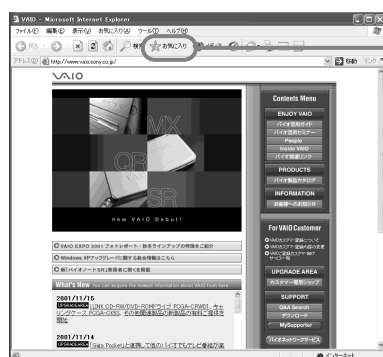
「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアが起動し、ホームページが表示されます。
ホームページが表示されなかった場合は、「困ったときは：モデム・インターネット」（224ページ）をご覧ください。

ご注意

「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアを起動したときに表示されるホームページは各自の設定により異なります。設定のしかたについては、「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアにあらかじめ登録されているホームページを見るには

「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアにあらかじめ登録されているホームページを見ることができます。ここでは、VAIOカスタマーリンクのホームページを見てみましょう。

1 画面上部の [お気に入り] をクリックする。

メニューが表示されます。

2 ［バイオを楽しむためのサイト］にポインタを合わせ、［VAIOホームページ］→［SUPPORT（サービス・サポート情報）］の順にクリックする。

VAIOカスタマーリンクのホームページが表示されます。

ホームページのURLを入力してホームページを見るには

見たいホームページのURLをすでにご存知の場合は、アドレスバーにそのURLを入力します。
ここでは、VAIOカスタマーリンクのホームページ（http://vcl.vaio.sony.co.jp/）を見てみます。

1 アドレスバーに「http://vcl.vaio.sony.co.jp/」と入力する。

2 キーボードのEnter（エンター）キーを押す。

VAIOカスタマーリンクのホームページが表示されます。

リンクをたどるには

ホームページから他のホームページにジャンプしたり、データをインターネット上から本機にコピーすることができます。このように、ホームページから、他のページにジャンプしたり、データにジャンプすることを「リンクする」と言います。
ここでは、VAIOカスタマーリンクのホームページから、ENJOY VAIOのホームページにジャンプしてみましょう。

タッチパッドに触れて指を動かし、（ポインタ）を［ENJOY VAIO］に移動して、に変わったらクリックする。

ENJOY VAIOのホームページが表示されます。

ホームページの中で、（ポインタ）がに変わる文字や画像は、リンクが張られているところです。

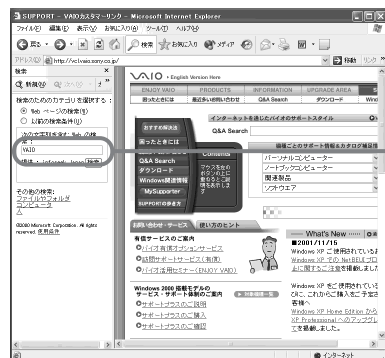
目的のホームページを検索して見るには

目的のホームページを「検索」メニューで検索することができます。
ここでは「VAIO」を検索してみましょう。

ツールバーの 検索 をクリックする。

検索画面が表示されます。

2

検索画面の中央上にある［　　　　　　　　　　］の中に「VAIO」と入力する。

3

検索画面の［検索］をクリックする。

検索画面に該当するホームページの検索結果が一覧表示されます。

4

見たいホームページをクリックする。

ウィンドウの右側にクリックしたホームページが表示されます。

よく見るホームページを登録するには

よく見るホームページを「お気に入り」メニューの中に登録することができます。
ここではSony online Japanのホームページを登録してみましょう。

Sony online Japanはインターネット上のソニーエレクトロニクスとエンターテインメントのホームページです。

アドレスバーに「http://www.sony.co.jp」と入力する。

2

キーボードのEnter（エンター）キーを押す。

Sony online Japanのホームページが表示されます。

3

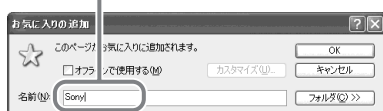
メニューバーの［お気に入り］をクリックし、次に［お気に入りに追加］をクリックする。

「お気に入りの追加」画面が表示されます。

4

「名前」に、登録するホームページを示すお好みの名前を入力し、［OK］をクリックする。

ここでは「Sony online Japan」と入力します。

ここに「Sony online Japan」と入力する。

Sony online Japanホームページが登録され、入力した名前が「お気に入り」メニューの中に表示されるようになります。

「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアを終了する

最後に「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアを終了します。

1

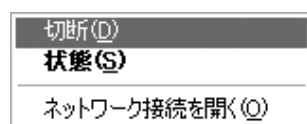
画面左上の［ファイル］をクリックし、［閉じる］をクリックする。

「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアが終了します。

2

デスクトップ画面右下の通知領域にある を右クリックして表示されるメニューから［切断］をクリックする。

インターネットへの接続が切断されます。

切断(D)
状態(S)
ネットワーク接続を開く(O)

ご注意

インターネットに接続している間は、ホームページを見たり、電子メールをやりとりするなどの操作を行っていないときでも、通話料やプロバイダへの接続料金がかかります。また、「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアを終了しても、インターネットへの接続は解除されません。ホームページを見ている間など、操作を行わないときや、操作が終わった後などは、インターネットへの接続を切断してください。

「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアについて詳しくは、ヘルプをご覧ください。「Microsoft Internet Explorer」のヘルプを見るときは、「Microsoft Internet Explorer」画面上部の［ヘルプ］をクリックしてください。

電子メールソフトウェアの設定をする

電子メールのやりとりを正しく行えるようにするための設定を行います。
「チェックシートを作成する」（85ページ）で作成したチェックシートをご覧になりながら、
各項目に記入した内容を実際の画面の入力欄にキーボードを使って入力していきます。
次の手順に従って操作してください。
ここでは、本機に付属の電子メールソフトウェア「Outlook Express」を例に電子メール
をやりとりするための設定をしていきます。

「Outlook Express」ソフトウェアの設定は1度行えば、2回目以降の起動時には不要です。

デスクトップ画面左下の スタート ボタンをクリックして［すべてのプログラム］→［Outlook Express］をクリックする。

インターネット接続ウィザードの「名前」画面が表示されます。

- お使いの機種によっては、「名前」画面とは違う画面が表示されることがあります。この場合は、画面の指示に従って操作し、手順2の画面まで進んでください。
- 電子メールソフトウェアの設定が終わったあとは スタート ボタンをクリックして［すべてのプログラム］→［Outlook Express］をクリックすると、「Outlook Express」ソフトウェアが起動するようになります。電子メールのアカウントを追加するなど、もう1度「インターネット接続ウィザード」を表示させたいときは、「Outlook Express」ソフトウェアを起動時に、画面上部の［ツール］をクリックし、［アカウント］をクリックします。表示される「インターネットアカウント」画面で［追加］→［メール］の順にクリックします。

2 表示したい名前を入力し、 次へ(N) > をクリックする。

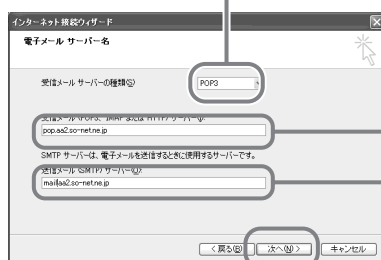
「インターネット電子メール アドレス」画面が表示されます。

3

「電子メールアドレス」に電子メールアドレスを入力して、［次へ(N) >］をクリックする。

「電子メール サーバー名」画面が表示されます。

4

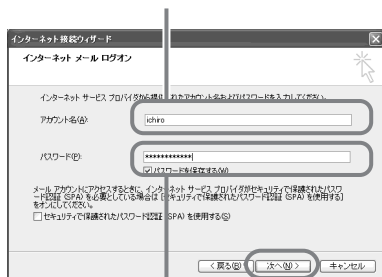
受信メールサーバーと送信メールサーバーの名前を入力し、［次へ(N) >］をクリックする。

「(11)受信メール（POP3、IMAPまたはHTTP）サーバー」の名前と「(12)送信メール（SMTP）サーバー」の名前は同じ場合があります。

「インターネット メール ログオン」画面が表示されます。

次のページへつづく

5

アカウント名とパスワードを入力し、 次へ(N) > をクリックする。

チェックシートの(13)POPアカウント名を入力する。

ここをクリックする。

チェックシートの(14)パスワード(POPアカウントパスワード)を入力する。

- 「パスワード」は「*」で表示されます。
- 「パスワードを保存する」の □ をクリックして ☑ にすると、実際にインターネット接続するときの接続画面でパスワードを入力する手間が省けます。しかし、他人に勝手にインターネットに接続される恐れがありますのでご注意ください。

「設定完了」画面が表示されます。

6

完了 をクリックする。

自動的に「Outlook Express」ソフトウェアが起動します。

ご注意

 をクリックしたあと、その他の画面が表示されることがあります。この場合は、画面の指示に従って操作してください。

「Outlook Express」ソフトウェアで作成したメッセージは初期設定でHTML形式になります。HTML形式に対応していない電子メールソフトウェアを使っている相手にHTML形式のメッセージを送ると、相手側が正しく受け取れないことがあります。メッセージはテキスト形式で送ることをおすすめします。メッセージをテキスト形式で送るように設定するには、次の手順に従ってください。

①「Outlook Express」画面上部の［ツール］をクリックし、表示されるメニューから［オプション］をクリックする。
「オプション」画面が表示されます。
②［送信］タブをクリックする。
「送信」画面が表示されます。
③「メール送信の形式」で［テキスト形式］をクリックし、［OK］をクリックする。
送信するメッセージがテキスト形式になります。
電子メールをテキストのみで送りたいときも同様の設定でお使いください。

「Outlook Express」ソフトウェアを終了するときは、画面右上の ☒（「閉じる」ボタン）をクリックします。
電子メールソフトウェアの設定が終わったあとは スタート ボタンをクリックして［すべてのプログラム］→［Outlook Express］をクリックすると、「Outlook Express」ソフトウェアが起動するようになります。電子メールのアカウントを追加するなど、電子メールの設定を変更するときは、「電子メールの設定を変更するには」をご覧ください。

電子メールの設定を変更するには

チェックシートの「(15) インターネットメールアカウント名」は、下記の方法で変更できます。

1 「Outlook Express」画面上部の［ツール］をクリックする。

「ツール」メニューが表示されます。

2 ［アカウント］をクリックする。

「インターネットアカウント」画面が表示されます。

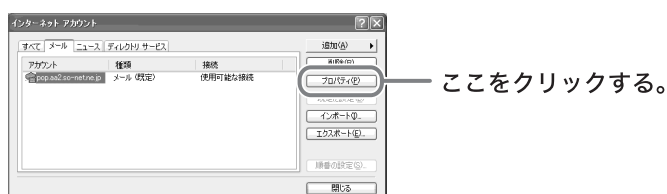
次のページへつづく

3

［メール］タブをクリックする。

「メール」画面が表示されます。

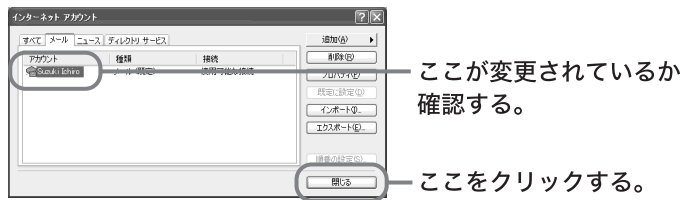
4

プロパティ(P) をクリックする。

プロパティ画面が表示されます。

5

「メールアカウント」（「pop.aa2.so-net.ne.jp」が反転表示されている部分）を変更し、 OK をクリックする。

ここでは「Suzuki Ichiro」と入力してみます。

名前を変更した場合は、変更されているか確認して 閉じる をクリックします。

「Outlook Express」ソフトウェアを終了するときは、画面右上の ✕（「閉じる」ボタン）をクリックします。

電子メールをやりとりする

インターネットを使って、電子メールをやりとりできます。電子メールをやりとりするには、
電子メールソフトウェアが必要です。
ここでは、付属の「Outlook Express」ソフトウェアを使って自分の電子メールアドレスに
電子メールを送ったり、受け取ったりしてみます。

ご注意

電子メールをやりとりする手順は、インターネットへの接続やソフトウェアの設定によって変わることがあります。

「Outlook Express」ソフトウェアを起動する

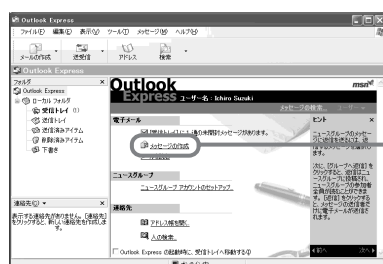
まず「Outlook Express」ソフトウェアを起動します。

デスクトップ画面左下の [スタート] ボタンをクリックして［すべてのプログラム］→［Outlook Express］をクリックする。

「Outlook Express」ソフトウェアが起動します。
「ダイヤルアップの接続」画面が表示されたときは、[キャンセル] または [オフライン作業(O)] をクリックして画面を閉じてください。

「ダイヤルアップの接続」画面で [キャンセル] または [オフライン作業(O)] をクリックするとオフライン作業となります。

電子メールを送信する

ためしに自分のメールアドレス宛に電子メールを送信してみましょう。

［メッセージの作成］をクリックする。

「メッセージの作成」画面が表示されます。

電子メールを書くときや電子メールを受け取った後に読むときは、インターネットに接続していない状態（オフライン作業）の方が接続料金と通話料がかからなくてすみます。
「ダイヤルアップの接続」画面で キャンセル または オフライン作業(O) をクリックするとオフライン作業となります。

2 メッセージを作成する。

タイトルは「SONY VAIO」にしましょう。
ここでは、メッセージに「世界中にひろがったソニーVAIO」と入れてみます。

3 画面左上の 送信 をクリックする。

「（ダイヤルアップ接続名）に接続中」画面が表示されたのち、 接続(C) をクリックすると、作成した電子メールが送り先に送られます。

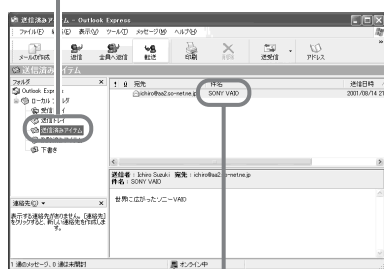
ご注意

オフライン（インターネットに接続していない状態）で 送信 をクリックした場合は、電子メールは送信トレイに保管されます。「Outlook Express」画面左上の 送受信 をクリックすると、電子メールが送り先へ送られます。

送った電子メールを見るには

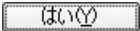
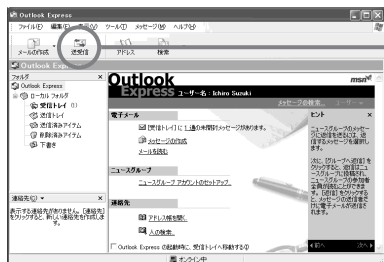
送った電子メールを見てみます。

画面左側の［送信済みアイテム］をクリックし、［SONY VAIO］をクリックする。

ここをクリックする。

ここをクリックする。

送った電子メールのメッセージが表示されます。
電子メールをやりとりできなかった場合は、「困ったときは：モデム・インターネット」（224ページ）をご覧ください。

電子メールを受信する

送った自分のメールアドレスの電子メールを受信してみます。

インターネットに接続した状態で、画面左上の 送受信 をクリックする。

ここをクリックする。

ご注意

オフライン（インターネットに接続していない状態）のときは、「オフライン作業しています。オンラインに切り替えますか?」というメッセージが表示されます。この場合は、［はい(Y)］をクリックしてください。

- 作成した電子メールが送信トレイにある場合は、同時に送り先に送られます。インターネットに接続していない場合は、「接続」画面が表示され、接続を促します。インターネットに接続したあとに電子メールが送受信されます。
- 電子メールの送受信のあと、ホームページを見たりしないときは、インターネットの接続を切断しましょう（102ページ）。

受け取った電子メールを見るには

届いた電子メールを見てみます。

画面左側の［受信トレイ］をクリックし、［SONY VAIO］をクリックする。

受け取った電子メールのメッセージが表示されます。

「Outlook Express」ソフトウェアを終了する

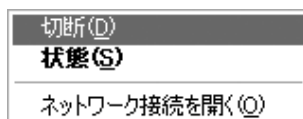
最後に「Outlook Express」ソフトウェアを終了します。

1

画面左上の［ファイル］をクリックし、［終了］をクリックする。

「Outlook Express」ソフトウェアが終了します。

2

デスクトップ画面右下の通知領域にある を右クリックして表示されるメニューから［切断］をクリックする。

インターネットへの接続が切断されます。

外出先でインターネットにアクセスする

公衆電話を使ってアナログ接続するには

本機はモデムを内蔵しているので、モジュラジャックのある公衆電話に直接つなげます。テレホンコードとモジュラジャック付きの電話機さえあれば、どこからでもアクセスできますが、アナログ接続のため、使用する電話機によってはすぐに接続が切れてしまうことがあります。

ご注意

- 公衆電話のデジタルポートにはつながないでください。故障の原因となります。
- 本機の 品 NETWORK（ネットワーク）コネクタにテレホンコードをつながないようご注意ください。故障や発熱、火災の原因となります。

1 本機と電話機のアナログポートをテレホンコードでつなぐ。

2 電話機の「データ通信」ボタンを押す。

3 テレホンカードを入れる。

4 通信用のソフトウェアを起動する。

これでインターネットにアクセスできます。

デジタル携帯電話を使って接続するには

デジタル携帯電話が使えるところではどこからでも、また移動中でもアクセスできますが、携帯電話にあわせた接続キットが必要です。

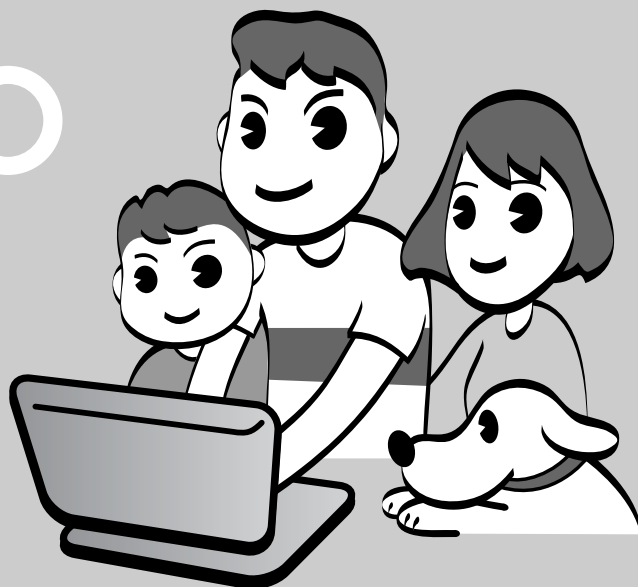
ご注意

接続キットや接続のしかたについて詳しくは、お使いのデジタル携帯電話の電話会社にお問い合わせください。

PHSを使って接続するには

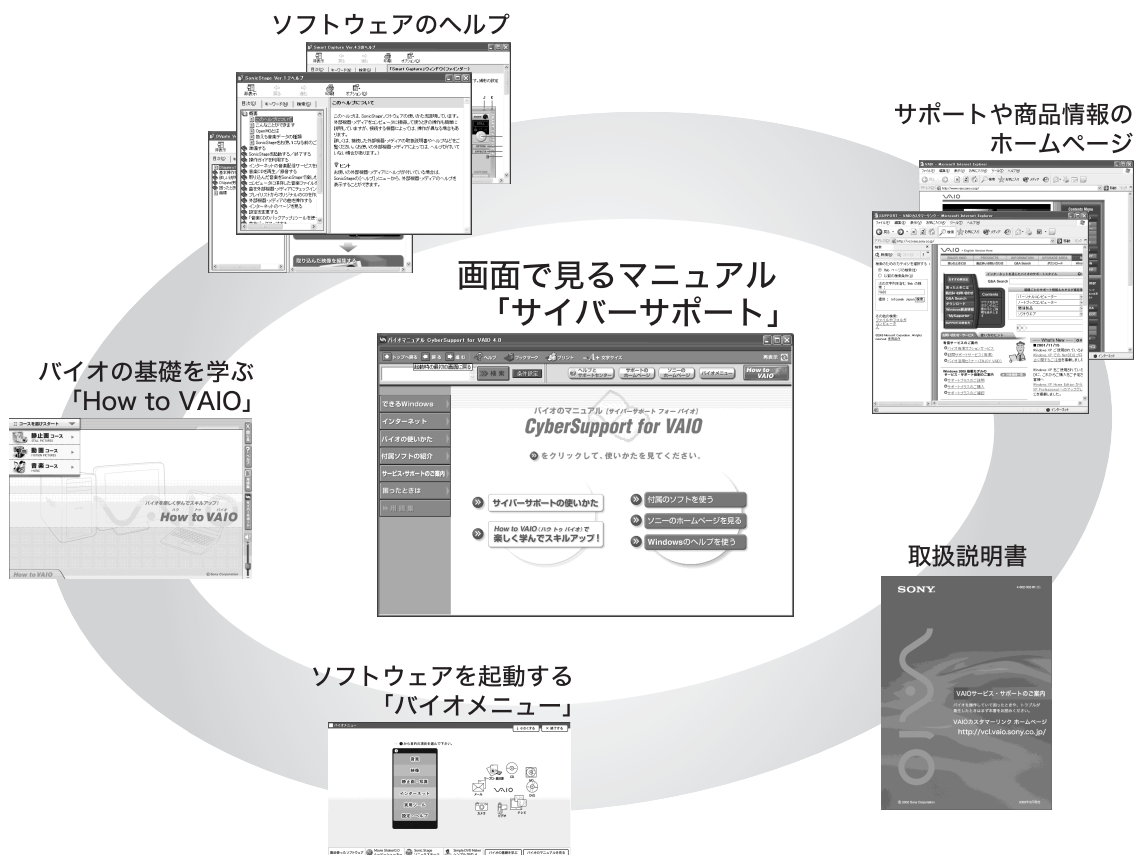
通信速度が速く、PHSが使えるところではどこからでもアクセスできますが、PHSにあわせた接続キットが必要です。また、PIAFS(ピアフ)方式で接続するときは、契約しているプロバイダなどがPIAFSに対応している必要があります。

ご注意

- 接続キットや接続のしかたについて詳しくは、電話会社にお問い合わせください。
  本機のPCカードスロットに直接装着できるPHSもあります。
- PIAFS方式でアクセスするときは、接続しようとしている電話番号がPIAFS方式に対応しているかどうかをあらかじめ確認しておいてください。

VAIO

電子マニュアル「サイバーサポート」の使いかた

「サイバーサポート」とは

バイオマニュアル「サイバーサポート(CyberSupport for VAIO)」(以降「サイバーサポート」と略します)は、バイオについての情報の入り口です。
「サイバーサポート」では、本機の使いかたや、困ったときの解決方法などを説明しています。
また、「サイバーサポート」からソニーやバイオのホームページを表示させたり、付属ソフトウェアのヘルプや、VAIOカスタマーリンクに寄せられたQ&A(よくある質問とその回答)の情報を見ることもできます。
詳しくは、「サイバーサポート」画面上部の ヘルプ をクリックして表示される情報をご覧ください。

画面の見かた

①	
トップへ戻る	「サイバーサポート」を開いたときに、最初に表示される画面に戻ります。
戻る 進む	前に見ていた画面に戻ったり、また進んだりできます。
ヘルプ	「サイバーサポート」の使いかたを見ることができます。
ブックマーク	よく見るページを登録することができます。登録したページは簡単に呼び出すことができます。
プリント	「サイバーサポート」の情報を印刷することができます。
－A＋ 文字サイズ	「サイバーサポート」に表示する文字の大きさを変えることができます。
再表示	目次や画面が欠けて見えるときに、画面の欠けをなくしてきれいに表示することができます。
②	
検索	質問を入力して情報を探すことができます。（132ページ）
条件設定	検索条件を設定したり、あらかじめ用意された質問文例などから質問文を選んで情報を探すことができます。

次のページへつづく

画面の見かた（つづき）

③	
できるWindows	Windowsの基本的な使いかたの説明を見ることができます。
インターネット	インターネットに接続して、ホームページや電子メールを楽しむための説明を見ることができます。
バイオの使いかた	本機の使いかたや使用上の注意事項などの説明を見ることができます。
付属ソフトの紹介	本機に付属しているソフトウェアの説明を見ることができます。
困ったときは	本機を操作していて困ったときの解決方法や、トラブルが発生したときの対処方法の説明を見ることができます。
サービス・サポートのご案内	バイオについてのサービスやサポートを受けるための説明を見ることができます。
用語集	コンピュータ用語の説明を見ることができます。

④	
ヘルプとサポートセンター	「ヘルプとサポートセンター」（268ページ）を見ることができます。
サポートのホームページ	VAIOカスタマーリンクなど、サポート情報のホームページを見ることができます。
ソニーのホームページ	ソニーやバイオの商品情報などのホームページを見ることができます。
バイオメニュー	バイオメニューからソフトウェアを起動することができます。
How to VAIO	お好みのコースに合わせて、バイオの基礎を学ぶことができます。

⑤
「サイバーサポート」を使いこなすための説明を見ることができます。

「サイバーサポート」を使ってみよう

「サイバーサポート」は「Microsoft Internet Explorer 6」ソフトウェアを使って表示されます。

ご注意

「Microsoft Internet Explorer 6」以外のソフトウェアでは正しく表示されないことがありますので、必ず「Microsoft Internet Explorer 6」ソフトウェアを使って表示させてください。

「サイバーサポート」を開く

1 **デスクトップ画面上の をダブルクリック（タッチパッドの左ボタンを2回続けて押す）する。**

「サイバーサポート」画面が表示されます。

デスクトップ画面のアイコンをダブルクリック

- 液晶ディスプレイ右下にあるHELPボタンを押すか、デスクトップ画面左下の スタート ボタンをクリックして ヘルプとサポート(H) をクリックし、表示された「ヘルプとサポートセンター」画面から［VAIOマニュアル CyberSupport］をクリックしても、「サイバーサポート」を表示できます。
- 初めて「サイバーサポート」を開いたときは、「使用許諾の確認」画面が表示されます。画面に表示された内容を読み、内容に同意するときは［同意する］をクリックしてください。［同意しない］をクリックすると、「サイバーサポート」は開くことができません。

「サイバーサポート」を閉じる

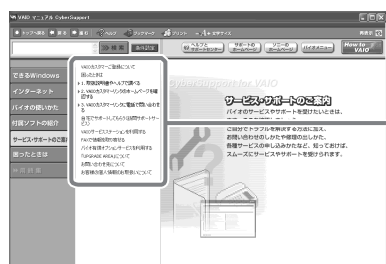
「サイバーサポート」画面の右上にある ☒ をクリックする。

- 「サイバーサポート」画面右上にある ▁ （最小化）ボタンを使って、「サイバーサポート」をデスクトップ画面から隠す（最小化する）ことができます。最小化したウィンドウはタスクバーのボタンをクリックすると元のサイズに戻ります。
- 「サイバーサポート」をデスクトップ画面上に表示させたまま、他のソフトウェアなどを操作することもできます。

目次から情報を探す

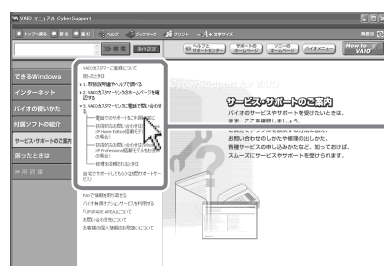
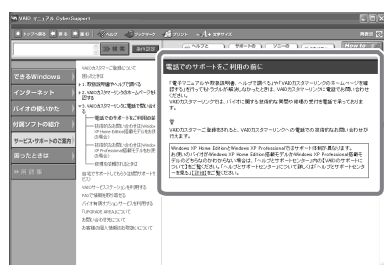
「サイバーサポート」画面左側のボタンをクリックすると、ボタンの右側に目次が、右画面に情報が表示されます。目次から、探したい情報をクリックして選んでください。

「サイバーサポート」画面左側のいずれかのボタンをクリックする。

クリックしたボタンに含まれる情報の目次がボタンの右側に表示されます。

次のページへつづく

2

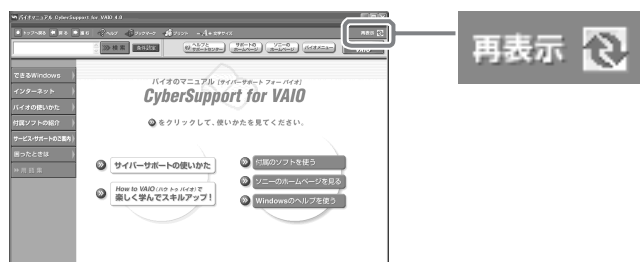
目次から表示したい項目を選び、クリックする。

右画面にその情報が表示されます。
項目の最初に ▶ がついている項目をクリックすると、 ▶ が ▼ になり、
さらに詳しい項目が表示されます。

「サイバーサポート」画面左側のボタンにポインタを近づけると、ボタンに含まれる項目の目次が表示されます。ここで表示される目次の項目をクリックしても右画面に情報が表示されます。

ページの見かた

- ページの冒頭に見出しが表示されているときは、見たい内容の見出しをクリックすると、同じページ内の目的の情報が表示されます。

- 本文中の【詳細】をクリックすると、その内容のさらに詳しい説明のあるページが表示されます。
- 「ここにも注目」の見出しをクリックすると、関連するページが表示されます。

目次や画面の一部が欠けるときなどは、「サイバーサポート」画面右上の 再表示 をクリックすると、きれいに表示されるようになります。

目次の説明

目的に合わせて、「サイバーサポート」の情報をご覧ください。

コンピュータを初歩から学びたいときは

できるWindows

Windowsの操作方法や文字入力の練習など、コンピュータの基本的な使いかたに関する情報を見ることができます。

インターネットを楽しみたいときは

インターネット

はじめてインターネットを使用するときの設定のしかたや、ホームページの見かた、電子メールのやりとりに関する情報を見ることができます。

バイオの使いかたを知りたいときは

バイオの使いかた

本機の使いかたや使用上の注意事項などの説明を見ることができます。

バイオに付属しているソフトウェアを活用したいときは

付属ソフトの紹介

本機に付属しているソフトウェアの説明を見ることができます。

なにかトラブルが起きたら

困ったときは

本機を操作していて困ったときの解決方法や、トラブルが発生したときの対処方法の説明を見ることができます。

サービス・サポートのご案内

バイオについてのサービスやサポートを受けるための説明を見ることができます。

次のページへつづく

意味の分からない用語があったら

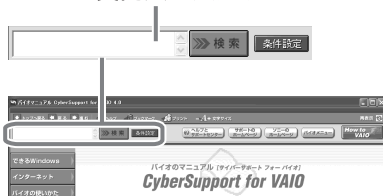
用語集

コンピュータ用語の説明を見ることができます。

「サイバーサポート」画面上部の ヘルプとサポートセンター をクリックすると、「ヘルプとサポートセンター」画面が表示され、Windowsの使いかたのヘルプやサポート情報などを見ることができます。

質問文を入力して情報を探す

1 「サイバーサポート」画面上部の質問文入力欄に質問文を入力する。

ここに質問文を入力する

2 検索 をクリックする。

表示される一覧から見たい情報を選びます。

条件を絞り込んで探すには

1 「サイバーサポート」画面上部の 条件設定 をクリックする。

2

「絞込み検索」タブをクリックする。

条件を絞り込んで探すことができます。

Q&A一覧から情報を探すには

VAIOカスタマーリンクに寄せられたQ&A（よくある質問とその回答）から、情報を探すことができます。

1

「サイバーサポート」画面上部の 条件設定 をクリックする。

次のページへつづく

2 「Q&A一覧」タブをクリックする。

Q&Aの情報を最新のものに更新することができます。

「サイバーサポート」画面上部の 条件設定 、または条件設定画面下部の 検索のしかたを見る をクリックすると、右画面に検索のしかたの説明が表示されます。詳しくはそちらの説明をご覧ください。

バイオについての最新情報を見る

VAIOカスタマーリンクのホームページでは、お使いの製品の最新情報を提供しています。
VAIOカスタマーリンクのホームページを見るには、あらかじめインターネットに接続できるよう設定しておく必要があります。インターネット接続について詳しくは、「インターネットを始める」（70ページ）をご覧ください。

サポートや商品情報のホームページを見る

インターネットに接続して、お客様へのサポート情報や、ソニーやバイオの最新情報、商品やソフトウェアの情報を見ることができます。

サポートの情報を見るには

「サイバーサポート」画面上部の サポートのホームページ をクリックし、表示される一覧から、見たいホームページをクリックします。

ソニーやバイオの情報を見るには

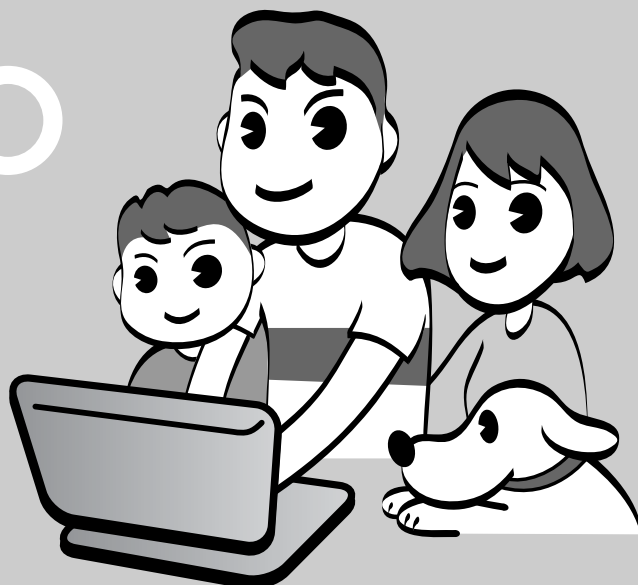
「サイバーサポート」画面上部の ソニーのホームページ をクリックし、表示される一覧から、見たいホームページをクリックします。

「サイバーサポート」で検索できる情報を更新する

VAIOカスタマーリンクのホームページにアクセスし、「サイバーサポート」で検索できる情報を更新することができます。
更新のしかたについて詳しくは、「サイバーサポート」画面上部の ?ヘルプ をクリックしてから[「サイバーサポート」の使いかた]→[「サイバーサポート」で検索できる情報を更新する]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

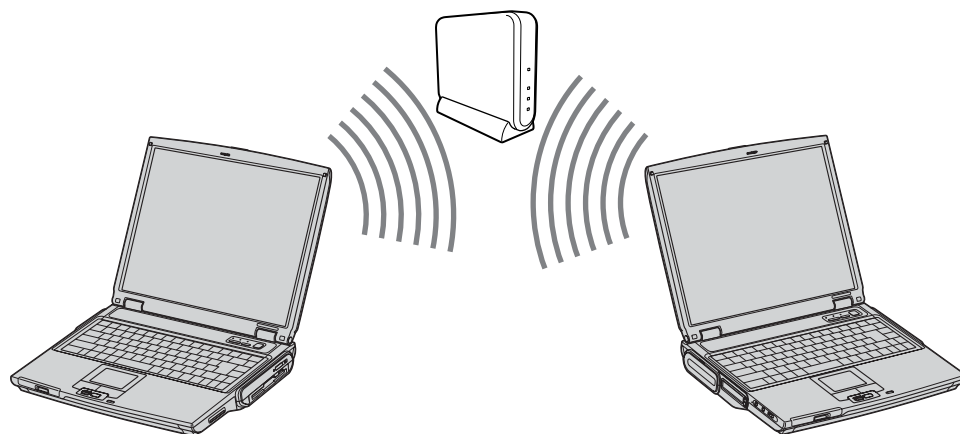
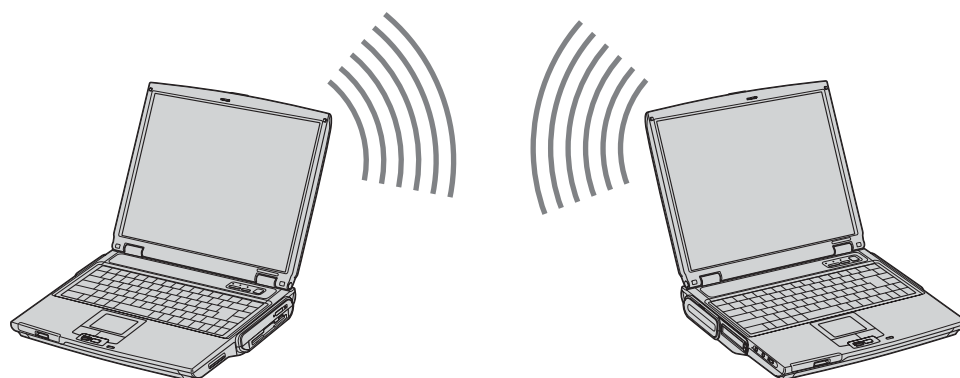
ご注意

初めて更新するときは、数十分時間がかかることがあります。

VAIO

ワイヤレスLANを使ってみる
(PCG-NV99E/BなどのワイヤレスLAN搭載モデルのみ)

ワイヤレスLANを使ってできること

ワイヤレスLANは、ケーブル接続のわずらわしさを一切なくし、無線でLAN（ローカルエリアネットワーク）環境を構築できます。
本機にはIEEE802.11b準拠のワイヤレスLAN機能が搭載されています。ワイヤレスLANの接続形態には、ワイヤレスLANアクセスポイント（別売り）を中心にネットワークを構成する「インフラストラクチャモード」と、アクセスポイントを使用せずコンピュータどうしが直接接続する「Ad hocモード」の2つがあります。インフラストラクチャモードで使用する場合、ご家庭やオフィス、またはワイヤレスLANアクセスポイントが設置されたカフェや空港など外出先からもインターネットやメール交換が楽しめます。また、ADSLモデムなどにつながれたアクセスポイントと通信すれば、ブロードバンドネットワークも実現できます。

アクセスポイント経由で通信（インフラストラクチャモード）

コンピュータどうしで通信（Ad hocモード）

ご注意

- ワイヤレスLAN通信では、使用する周波数帯域を分割してそれぞれの帯域で異なる通信を行うことができ、その分割された個々の周波数帯のことを「チャンネル」といいます。
  他社製のワイヤレスLANアクセスポイントの中には、工場出荷時の設定でワイヤレスLANが使用するチャンネルを14チャンネルとしているものがあります。このようなアクセスポイントを使用する場合は、アクセスポイントに付属の取扱説明書をご覧になり、無線チャンネルを1～11チャンネルのいずれかに設定してください。
- IEEE802.11a準拠のワイヤレスLAN機能とIEEE802.11b準拠のワイヤレスLAN機能とでは、周波数帯域が異なるため接続することはできません。
- 外出先でワイヤレスLAN通信を行う際は、ワイヤレスLAN接続サービスを提供する会社との契約が必要となる場合があります。

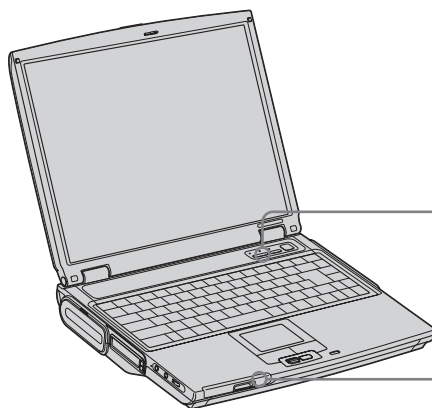
本機内蔵のワイヤレスLAN機能はWECA（Wireless Ethernet Compatibility Alliance）で規定された「Wi-Fi（ワイファイ）仕様」に適合していることが確認されています。

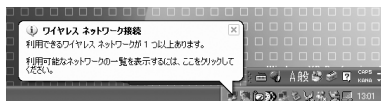
ワイヤレスLANアクセスポイントを使って通信する（インフラストラクチャモードで通信する）

以下の手順で本機とワイヤレスLANアクセスポイント（別売り）をつなぎます。詳しくはWindowsのヘルプをご覧ください。
アクセスポイントを経由してインターネットや職場のLANなどとつなぐには、さらにアクセスポイントの設定が必要です。詳しくは、お使いになるアクセスポイントに付属の取扱説明書をご覧ください。
以下の手順は、アクセスポイントを使えるように設定し、アクセスポイントの電源が入っていて動作している状態で行ってください。

- ソニー製ワイヤレスLANアクセスポイントPCWA-A200、PCWA-A220をお使いになる場合、アクセスポイントの設定について詳しくは、アクセスポイントに付属の取扱説明書またはオンラインヘルプをご覧ください。
  さらに、VAIOカスタマーリンクのホームページ（http://vcl.vaio.sony.co.jp/）では、お使いのノートブックコンピュータの機種別情報にて最新情報をご案内しています。こちらもあわせてご覧ください。
- ワイヤレスLANで通信をする際、接続先のワイヤレスLANアクセスポイントの認識と接続にしばらく時間がかかることがあります。
- 本機は、1～11チャンネルに対応しています。
  アクセスポイントのチャンネルを1～11に設定してください。
  設定方法について詳しくは、アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。

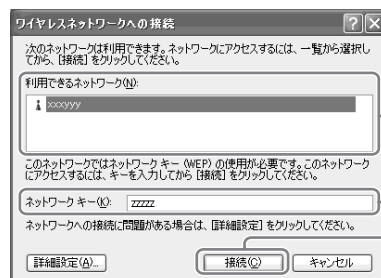
1 WIRELESS LANスイッチを「ON ▶」方向にスライドさせる。

WIRELESS LANスイッチ左側に緑色のマークが見え、ワイヤレスLAN機能がオンになり、WIRELESS LANランプがグリーンに点灯します。

2 デスクトップ画面右下の通知領域の 🖧 または 🖧「ワイヤレスネットワーク接続・・・」アイコンをクリックする。

ローカルエリア接続アイコンと同じアイコンが表示されるので、アイコンにポインタをあててアイコン名を確認してください。

「ワイヤレスネットワークへの接続」画面が表示されます。

3 「利用できるネットワーク」のリストから接続先のワイヤレスLANアクセスポイントを選び、ネットワークキーを入力して、 接続(C) をクリックする。

ご注意

アルファベットの大文字と小文字は区別されますので、入力する際はご注意ください。

接続されると通知領域に「ワイヤレス ネットワーク接続に接続しました」というメッセージが表示されます。

ネットワークキーとは?

IEEE802.11b準拠のワイヤレス(無線)LANの通信を暗号化するために用いられるキー情報のことです。「暗号キー」、「Encryptionキー」、「WEPキー」とも言います。
同じキー情報を使用するワイヤレスLANアクセスポイントやコンピュータ間でのみワイヤレスLAN通信を行うことができます。
ネットワークキーはあらかじめ各アクセスポイントに設定されています(不正な使用を防ぐためにも、ネットワークキーが工場出荷時の設定から変更されていることをご確認ください)。ネットワークキーが分からない場合は、アクセスポイントに付属の取扱説明書をご覧いただくか、アクセスポイントの管理者にご確認ください。

ワイヤレスLANアクセスポイントとの接続状況を確認するには

通知領域の またはは 「ワイヤレスネットワーク接続・・・」アイコンをクリックすると、「ワイヤレス ネットワーク接続の状態」画面が表示され、ワイヤレスLANアクセスポイントとの接続状況などを確認することができます。

ネットワークキーを入力していったん接続するとそのワイヤレスLANアクセスポイントが登録され、次回以降接続するときはネットワークキーを入力せずに接続できます。

ワイヤレスLANアクセスポイントの個別情報を確認するには

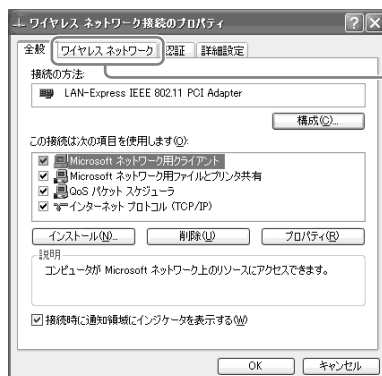
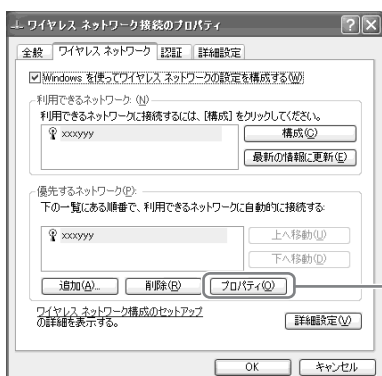
以下の手順で操作すると、ワイヤレスLANアクセスポイントの個別情報を確認することができます。

1 **通知領域の またはは 「ワイヤレスネットワーク接続・・・」アイコンをクリックする。**

「ワイヤレス ネットワーク接続の状態」画面が表示されます。

2 **[全般]タブの [プロパティ(P)] をクリックする。**

「ワイヤレス ネットワーク接続のプロパティ」画面が表示されます。

3 ［ワイヤレス ネットワーク］タブをクリックする。

「利用できるネットワーク」のリストと、「優先するネットワーク」のリストが表示されます。

4 「優先するネットワーク」のリストから確認したいものを選び、 をクリックする。

「ワイヤレスネットワークプロパティ」画面が表示され、ワイヤレスLANアクセスポイントの詳細情報を確認できます。

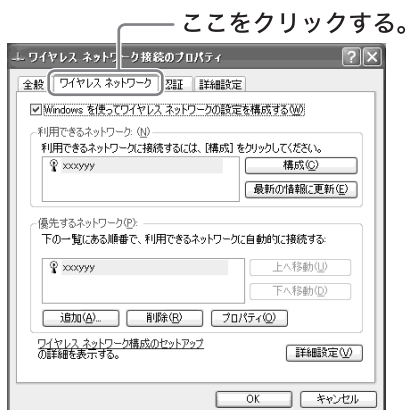
接続先を切り替えるには

ワイヤレスLANで接続中に、他のワイヤレスLANアクセスポイントに接続を切り替えることができます。
詳しくはWindowsのヘルプをご覧ください。

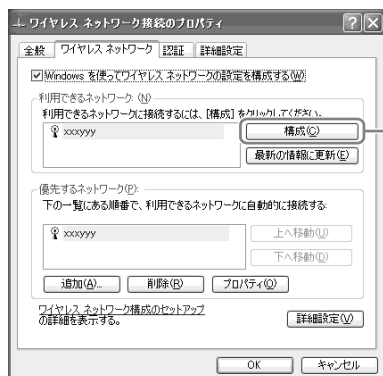
1 通知領域の または 「ワイヤレスネットワーク接続・・・」アイコンをクリックする。

「ワイヤレス ネットワーク接続の状態」画面が表示されます。

2 ［全般］タブの プロパティ(P) をクリックする。

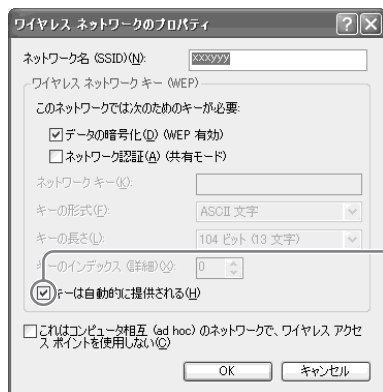
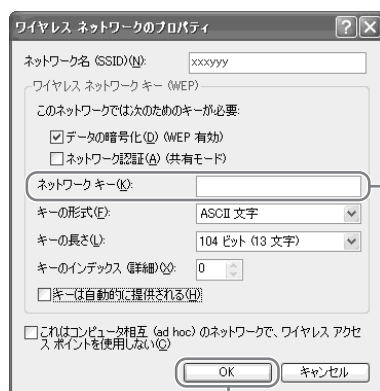
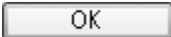
「ワイヤレス ネットワーク接続のプロパティ」画面が表示されます。

3 ［ワイヤレス ネットワーク］タブをクリックする。

「利用できるネットワーク」のリストと、「優先するネットワーク」のリストが表示されます。

「利用できるネットワーク」のリストから切り替え先のワイヤレスLANアクセスポイントを選び、[構成(C)]をクリックする。

「ワイヤレス ネットワークのプロパティ」画面が表示されます。

切り替え先のワイヤレスLANアクセスポイントが表示されない場合は、[最新の情報に更新(E)]をクリックしてください。

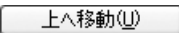
5

[キーは自動的に提供される]をクリックしてチェックをはずす。

次のページへつづく

ネットワークキーを入力し、［OK］をクリックする。

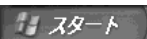
手順3の画面に戻り、切り替え先のワイヤレスLANアクセスポイントが「優先するネットワーク」のリストの一番上に追加されたことを確認してください。

［OK］をクリックする。

切り替え先のワイヤレスLANアクセスポイントに接続すると、接続されたメッセージが通知領域に表示されます。

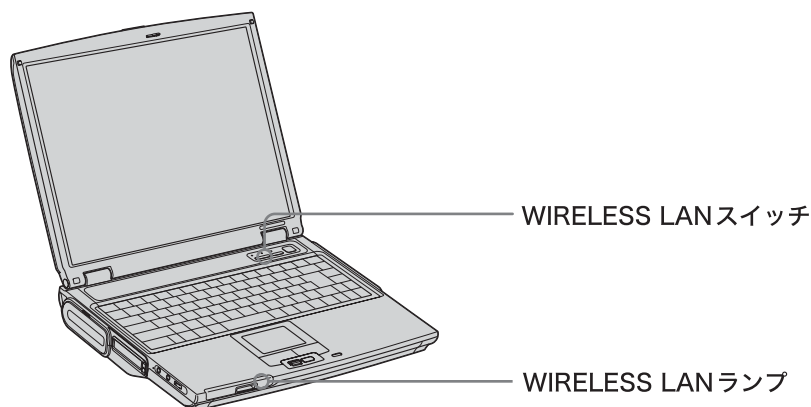
接続しているワイヤレスLANアクセスポイントの範囲外に移動した場合、接続可能なアクセスポイントのうち、優先度を高く登録しているアクセスポイントに自動的に切り替わります。
優先順位を設定するには以下の手順に従って操作します。

① 通知領域の または 「ワイヤレスネットワーク接続・・・」アイコンをクリックする。
「ワイヤレス ネットワーク接続の状態」画面が表示されます。
② ［全般］タブの ［プロパティ(P)］ をクリックする。
「ワイヤレス ネットワーク接続のプロパティ」画面が表示されます。
③ ［ワイヤレス ネットワーク］タブをクリックする。
「利用できるネットワーク」のリストと、「優先するネットワーク」のリストが表示されます。
④ 「優先するネットワーク」のリストから順位を変更したいものを選び、［上へ移動(U)］ または ［下へ移動(D)］ をクリックする。
⑤ ［OK］ をクリックする。

コンピュータどうしを直接接続する（IBSS Ad hocモードで通信する）

IBSS Ad hocモードを使うと、ワイヤレスLANアクセスポイントを経由せずに、直接ワイヤレスLANデバイスどうしがLANを構築することができます。
まず、1台目のコンピュータをIBSS Ad hocモードに設定してから、2台目以降のコンピュータを1台目のコンピュータに接続します。

1

WIRELESS LANスイッチを「ON ▶」方向にスライドさせる。

WIRELESS LANスイッチ左側に緑色のマークが見え、ワイヤレスLAN機能がオンになり、WIRELESS LANランプがグリーンに点灯します。

2

ボタンをクリックし、［コントロールパネル］→［ネットワークとインターネット接続］→［ネットワーク接続］の順にクリックする。

「ネットワーク接続」画面が表示されます。

次のページへつづく

3

[ワイヤレス ネットワーク接続 (LAN-Express IEEE 802.11 PCI Adapter)] アイコンを右クリックし、[プロパティ] をクリックする。

「ワイヤレス ネットワーク接続のプロパティ」画面が表示されます。

4

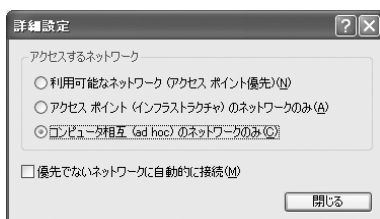
[ワイヤレス ネットワーク] タブをクリックする。

5

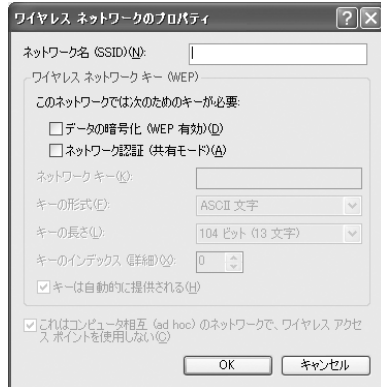
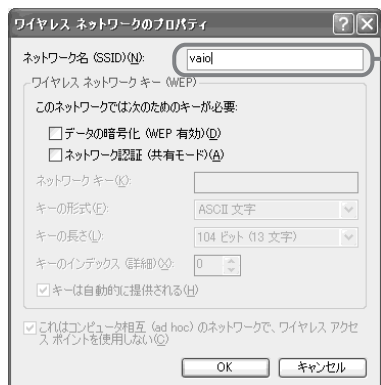
詳細設定(V) をクリックする。

「詳細設定」画面が表示されます。

6

「アクセスするネットワーク」で [コンピュータ相互 (ad hoc) のネットワークのみ] を選んでから 閉じる をクリックする。

IBSS Ad hocネットワークのみにつながるように設定されます。

7 [追加(A)...] をクリックする。

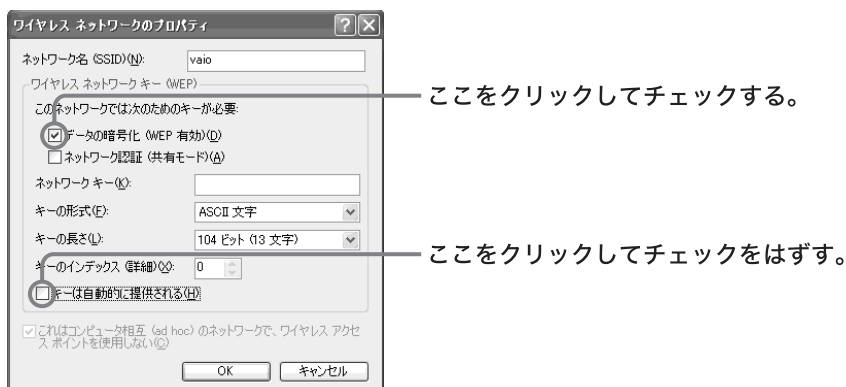
「ワイヤレス ネットワークのプロパティ」画面が表示されます。

8 「ネットワーク名(SSID)」を入力する。

「ネットワーク名」は、任意の最大32文字までの半角英数字を入力することができます。

ご注意

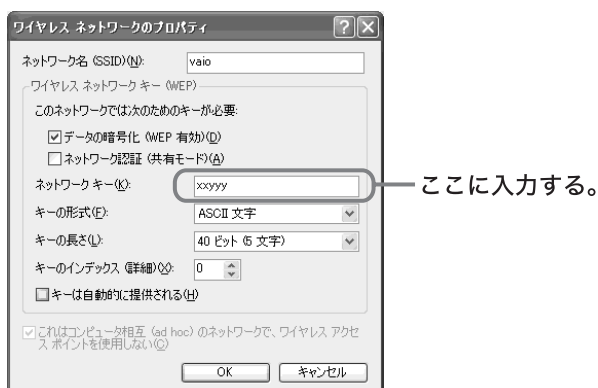
アルファベットの大文字と小文字は区別されますので、入力する際はご注意ください。

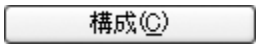
次のページへつづく

9

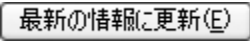
[データの暗号化 (WEP 有効)] をクリックしてチェックし、
[キーは自動的に提供される] をクリックしてチェックをはずす。

「ネットワークキー」が入力できるようになります。

10

「ネットワークキー」に任意の半角英数字5文字または13文字(16進数指定の場合、10桁または26桁)を入力し、 OK をクリックする。

「優先するネットワーク」のリストの一番上に、手順8で入力した「ネットワーク名」が追加されたことを確認してください。

ご注意

アルファベットの大文字と小文字は区別されますので、入力する際はご注意ください。

11

OK をクリックする。

これで、1台目のコンピュータをIBSS Ad hocモードに設定しました。
以降の手順で、2台目以降のコンピュータの設定を行います。

12 1台目と同様に、2台目も手順1～6を行う。

13 「利用できるネットワーク」のリストから接続先（1台目のコンピュータ）を選び、［構成(C)］をクリックする。

「ワイヤレス ネットワークのプロパティ」画面が表示されます。

切り替え先のワイヤレスLANアクセスポイントが表示されない場合は、［最新の情報に更新(E)］をクリックしてください。

14 ［キーは自動的に提供される］をクリックしてチェックをはずす。

15 「ネットワークキー」を入力し、［OK］をクリックする。

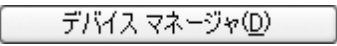
上記手順10で入力した同じ「ネットワークキー」を入力します。

16 ［OK］をクリックする。

1台目のコンピュータに接続されたことを示すメッセージが2台目のコンピュータの通知領域に表示されます。
これで、1台目のコンピュータとIBSS Ad hocモードで通信することができます。

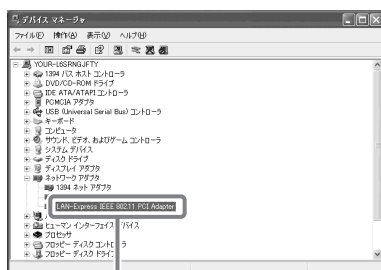
ご注意

IBSS Ad hocモードの場合、IPアドレスを取得するまでしばらく時間がかかります。

IBSS Ad hocモードのチャンネルを変更するには

データ転送速度が遅いなど、パフォーマンスが上がらないときは、チャンネルを変更すると
パフォーマンスが改善されることがあります。
以下の手順でIBSS Ad hocモードで使用するチャンネルを変更してください。

1 スタート ボタンをクリックし、[コントロールパネル] → [パフォーマンスとメンテナンス] → [システム] の順にクリックする。

2 [ハードウェア] タブをクリックし、 デバイス マネージャ(D) をクリックする。

3 [ネットワーク アダプタ] から [LAN-Express IEEE 802.11 PCI Adapter] を右クリックし、[プロパティ] をクリックする。

ここを右クリックして [プロパティ] をクリックする。

［詳細設定］タブをクリックする。

5

「プロパティ」の［Channel］を選択し、「値」から01〜11のいずれかのチャンネルを選ぶ。

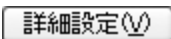
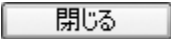
ここをクリックする。

ご注意

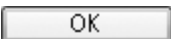
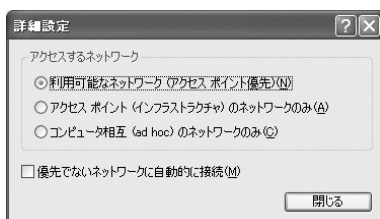
表示上12〜14チャンネルまで選べるようになっていますが、使用できません。

IBSS Ad hocモードを終了するには

以下の手順でIBSS Ad hocモードを終了し、インフラストラクチャモードに戻します。

1 スタート ボタンをクリックし、［コントロールパネル］→［ネットワークとインターネット接続］→［ネットワーク接続］の順にクリックする。

2 ［ワイヤレス ネットワーク接続（LAN-Express IEEE 802.11 PCI Adapter)］アイコンを右クリックしてプロパティを選ぶ。

「ワイヤレス ネットワーク接続のプロパティ」画面が表示されます。

3 ［ワイヤレス ネットワーク］タブをクリックする。

4 詳細設定(V) をクリックし、「アクセスするネットワーク」で［利用可能なネットワーク（アクセスポイント優先)］を選んでから、閉じる をクリックする。

5 「優先するネットワーク」のリストからIBSS Ad hocモードで設定したネットワークを選び、削除(R) をクリックする。

6 OK をクリックする。

ワイヤレスLANの通信を終了する

WIRELESS LANスイッチを「ON ▶」と反対方向にスライドさせます。
ワイヤレスLAN機能がオフになり、WIRELESS LANランプが消灯します。

本機を拡張する

メモリモジュールを取り付ける／取りはずす

本機にはメモリモジュールを取り付けるスロットが2つあり、最大512 Mバイトまでメモリを増設できます。*
メモリ容量が大きいと、データの処理速度や、複数のソフトウェアを同時に起動したときの処理が速くなります。

* PCG-NV99E/B･NV95ENは、工場出荷時に256Mバイト メモリモジュールが1枚取り付けられています。

メモリモジュールを取り付けるには

ご注意

- メモリモジュールを取り付ける前に、本機の電源を切り、約1時間ほどおいてから作業を行ってください。
  電源を切ったすぐあとは、本機の内部が熱くなっており、やけどをするおそれがあります。
- コンピュータ内部はとても精密にできています。そのため、メモリモジュールの取り付けや取りはずしは注意深く行う必要があります。取り付けかたや取りはずしかたを誤ると、本機の故障の原因になります。
  破損した場合は有償修理となります。
  メモリモジュールの取り付けや取りはずしに関するご相談やご質問は、VAIOカスタマーリンクまでご連絡ください。
- 別売りのソニー製メモリーモジュールPCGA-MM256D以外では、正常に認識されなかったり、Windowsの動作が不安定になるものがあります。他社のメモリモジュールをお使いになる場合には、販売店またはメモリモジュールの製造メーカーにご相談ください。
- 水などの液体や、ネジなどの異物が入ると故障の原因となりますので、ご注意ください。

メモリモジュールの取り扱いについて

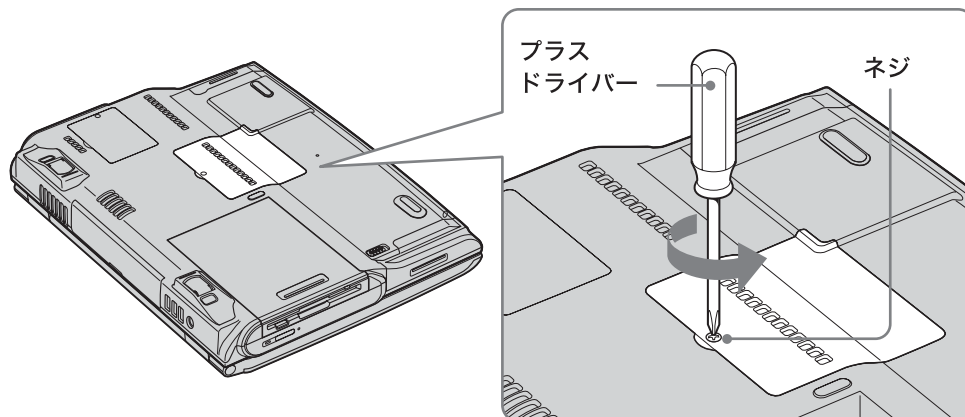
- 静電気でメモリモジュールを破壊しないように、メモリモジュールを取り扱うときは、次のことをお守りください。
  - メモリモジュールを取り付けるときは、静電気の起こりやすい場所（カーペットの上など）では作業しないでください。
  - 静電気を体から逃がすため、本機の金属部に触れてから作業を始めてください。
    ただし、本機内部の金属部には触らないようご注意ください。
  - メモリモジュールは静電気防止袋に入っています。取り付け直前まで袋から出さないでください。
- メモリモジュールを保管するときは、静電気防止袋またはアルミホイルで覆ってください。

1

本機と周辺機器の電源を切り、電源コードやバッテリ、および
すべての接続ケーブルを取りはずす。

2

本機を裏返し、底面のふたを開ける。

ご注意

- ドライバーはネジのサイズにあったもの（精密ドライバーなど）をお使いください。
- 指定以外のネジをはずしたり、ゆるめたりしないでください。本機の故障の原因となるおそれがあります。
- はずしたネジが、周囲のすき間から機器内に落ちないようご注意ください。

3

本機の金属部に触れて体の静電気を逃がしてから、メモリ
モジュールを静電気防止袋から取り出す。

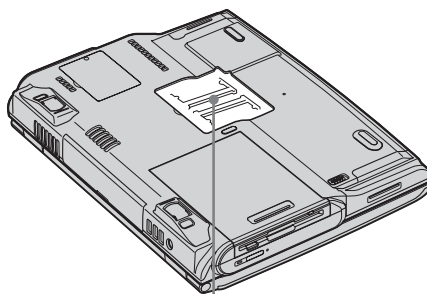
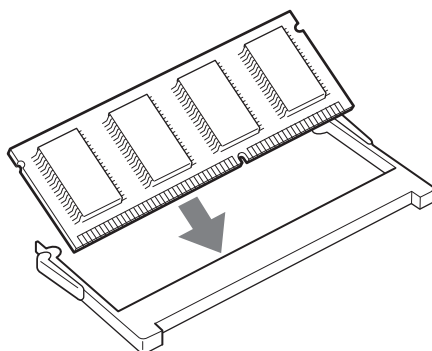
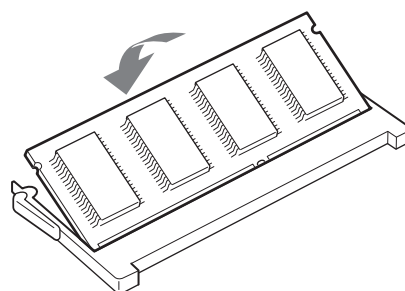
ただし、本機内部の金属部には触らないようご注意ください。

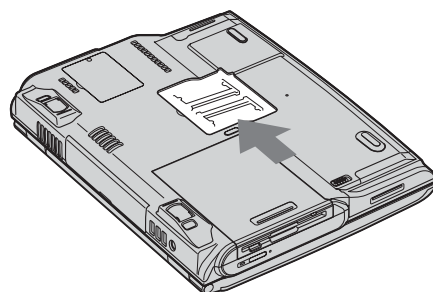
次のページへつづく

メモリモジュールを取り付ける。

① メモリモジュールのエッジコネクタ部分を下にむけ、切り欠き部分をスロットの溝にあわせて、奥までしっかりと差し込む。

② 「カチッ」と音がするまで、矢印の方向にメモリモジュールを倒す。

メモリモジュールの両端が固定されます。

ご注意

- メモリモジュール以外の基板には触れないようご注意ください。
- メモリモジュールを1枚しか使わない場合は、必ず次の矢印で示した側のスロットに取り付けてください。

ふたを元に戻し、ネジをしっかり締める。

メモリモジュールを取りはずすには

ご注意

メモリモジュールを取りはずす前に、本機の電源を切り、約1時間ほどおいてから作業を行ってください。
電源を切ったすぐあとは、本機の内部が熱くなっており、やけどをするおそれがあります。

メモリモジュールの取り扱いについて

- 静電気でメモリモジュールを破壊しないように、メモリモジュールを取り扱うときは、次のことをお守りください。
  – メモリモジュールを取りはずすときは、静電気の起こりやすい場所（カーペットの上など）では作業しないでください。
  – 静電気を体から逃がすため、本機の金属部に触れてから作業を始めてください。
  ただし、本機内部の金属部には触らないようご注意ください。
- メモリモジュールを保管するときは、静電気防止袋またはアルミホイルで覆ってください。

1 本機と周辺機器の電源を切り、電源コードやバッテリ、およびすべての接続ケーブルを取りはずす。

2 本機を裏返し、底面のふたを開ける。

ご注意

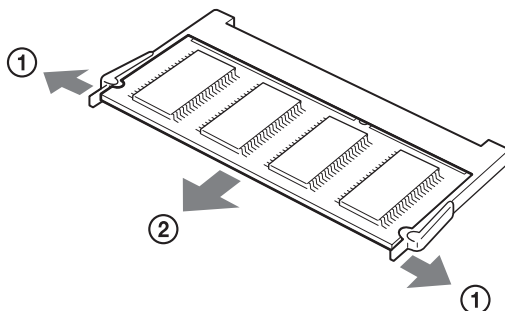
- ドライバーはネジのサイズにあったもの（精密ドライバーなど）をお使いください。
- 指定以外のネジをはずしたり、ゆるめたりしないでください。本機の故障の原因となるおそれがあります。
- はずしたネジが、周囲のすき間から機器内に落ちないようご注意ください。

次のページへつづく

3 本機の金属部に触れて体の静電気を逃がしてから、メモリモジュールを取りはずす。

ただし、本機内部の金属部には触らないようご注意ください。

① メモリモジュールを固定しているタブを、注意しながら同時に押し広げる。

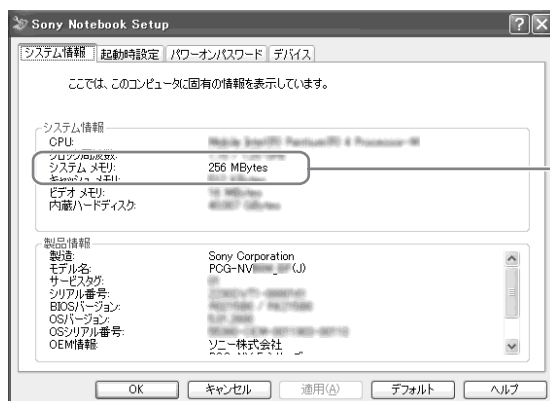
② メモリモジュールを矢印の方向に引き抜く。

4 ふたを元に戻し、ネジをしっかり締める。

メモリの容量を確認する

1 本機の電源を入れる。

2 スタート ボタンをクリックして、［すべてのプログラム］→［VAIOソフトウェアはこちら］→［ユーティリティ］の順にポインタを合わせ、［Sony Notebook Setup：ハードウェア情報の管理と設定］をクリックする。

「Sony Notebook Setup」画面が表示されます。

3 ［システム情報］タブをクリックして、「システム メモリ」の項目を確認する。

メモリ容量が正しくないときは、本機の電源を切って、もう1度正しく取り付けの手順を繰り返してください。

フロッピーディスクドライブ ベイを取りはずす／取り付ける

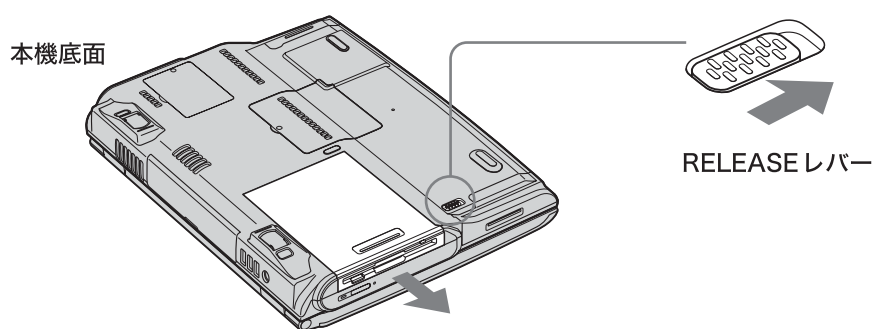
ご注意

- フロッピーディスクドライブ ベイを取りはずしてご使用になる場合は、異物等が入り故障の原因となりますので、ウェイトセーバーをエンターテインメントベイに取り付けておいてください。ウェイトセーバーの取り付けかたについて詳しくは、「サイバーサポート」画面左側の バイオの使いかた をクリックし、［基本的な使いかた］→［フロッピーディスクを使う］→［ウェイトセーバーを取り付ける／取りはずす］の「ウェイトセーバーを取り付けるには」の情報をご覧ください。
- 本機が省電力動作モードのときは、取りはずし／取り付けはできません。本機の故障の原因となります。通常の動作モードに復帰させるか、電源を切ってから行ってください。省電力動作モードについて詳しくは、「サイバーサポート」画面左側の バイオの使いかた をクリックし、［設定を変更する］→［バッテリの消費電力を節約する（「PowerPanel」の使いかた）］→［省電力動作モードについて］を順にクリックして表示される情報をご覧ください。

フロッピーディスクドライブ ベイを取りはずすには

工場出荷時には、あらかじめフロッピーディスクドライブ ベイがエンターテインメントベイに取り付けられています。Net MD ベイやテンキー ベイなどのベイ ユニットを取り付けるときなどは、エンターテインメントベイからフロッピーディスクドライブ ベイを取りはずす必要があります。

本機の電源が入っていないときは

本機底面のRELEASEレバーを矢印の方向にずらしたまま、フロッピーディスクドライブベイを取りはずします。

本機の電源が入っているときは

デスクトップ画面右下の通知領域にある をダブルクリックする。

2

リストからフロッピーディスクドライブ-（＊：）を選び、［停止(S)］をクリックする。

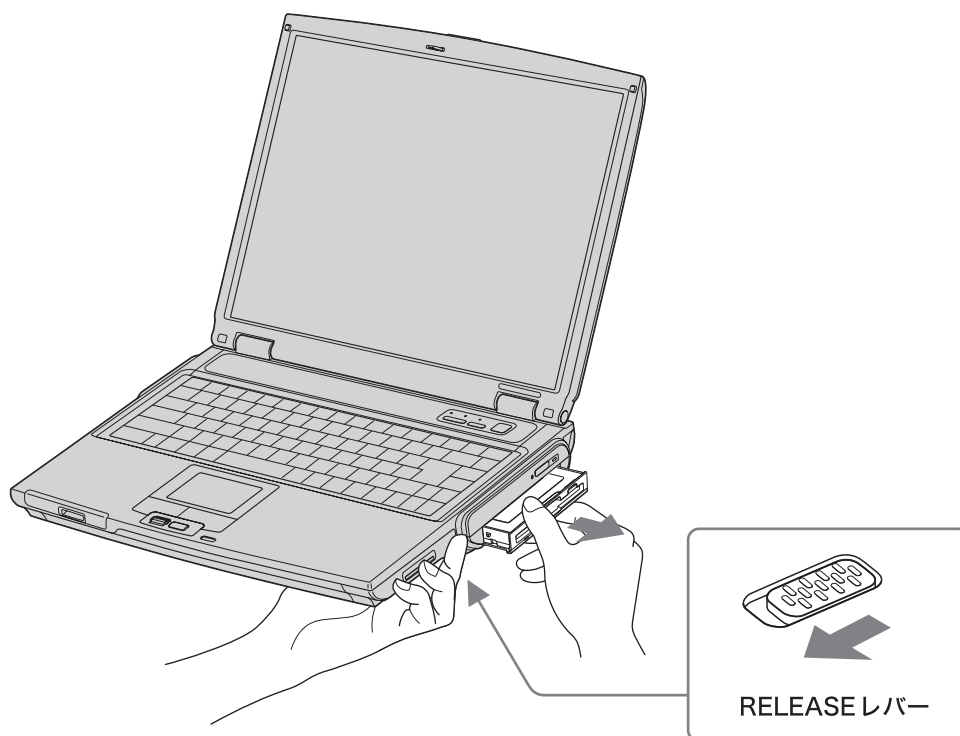
＊ ここに表示されるフロッピーディスクドライブのドライブ文字は、本機の使用環境に応じて変わる場合があります。

3

確認画面が表示されたらデバイスを確認し、［OK］をクリックする。

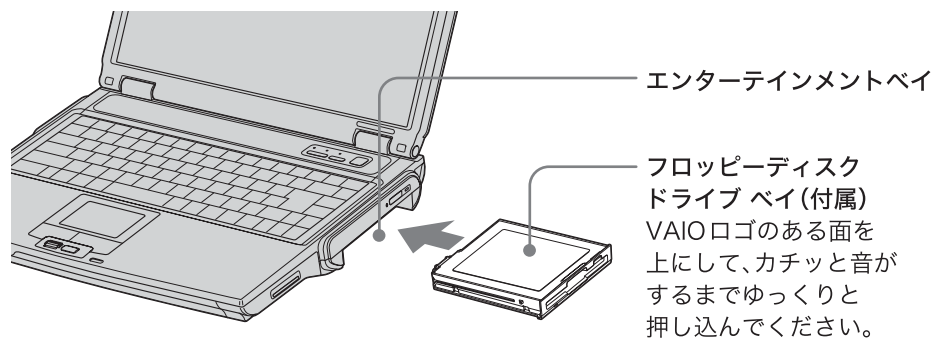
4

通知領域に「……は安全に取り外すことができます。」と表示されたら、本機底面のRELEASEレバーを矢印の方向にずらしたままフロッピーディスクドライブ ベイを取りはずす。

左手で本機の手前を持ち上げながら、底面のRELEASEレバーをずらして、
右手でフロッピーディスクドライブ ベイを取りはずします。

ご注意

本機を裏返さずにフロッピーディスクドライブ ベイを取りはずすときは、本機の手前を5 cm以上持ち上げないでください。
本機後面のコネクタに接続したケーブルを破損するおそれがあります。

本機を拡張する

フロッピーディスクドライブ ベイを取り付けるには

ベイ ユニットを取り付ける／取りはずす

Net MD ベイ、テンキー ベイ、コンパクトウーファー ベイなどのベイ ユニットの取り付け／取りはずしについて説明します。

ご注意

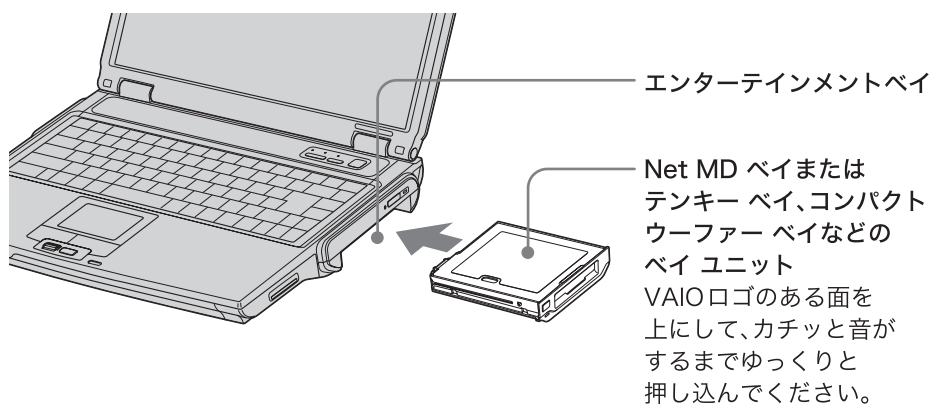
- ベイ ユニットを取りはずしてご使用になる場合は、異物等が入り故障の原因となりますので、ウェイトセーバーをエンターテインメントベイに取り付けておいてください。ウェイトセーバーの取り付けかたについて詳しくは、「サイバーサポート」画面左側の バイオの使いかた をクリックし、[基本的な使いかた] → [フロッピーディスクを使う] → [ウェイトセーバーを取り付ける／取りはずす] の「ウェイトセーバーを取り付けるには」の情報をご覧ください。
- 本機が省電力動作モードのときは、取りはずし／取り付けはできません。本機の故障の原因となります。通常の動作モードに復帰させるか、電源を切ってから行ってください。
- Net MD ベイを取り付けて使うときは、他のNet MD機器と同時に使用しないでください。
- Net MD ベイとコンパクトウーファー ベイを同時に使用することはできません。
- コンパクトウーファー ベイにハードディスクやフロッピーディスク、MDなどの記憶メディアを近づけないでください。
  コンパクトウーファー ベイの磁気により記憶メディアに記録されているデータが破壊されるおそれがあります。
- コンパクトウーファー ベイと外部スピーカーを同時に使用することはできません。

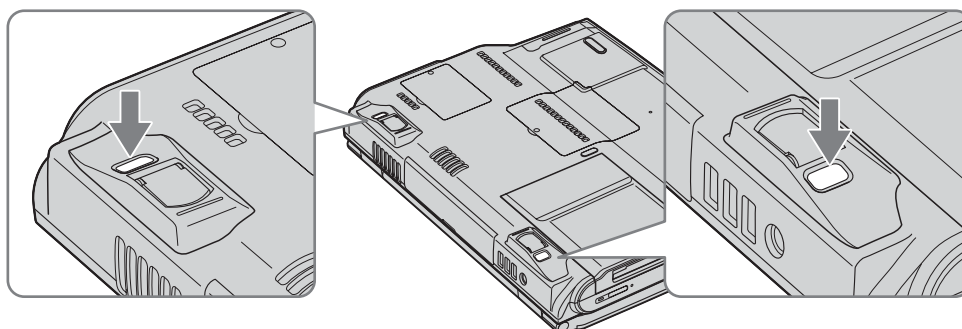
ベイ ユニットを取り付けるには

工場出荷時には、あらかじめフロッピーディスクドライブ ベイがエンターテインメントベイに取り付けられています。ベイ ユニットを取り付けるときなどは、エンターテインメントベイからフロッピーディスクドライブ ベイを取りはずす必要があります。

エンターテインメントベイから、フロッピーディスクドライブ ベイを取りはずす。（164ページ）

次のページへつづく

2 エンターテインメントベイにベイ ユニットを取り付ける。

ご注意

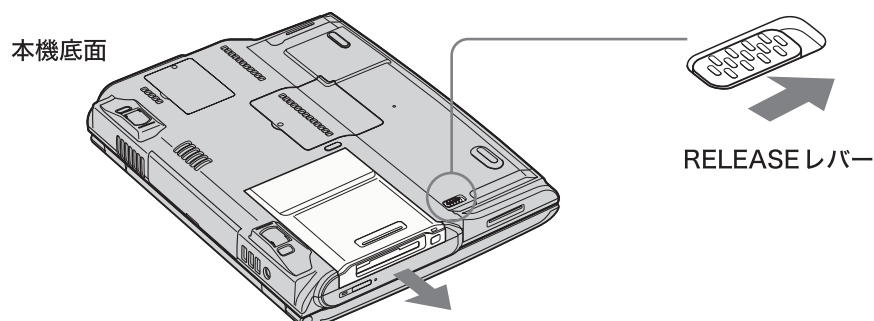
Net MD ベイやコンパクトウーファー ベイを取り付けて使うときは、必ず本機のチルトスタンドを立ててください。

Net MD ベイを取り付けても、「マイ コンピュータ」画面にMDのアイコンは表示されません。

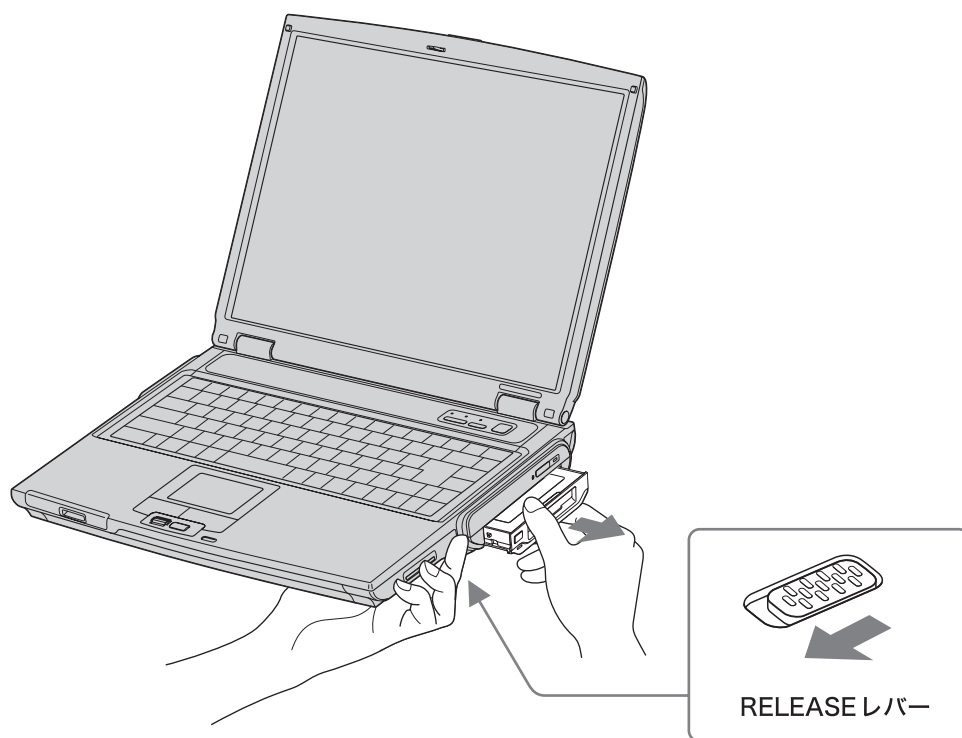
ベイ ユニットを取りはずすには

ご注意

- 「SonicStage」ソフトウェアを起動しているときは、Net MD ベイを取りはずさないでください。
- Net MD ベイを取りはずすときは、MDを取り出してから取りはずしてください。

本機の電源が入ってないときは

本機底面のRELEASEレバーを矢印の方向にずらしたまま、ベイ ユニットを取りはずします。

本機の電源が入っているときは

左手で本機の手前を持ち上げながら、底面のRELEASEレバーをずらして、右手でベイ ユニットを取りはずします。

ご注意

本機を裏返さずにベイ ユニットを取りはずすときは、本機の手前を5 cm以上持ち上げないでください。本機後面のコネクタに接続したケーブルを破損するおそれがあります。

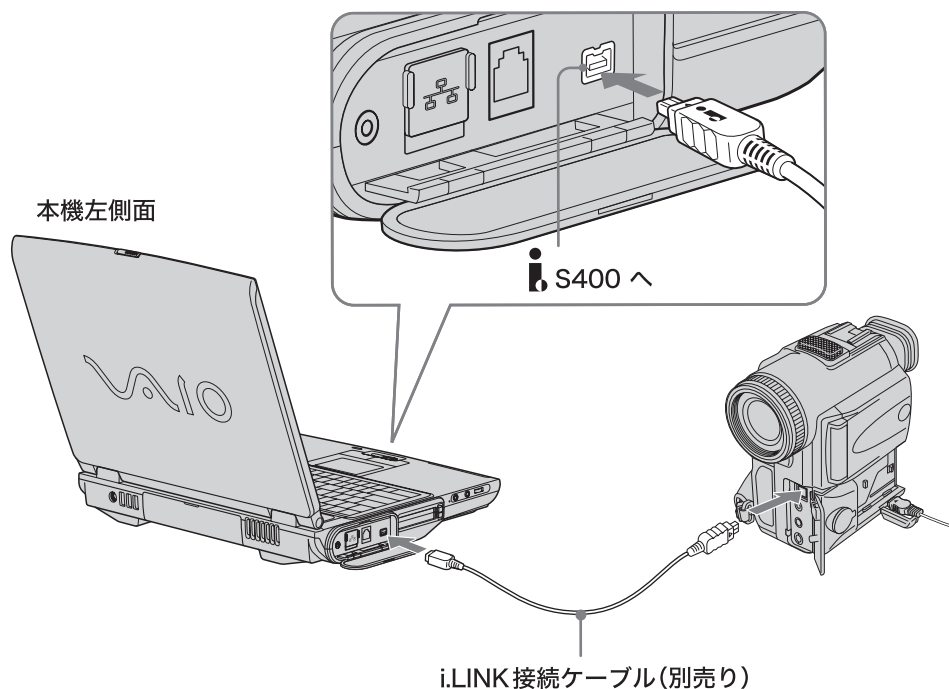
i.LINK対応機器をつなぐ

本機で操作できるi.LINK対応機器に付属のi.LINKケーブルまたは、ソニー製i.LINKケーブル「VMC-IL Series」(別売り)をお使いください。

主なケーブル

- VMC-IL4415A/IL4415B(4ピン ←→ 4ピン、1.5 m)
- VMC-IL4615A/IL4615B(4ピン ←→ 6ピン、1.5 m)

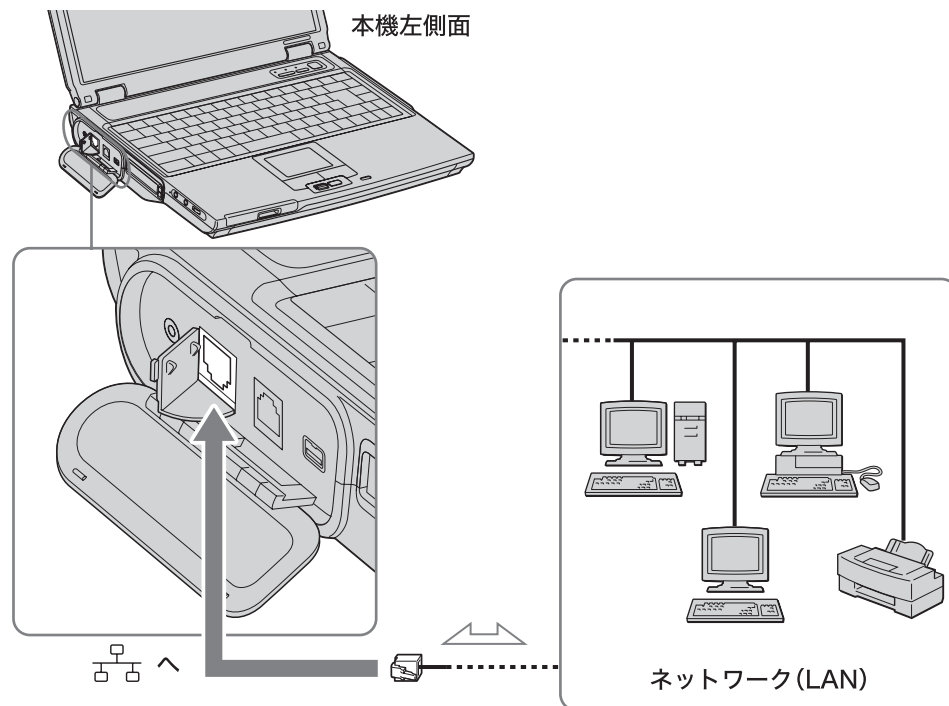
ご注意

DVケーブルはご使用になれません。

ご注意

- 一度に接続できるデジタルビデオカメラレコーダーは1台のみです。
  同時に2台以上のデジタルビデオカメラレコーダーを接続することはできません。
- 本機のi.LINKコネクタは、i.LINK対応機器に電源を供給しません。i.LINKコネクタからの電源供給が必要な一部の機器は、正しく使用できないことがあります。
- 本機のi.LINKコネクタは最大400 Mbpsのデータ転送に対応していますが、実際の転送速度は接続したi.LINK対応機器の転送速度により変わります。
- 接続のしかたや画像の取り込みかたは、接続するi.LINK対応機器や使用するソフトウェアによって異なります。詳しくは、i.LINK対応機器の取扱説明書や、本機に付属している「DVgate」などの各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

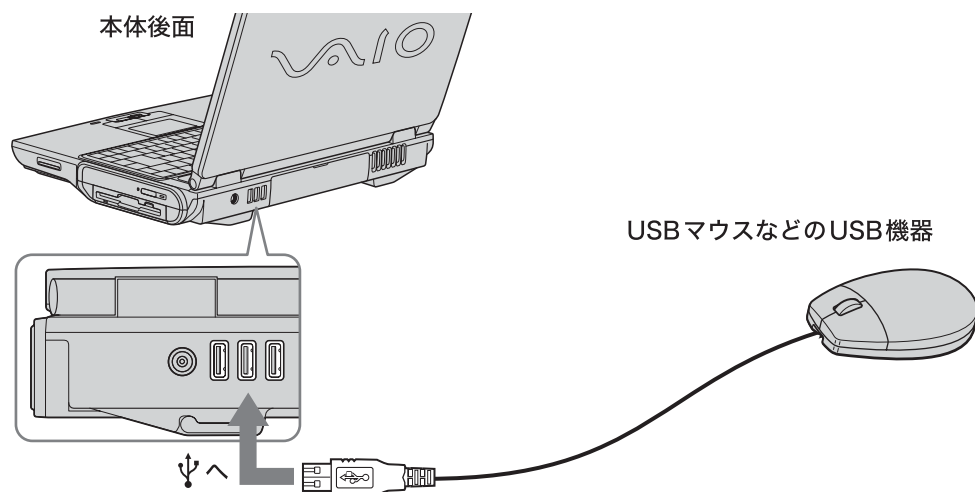
ネットワーク（LAN）につないでデータをやりとりする

本機左側面の 品 NETWORK（ネットワーク）コネクタと職場などのネットワーク（LAN）を直接接続して、ネットワーク内の他の機器とデータをやりとりできます。
10BASE-Tと100BASE-TXタイプのネットワークに接続できます。
ネットワークに接続するために必要な周辺機器や設定については、職場などのネットワークのシステム管理担当者にご相談ください。
本機のコネクタカバーを開いてから接続してください。

ご注意

本機の 品 NETWORK（ネットワーク）コネクタに次のネットワークや回線を接続すると、コネクタに必要以上の電流が流れ、故障の原因になります。特に、ホームテレホンやビジネスホンなどの回線には、絶対に接続しないでください。

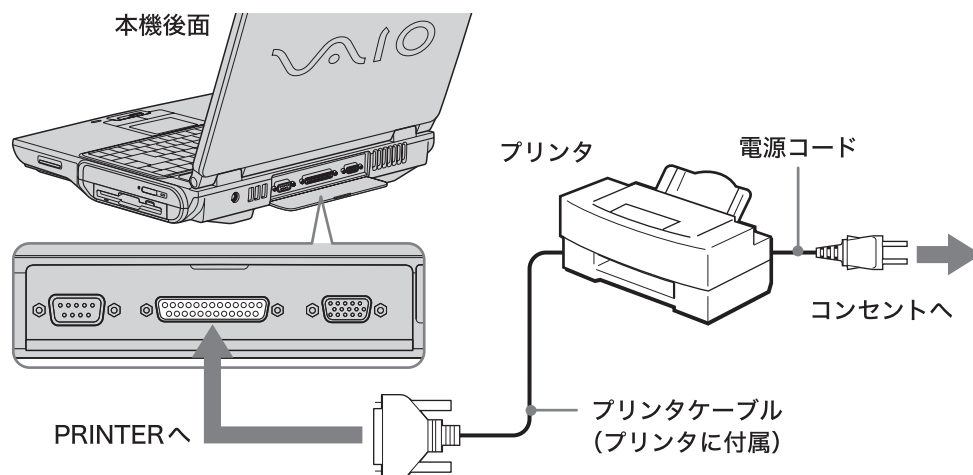
- 10BASE-Tと100BASE-TXタイプ以外のネットワーク
- 一般電話回線
- ISDN（デジタル）対応公衆電話のデジタル側のジャック
- PBX（デジタル式構内交換機）回線
- ホームテレホンやビジネスホンの回線
- 上記以外の電話回線など

USB機器をつなぐ

接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

別売りのソニー製USBマウスPCGA-UMS1 Seriesを接続できます。
本機にはあらかじめ PCGA-UMS1 Series用のドライバがインストールされているので、接続するだけでご使用になれます。

ご注意

- PCGA-UMS1 Series以外のUSBマウスは本機では使用できないものがあります。詳しくは、マウスの販売元または販売店にご確認ください。
- PS/2マウスは直接本機に接続できません。
- USB接続のスピーカーなどを本機から取りはずすときは、DVDビデオや音楽などの再生を中止するか、本機の電源を切ってから取りはずしてください。音楽やDVDビデオなどの再生中に取りはずすと、誤動作の原因となる場合があります。

プリンタをつなぐ

ご注意

- Windows XPに対応していないプリンタを本機につないでも、正常に動作しないことがあります。
- 本機とプリンタの電源を切り、コンセントからACアダプタや電源コードを抜いてから接続してください。
- 電源コードは、すべての接続が終わってからつないでください。
- 電源を入れるときは、周辺機器の電源を入れてから本機の電源を入れてください。
- 本機後面のコネクタカバーは全開せずにお使いください。

USBに対応したプリンタをお使いになるときは、USBコネクタにつないでください。（172ページ）

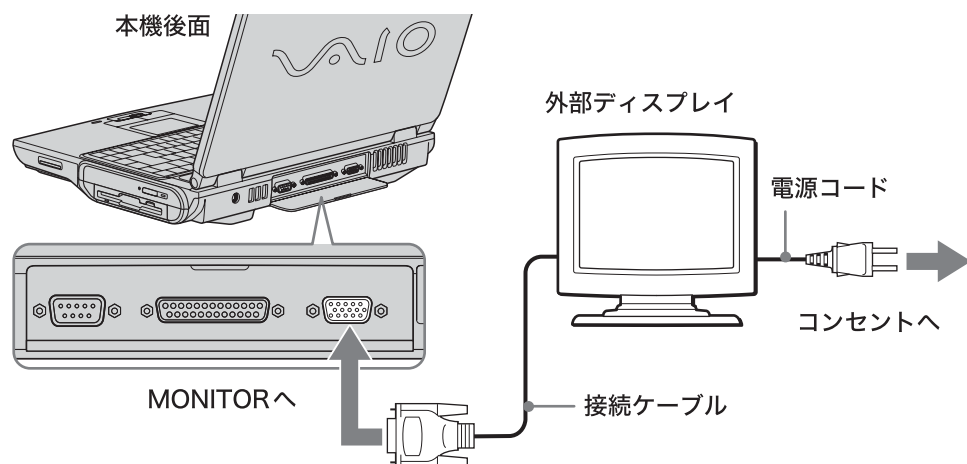
プリンタを使用する前の準備

- プリンタに付属のドライバを本機にインストールする。
  詳しくは、プリンタの取扱説明書をご覧ください。
- プリンタポートを設定する。詳しくは、「サイバーサポート」画面左側の バイオの使いかた をクリックし、[設定を変更する] → [本機の使用環境を設定する（「Sony Notebook Setup」の使いかた）] → [プリンタポートの設定を変更する] の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

外部ディスプレイをつなぐ

ご注意

- 本機と接続する機器の電源を切り、コンセントからACアダプタや電源コードを抜いてから接続してください。
- 電源コードは、すべての接続が終わってからつないでください。
- 電源を入れるときは、外部ディスプレイなどの周辺機器の電源を入れてから本機の電源を入れてください。
- 外部ディスプレイやプロジェクタの種類によっては、本機の液晶ディスプレイと同時表示できないものもあります。
- 本機後面のコネクタカバーは全開せずにお使いください。

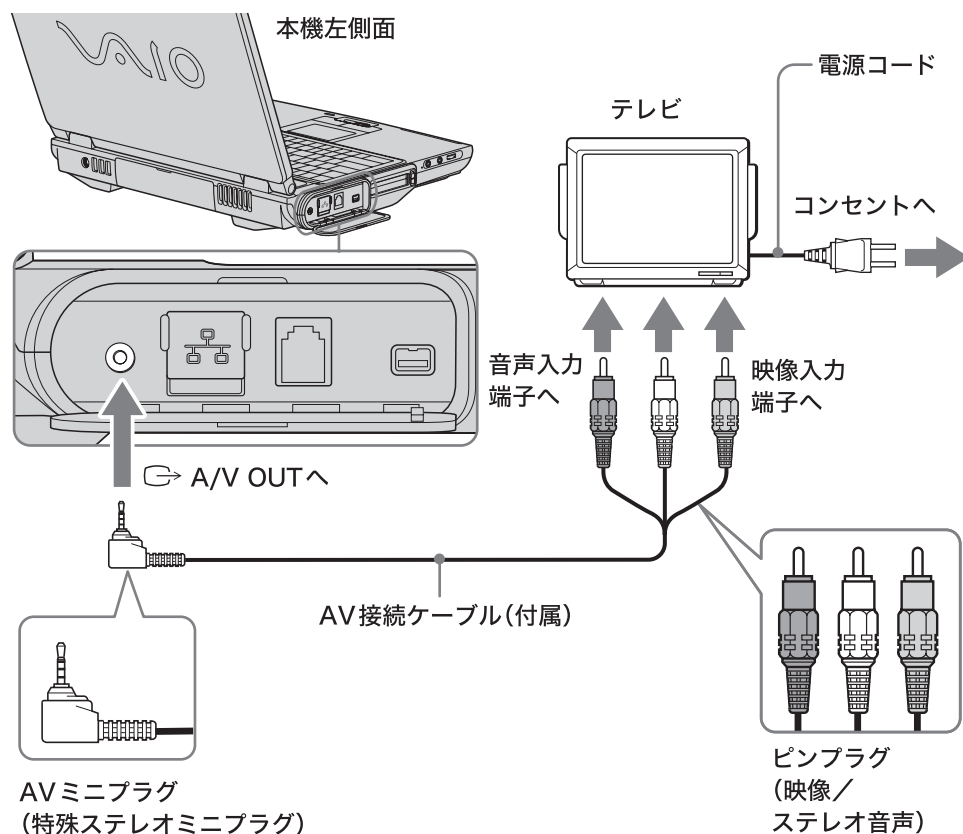
スピーカーなどが内蔵されていない通常のディスプレイにつなぐときは、ディスプレイの他に外部アクティブスピーカー（178ページ）やマイク（179ページ）をつなぐことで、AV環境をよりお楽しみいただけます。

ディスプレイに表示するには

次のいずれかの操作によって、本機のディスプレイと接続した外部ディスプレイなどとの表示を切り替えられます。

- 「画面のプロパティ」画面で設定する。詳しくは、「サイバーサポート」画面左側の バイオの使いかた をクリックし、[設定を変更する] → [画面表示の設定を変更する] → [表示するディスプレイを選ぶ] の順にクリックして表示される情報をご覧ください。
- Fnキーを操作する。（67ページ）

テレビをつなぐ

ご注意

- 本機と接続する機器の電源を切り、コンセントからACアダプタや電源コードを抜いてから接続してください。
- 電源コードは、すべての接続が終わってから接続してください。
- 電源を入れるときは、周辺機器の電源を入れてから本機の電源を入れてください。
- 本機の液晶ディスプレイが1,024 × 768 ドットより高い解像度に設定されているときは、テレビに表示できない領域があります。
  この場合、カーソルを動かすことで隠れた領域を表示させることができます。
  全領域を表示させたいときは、本機の液晶ディスプレイの解像度を1,024 × 768 ドット以下に変更してください。詳しくは、「サイバーサポート」画面左側の バイオの使いかた をクリックし、[設定を変更する] → [画面表示の設定を変更する] → [ディスプレイの設定を変更する] の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

テレビに表示するには

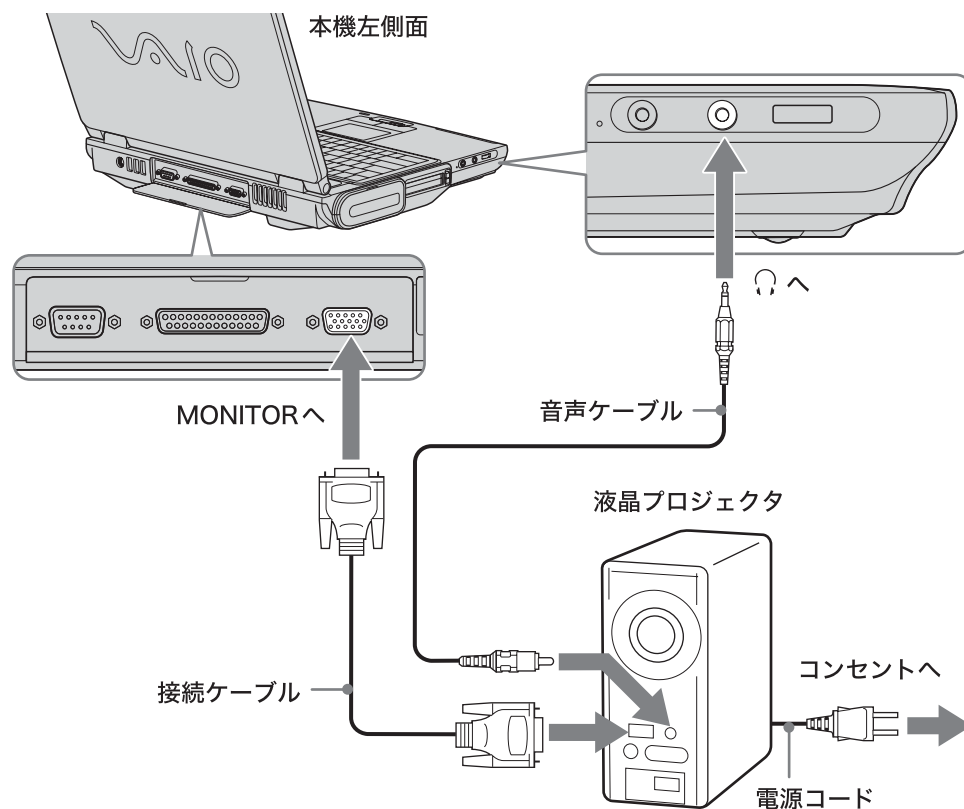
テレビの入力切替を「外部入力」に合わせて、次のいずれかの操作によって本機のディスプレイと接続したテレビとの表示を切り替えられます。

- 「画面のプロパティ」画面で設定する。詳しくは、「サイバーサポート」画面左側の バイオの使いかた をクリックし、[設定を変更する] → [画面表示の設定を変更する] → [表示するディスプレイを選ぶ] の順にクリックして表示される情報をご覧ください。
- Fnキーを操作する。(67ページ)

液晶プロジェクタをつなぐ

液晶プロジェクタを使うと、プレゼンテーションをするときなどに便利です。
接続のしかたは機器によって異なります。詳しくは、液晶プロジェクタの取扱説明書をご覧ください。

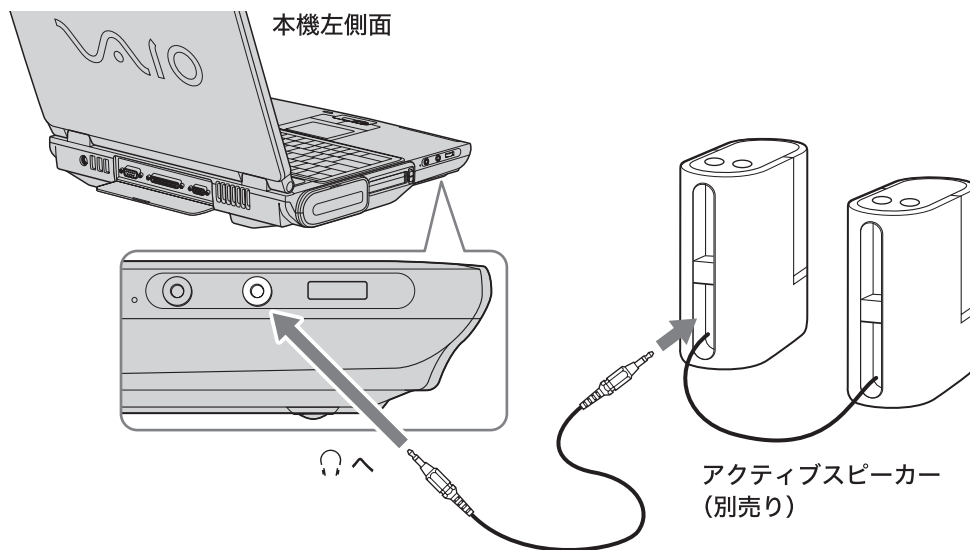
ご注意

- 本機と接続する機器の電源を切り、コンセントからACアダプタや電源コードを抜いてから接続してください。
- 電源コードは、すべての接続が終わってから接続してください。
- 電源を入れるときは、周辺機器の電源を入れてから本機の電源を入れてください。
- 外部ディスプレイやプロジェクタの種類によっては、本機の液晶ディスプレイと同時表示できないものもあります。
- 液晶プロジェクタの種類によっては、本機の解像度を表示できないものがあります。その場合は、本機の解像度を下げてお使いください。詳しくは、「サイバーサポート」画面左側の バイオの使いかた をクリックし、[設定を変更する] → [画面表示の設定を変更する] → [ディスプレイの設定を変更する] の順にクリックして表示される情報をご覧ください。
- 本機後面のコネクタカバーは全開せずにお使いください。

液晶プロジェクタに表示するには

次のいずれかの操作によって、本機のディスプレイと接続した液晶プロジェクタなどとの表示を切り替えられます。

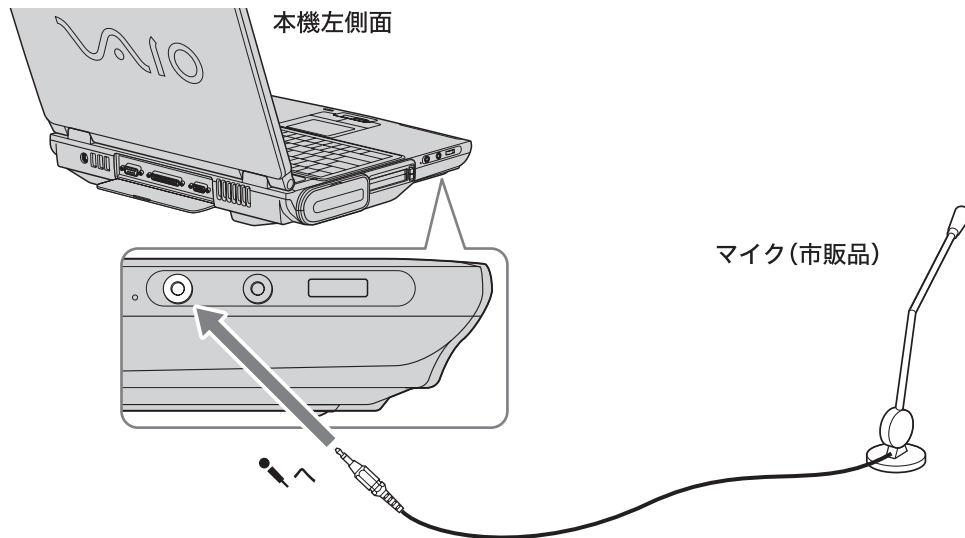
- 「画面のプロパティ」画面で設定する。詳しくは、「サイバーサポート」画面左側の バイオの使いかた をクリックし、[設定を変更する] → [画面表示の設定を変更する] → [表示するディスプレイを選ぶ] の順にクリックして表示される情報をご覧ください。
- Fnキーを操作する。(67ページ)

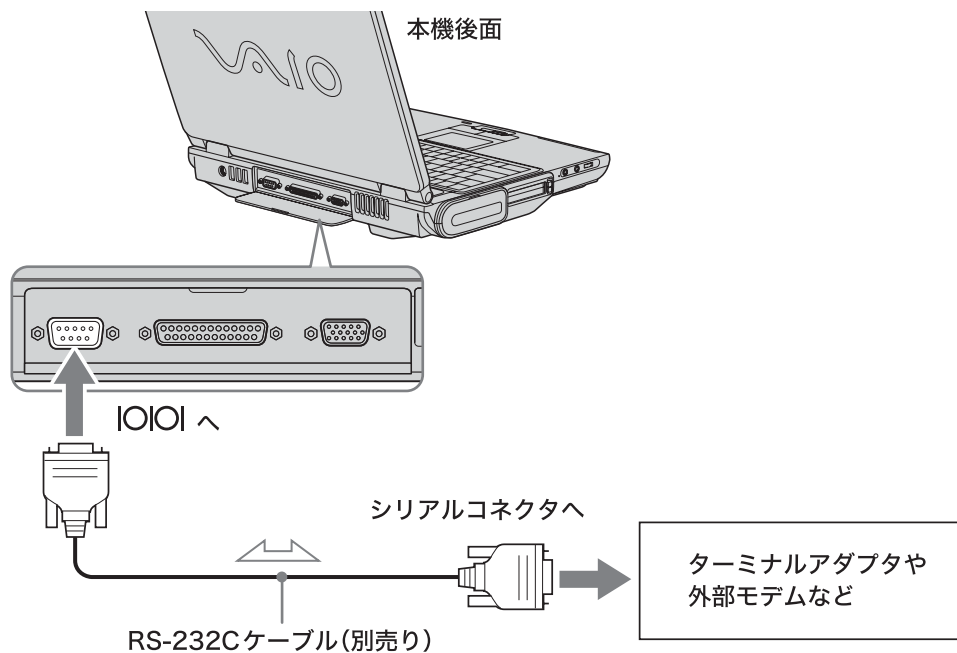
外部スピーカーをつなぐ

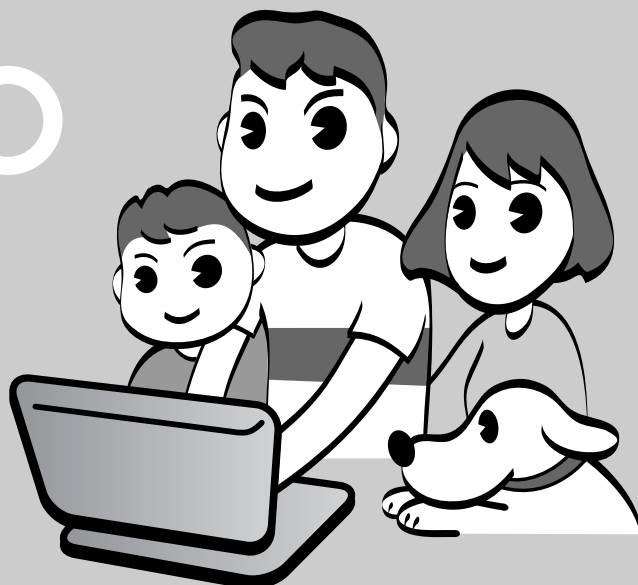
スピーカーの取扱説明書もあわせてご覧ください。

ご注意

- 電源を入れるときは、外部スピーカーの音量を最小にしてください。
- 外部スピーカーの上にフロッピーディスクなどを置かないでください。スピーカーの磁気によりディスクに記録されているデータが破壊されることがあります。
- A/V OUTコネクタにはつながないでください。
- 外部スピーカーとコンパクトウーファー ベイは同時に使用することはできません。

マイクをつなぐ

プラグインパワー方式に対応したマイクをご使用ください。
マイクの取扱説明書もあわせてご覧ください。

シリアルコネクタのある機器をつなぐ

シリアルコネクタのあるターミナルアダプタや外部モデムなどの機器と本機をRS-232Cケーブル1本で接続できます。

ご注意

- 接続ケーブルをつなぐときは、本機と接続する機器および周辺機器の電源を切り、コンセントからACアダプタや電源コードを抜いてから接続してください。
- 電源コードは、すべての接続が終わってからつないでください。
- 電源を入れるときは、周辺機器の電源を入れてから本機の電源を入れてください。
- 他のパソコンとデータをやりとりするときは、RS-232Cケーブルは、クロスケーブルをお使いください。ストレートケーブルでつないでも、データをやりとりできません。
- 実際にデータをやりとりするには、それぞれのパソコンにシリアルケーブルでの接続をサポートしているソフトウェアがインストールされている必要があります。
- RS-232Cケーブルを購入されるときは、コネクタの形状に充分ご注意ください。
- 本機後面のコネクタカバーは全開せずにお使いください。

その他

リカバリ CDで本機を再セットアップする

ここでは、付属のリカバリ CDを使って、本機を再セットアップする方法を説明します。

リカバリ CDとは

付属のリカバリ CDには「システム リカバリ CD-ROM」と「アプリケーション リカバリ CD-ROM」の2種類があり、出荷時のハードディスク内のすべてのファイルが保存されています。誤ってハードディスクを初期化してしまったり、あらかじめインストールされているソフトウェアを消してしまった場合には、「システム リカバリ CD-ROM」と「アプリケーション リカバリ CD-ROM」の両方のリカバリ CDを使って本機を再セットアップすることで、ハードディスクの内容を出荷時の状態に戻すことができます。
なお、PCG-NV99E/BなどのOffice XP Personalプレインストールモデルをお使いの場合は、再セットアップ後に付属のOffice XP Personalプレインストール パッケージで、Microsoft® Office XP Personalをインストールし直してください。

リカバリ CDでできること

- ハードディスクを初期化したうえで、すべてのファイルを復元する。
- ハードディスクのパーティションサイズを変更する。
  詳しくは、「パーティションサイズを変更する」(192ページ)をご覧ください。

ご注意

- 付属のリカバリ CDは本機でのみ使用できます。他の製品では動作しません。
- リカバリ CDで再セットアップできるのは、本機に標準で付属されているソフトウェアのみです。ご自分でインストールしたソフトウェアや、作成したデータを復元することはできません。またWindowsだけを復元することもできません。
- ご自分で変更された設定は、再セットアップ後はすべて初期値に戻ります。
  再セットアップ後に、もう1度設定し直してください。
- 再セットアップする際は、必ず「システム リカバリ CD-ROM」と「アプリケーション リカバリ CD-ROM」の両方のリカバリ CDを使って行ってください。
  また、PCG-NV99E/BなどのOffice XP Personalプレインストールモデルをお使いの場合は、再セットアップ後に付属のOffice XP Personalプレインストール パッケージで、Microsoft® Office XP Personalをインストールし直してください。
  上記の操作を行わないと、本機の動作が不安定になる場合があります。

再セットアップする前に

本機を再セットアップする前に、大切なデータは必ずバックアップをとってください。
バックアップをとるには、次の方法があります。

- フロッピーディスクにコピーする。
- CDなどのディスクにコピーする。
- D:ドライブにデータを残して、再セットアップする。
  本機のハードディスクは、C:ドライブとD:ドライブの2つのパーティションに分かれています。「本機を再セットアップするには」の手順に従って操作すると、C:ドライブのファイルはすべて消えてしまいますが、D:ドライブにあるファイルは残ります。

ご注意

「本機を再セットアップするには」の手順12で［オプションリカバリ］を選び、表示された画面で［出荷時状態へリカバリ］または［パーティションサイズを変更してリカバリ］を選んだ場合は、それ以前にハードディスク上にあったファイルは、C:ドライブだけでなくD:ドライブのものも含めすべて消えてしまいます。

本機を再セットアップするには

すべての周辺機器をはずし、ACアダプタのみを接続してから、作業を行ってください。
パーティションサイズを変更するときは、「パーティションサイズを変更する」（192ページ）をご覧ください。

ご注意

再セットアップした場合、それ以前にハードディスク上にあったファイルはすべて消えてしまいます。
再セットアップを行う前に、大切なデータはCD-RW、CD-Rに保存するなどして、必ずバックアップをとってください。

1 **本機の電源が入っている状態で、付属の「システム リカバリ CD-ROM Vol.1」をドライブに入れる。**

2 **スタート ボタン、 終了オプション を順にクリックして「コンピュータの電源を切る」画面を表示し、** **をクリックして本機の電源を切る。**

Windowsが正常に動作していない場合は、⏻（パワー）ボタンを4秒以上押して本機の電源を切ってください。

次のページへつづく

その他

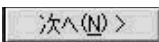
3 本機の電源を入れる。

4 Sonyのロゴマークが表示されたらF2キーを押す。

ディスプレイ画面左下に「Entering SETUP...」と表示されたあと、BIOSセットアップ画面が表示されます。
「Entering SETUP...」と表示されない場合は、F2キーを数回押してください。

5 Escキーを押す。

6 ↑または↓キーで［Get Default Values］を選択し、Enterキーを押す。

7 「Load default configuration now?」と表示されるので、「Yes」を選択して、Enterキーを押す。

8 ［Exit (Save Changes)］が選ばれていることを確認してEnterキーを押す。

9 「Save configuration changes and exit now?」と表示されるので、「Yes」を選択して、Enterキーを押す。

リカバリ CDから本機が起動し、しばらくすると「VAIO System Recovery Utility」画面が表示されます（画面が表示されるまで数分かかる場合があります）。

10 内容をよく読み、［次へ(N) >］をクリックする。

「はじめに」画面が表示されます。

11 引き続き内容をよく読んでから ［次へ(N)＞］ をクリックする。

「メイン メニュー」画面が表示されます。

12 ［システムドライブをリカバリ］を選んでクリックし、［次へ(N)＞］をクリックする。

「実行確認」画面が表示されます。

13 表示された内容をよく読んでから ［次へ(N)＞］ をクリックする。

リカバリ開始確認画面が表示されます。

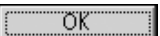
14 ［はい(Y)］ をクリックする。

「リカバリ」画面が表示され、再セットアップが始まります。
再セットアップ実行中、ディスクを入れ替えるメッセージが表示された場合は、指示に従って操作してください。
再セットアップを中止するときは、リカバリ開始確認画面で ［いいえ(N)］ をクリックし、続いて「実行確認」画面で ［キャンセル］ をクリックします。

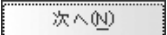
15 「「システムリカバリ」の処理が完了しました。」と表示されたら ［OK］ をクリックし、「リカバリ」画面で ［次へ(N)＞］ をクリックする。

次のページへつづく

16 表示された画面の指示に従ってディスクを取り出してから、［完了］をクリックする。

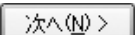
［完了］をクリックすると、自動的に本機が再起動します。
Windowsロゴの画面が表示されてから、「Microsoft Windowsへようこそ」画面が表示されるまでにしばらく時間がかかりますが、そのままお待ちください。
途中で電源を切るなどの操作を行うと、本機の故障の原因となります。

17 「Windowsを準備する」（37ページ）の手順に従って、Windowsのセットアップを行う。

18 付属の「アプリケーション リカバリ CD-ROM Vol. 1」をドライブに入れる。

19 ［OK］をクリックする。

自動的にアプリケーションソフトウェアのセットアップが始まります。
再セットアップ実行中、ディスクを入れ替えるメッセージが表示された場合は、指示に従って操作してください。

20 アプリケーションソフトウェアのセットアップが終わるとメッセージが表示されるので、［OK］をクリックして本機を再起動する。

PCG-NV99E/BなどのOffice XP Personalプレインストールモデルをお使いの場合は、引き続き次の手順を行ってください。

21 ボタンをクリックして［すべてのプログラム］にポインタを合わせ、［Norton AntiVirus］から［Norton AntiVirus 2002］をクリックする。

「Norton AntiVirus情報ウィザード」画面が表示されるので、 次へ(N) をクリックし、画面の指示に従って操作してください。すべての操作が終了すると「Norton AntiVirus」のメイン画面が表示されます。
メイン画面が表示されたら画面右上の をクリックして画面を閉じてください。

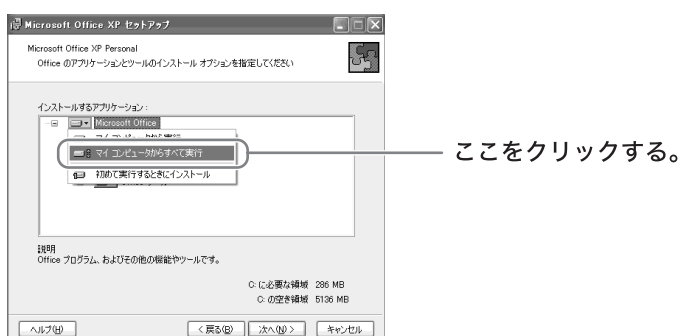
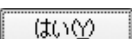
22 付属のOffice XP Personal プレインストール パッケージで、Microsoft® Office XP Personalをインストールする。

次の手順で、画面の指示に従ってインストールしてください。詳しくは、パッケージに付属の「セットアップガイド」をご覧ください。

① Office CDをドライブに入れ、画面の指示に従って操作する。

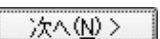
② 「インストールの種類を指定してください」画面が表示されたら、［カスタム］のチェックボックスをクリックし、 次へ(N) > をクリックする。

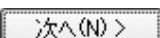
③ ［アプリケーションごとにオプションを指定してインストールします］のチェックボックスをクリックして、 次へ(N) > をクリックする。

④ 「Microsoft Office」左横のアイコンをクリックし、表示されたポップアップメニューから［マイコンピュータからすべて実行］をクリックする。

⑤ ［Microsoft Excel for Windows］をダブルクリックして「読み上げ」左横のアイコンをクリックし、表示されたポップアップメニューから［インストールしない］をクリックする。

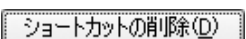
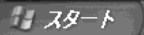
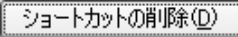
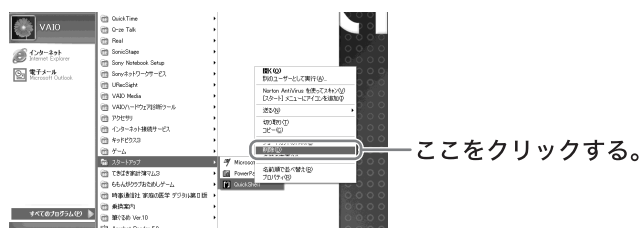
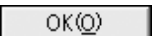
次のページへつづく

その他

⑥ ［Office 共有機能］、［入力システムの拡張］ の順にダブルクリックし、「音声」左横のアイコンをクリックして表示されたポップアップメニューから［インストールしない］ をクリックする。

⑦ [次へ(N) >] をクリックする。

「インストールを開始します」画面が表示されるので、[完了(I)] をクリックすると、インストールが始まります。
インストールが終了したら [はい(Y)] をクリックし、画面の指示に従って本機を再起動してください。

⑧ 再起動後、Microsoft Office XPツールCDを挿入し、「ツールセットアップ」画面が表示されたら［Outlook Plus! 2.0のセットアップ］ をクリックする。

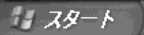
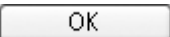
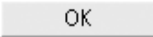
「Microsoft Outlook Plus! Version 2.0インストールウィザードへようこそ」画面が表示されたら、[次へ(N) >] をクリックしてください。
「使用許諾契約書」画面が表示されたら、内容を確認して［「使用許諾契約書」の条項に同意します］ をクリックしてから [次へ(N) >] をクリックします。その後は画面の指示に従ってインストールを行い、「Microsoft Outlook Plus! ツールは正常にインストールされました」画面が表示されたら、[完了(F)] をクリックしてください。

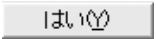
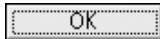
⑨ Microsoft Office XPツールCDをいったん取り出してから再度挿入し、「ツールセットアップ」画面が表示されたら［Bookshelf Basic 3.0のセットアップ］ をクリックする。

「Microsoft Bookshelf Basic Version 3.0のウィザードへようこそ」画面が表示されたら、[次へ(N) >] をクリックしてください。
セットアップタイプ選択画面が表示されたら、［標準］ をクリックします。
その後は画面の指示に従ってインストールを行い、「ウィザードを完了しました」画面が表示されたら、[完了(F)] をクリックしてください。

⑩ インストール終了後、[スタート] ボタンをクリックして ［すべてのプログラム］ にポインタを合わせ、［スタートアップ］ から［QuickShelf］ を右クリックし、表示されたポップアップメニューから［削除］ をクリックする。

「ショートカット削除の確認」画面が表示されるので、[ショートカットの削除(D)] をクリックして削除してください。

⑪ スタート ボタンをクリックして［すべてのプログラム］にポインタを合わせ、［スタートアップ］から［Microsoft Office］を右クリックし、表示されたポップアップメニューから［削除］をクリックする。

［ショートカット削除の確認］画面が表示されるので、ショートカットの削除(D) をクリックして削除してください。

⑫ スタート ボタンをクリックして［すべてのプログラム］にポインタを合わせ、［Microsoft Reference］から［Microsoft Bookshelf Basic Version 3.0］をクリックする。

Bookshelf Basicが起動します。

⑬ 「ツール」メニューから［オプション］をクリックして、［QuickShelfの開始］のチェックボックスをクリックしてチェックをはずし、OK(O) をクリックする。

デスクトップ画面右下の通知領域に「QuickShelf3」のアイコンが存在しないことを確認し、「ファイル」メニューから［終了］をクリックしてBookshelf Basicを終了してください。

⑭ スタート ボタン→［マイコンピュータ］をクリックして「マイコンピュータ」画面を表示させ、［ローカルディスク（C:）］→［Program Files］→［OFFICE10］→［SP1］→［STANDARD］→［SP1CDPAK.EXE］の順にダブルクリックする。

⑮ 「展開されたファイルを保存する場所を指定してください」画面が表示されるので、参照(B)... をクリックし、「C:¥Program Files¥OFFICE10¥SP1¥STANDARD」を指定して OK をクリックする。

指定した場所が正しいことを確認し、再度 OK をクリックしてください。

その他

次のページへつづく

⑯ **「Oxpsp1.exe」(展開されたファイル)をダブルクリックし、「このアップデートプログラムをインストールしますか?」と表示されたら、 はい(Y) をクリックする。**

使用許諾契約書が表示されたら内容を確認して はい(Y) をクリックし、画面の指示に従ってインストールを行ってください。ディスクを挿入するようメッセージが表示されたら、Office CDをドライブに入れて OK をクリックしてください。
「アップデートは正常に適用されました。」と表示されたら、 OK をクリックしてください。

通常は上記の手順で標準アップデートを行ってください。管理者用アップデートやOffice XP Service Pack 1については、「C:¥Program Files¥OFFICE10¥SP1INST.HTM」をご覧ください。

ステップバイステップ インタラクティブのインストールについて詳しくは、パッケージに付属の「セットアップガイド」をご覧ください。

23 Microsoft® Office XPのライセンス認証を行う。

次のいずれかの方法で「ライセンス認証ウィザード」を起動して、ライセンス認証を行ってください。
また、手続きの方法はインターネット経由と電話の2種類が用意されています。
詳しくは、パッケージに付属の「セットアップガイド」をご覧ください。

- Officeのいずれかのソフトウェアを起動する。
- スタート ボタンをクリックして[すべてのプログラム]にポインタを合わせ、[Microsoft Office ツール]から[ライセンス認証]をクリックする。

なお、ライセンス認証については、次の専用窓口にお問い合わせください。

ライセンス認証専用窓口

電話番号:(0120) 801-734　　受付時間:24時間受付

ご注意

インターネット経由で手続きを行う場合は、この手順を行う前にインターネットに接続するための準備を済ませておく必要があります。インターネット接続について詳しくは、「インターネットを始める」(70ページ)をご覧ください。

24 本機を再セットアップする前にインターネットやメールを使用していた場合は、「接続のための設定をする」（91ページ）や「電子メールソフトウェアの設定をする」（110ページ）の手順に従って設定を行う。

ご注意

アプリケーション リカバリ CD-ROMでセットアップを行うには、「コンピュータの管理者」アカウントを持つユーザーでログオンしてください。

パーティションサイズを変更する

本機のハードディスクはC:ドライブとD:ドライブの2つのパーティションに分かれており、D:ドライブは、「DVgate」ソフトウェアなどで取り込んだ動画などの容量が大きいデータを保存したり、操作したりするための領域(データスペース)として使えるように設定されています(工場出荷時)。付属のリカバリ CDを使ってパーティションサイズを変更できます。
動画の取り込みや書き出しを行う場合は大容量のデータを高速で読み書きするため、ハードディスクの断片化が起こることがあります。ハードディスクの断片化はフレーム落ちの原因となるため、データスペースとしてお使いになるパーティションは、ハードディスクの空き容量が常に連続になるよう、最適化(デフラグ)またはフォーマットを行ってください。
パーティションを区切ると、WindowsはC:ドライブにインストールされます。C:ドライブを最適化するには非常に時間がかかる場合がありますので、D:ドライブをデータスペースとしてお使いになることをおすすめします。

ご注意

ハードディスクのパーティションサイズを変更すると、それ以前にハードディスク上にあったファイルは、C:ドライブだけではなくD:ドライブのものも含めてすべて消えてしまいます。パーティションサイズを変更する前に、大切なデータはCD-RW、CD-Rに保存するなどして、必ずバックアップをとってください。

1

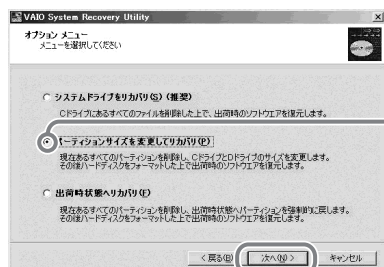
「本機を再セットアップするには」(183ページ)の手順1~11を行う。

2

「メイン メニュー」画面が表示されたら、[オプションリカバリ]を選んでクリックし、[次へ(N) >]をクリックする。

「オプション メニュー」画面が表示されます。

3

［パーティションサイズを変更してリカバリ］を選んでクリックし、次へ(N) > をクリックする。

「パーティション メニュー」画面が表示されます。

4

C:ドライブのパーティションサイズをリストから指定し、次へ(N) > をクリックする。

「実行確認」画面が表示されます。

5

表示された内容をよく読んでから 次へ(N) > をクリックする。

リカバリ開始確認画面が表示されます。

6

はい(Y) をクリックする。

「リカバリ」画面が表示され、パーティションサイズの変更作業と再セットアップが始まります。
再セットアップ実行中、ディスクを入れ替えるメッセージが表示された場合は、指示に従って操作してください。
パーティションサイズの変更を中止するときは、リカバリ開始確認画面で いいえ(N) をクリックし、続いて「実行確認」画面で キャンセル をクリックします。

7

「「システムリカバリ」の処理が完了しました。」と表示されたら OK をクリックし、「リカバリ」画面で 次へ(N) > をクリックする。

次のページへつづく

8 表示された画面の指示に従ってディスクを取り出してから、[完了]をクリックする。

[完了]をクリックすると、自動的に本機が再起動します。
Windowsロゴの画面が表示されてから、「Microsoft Windowsへようこそ」画面が表示されるまでにしばらく時間がかかりますが、そのままお待ちください。
途中で電源を切るなどの操作を行うと、本機の故障の原因となります。

9 「Windowsを準備する」（37ページ）の手順に従って、Windowsのセットアップを行う。

10 付属の「アプリケーション リカバリ CD-ROM Vol. 1」をドライブに入れる。

11 [OK]をクリックする。

自動的にアプリケーションソフトウェアのセットアップが始まります。
再セットアップ実行中、ディスクを入れ替えるメッセージが表示された場合は、指示に従って操作してください。

12 アプリケーションソフトウェアのセットアップが終わるとメッセージが表示されるので、[OK]をクリックして本機を再起動する。

PCG-NV99E/BなどのOffice XP Personalプレインストールモデルをお使いの場合は、引き続き「本機を再セットアップするには」の手順21〜24（187ページ）を行ってください。

使用上のご注意

本機の取り扱いについて

- 本機に手やひじをつくなどして力を加えないでください。本機の液晶ディスプレイはガラスでできています。力を加えると、ガラスが割れてしまいます。
- 衝撃を加えたり、落としたりしないでください。記録したデータが消失したり、本機の故障の原因となります。
- 炎天下や窓をしめきった自動車内など、異常な高温になる場所には置かないでください。本機が変形し、故障の原因となることがあります。
- クリップなどの金属物を本機の中に入れないでください。
- 振動する場所や不安定な場所では使用しないでください。

結露について

結露とは本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときなどに、本機の表面や内部に水滴がつくことで、そのままご使用になると故障の原因となります。
結露が起きたときは、電源を入れずに約1時間放置してください。

液晶ディスプレイについて

- 液晶ディスプレイの表面をぬれたもので拭かないでください。内部に水が入ると故障の原因となります。
- 液晶ディスプレイに物をのせたり、落としたりしないでください。また、手やひじをつくなどして力を加えないでください。
- 本機を戸外など寒い場所から室内へ持ち込むと、液晶ディスプレイに結露が生じることがあります。結露が生じたら、水滴をよく拭き取ってからご使用ください。水滴を拭き取るときは、ティッシュペーパーをお使いになることをおすすめします。液晶面が冷えているときは、水滴を拭き取っても、また結露が生じてしまいます。液晶面が室温に暖まるまでお待ちください。
- 画面上に常時点灯している輝点（赤、青、緑など）や滅点がある場合があります。液晶パネルは非常に精密な技術で作られておりますが、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素があります。また、見る角度によってすじ状の色むらや明るさのむらが見える場合があります。これらは、液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。
- キーボードの上にボールペンなどを置いたまま、液晶ディスプレイを閉じないでください。また、閉じた液晶ディスプレイの上に重いものを載せたり、強く押したりしないでください。本機の破損の原因となります。

ハードディスクの取り扱いについて

ハードディスクは、フロッピーディスクに比べて記憶密度が高く、データの書き込みや読み出しに要する時間も短いという特長があります。
その一方、衝撃や振動、ほこりに弱い装置でもあります。また、フロッピーディスク同様に磁気を帯びた物に近い場所での使用は避けなければなりません。
ハードディスクには衝撃や振動、ほこりからデータを守るための安全機構が組み込まれていますが、記憶したデータを失ってしまうことのないよう、次の点に特にご注意ください。

次のページへつづく

- 衝撃を与えないでください。
- 振動する場所や不安定な場所では使用しないでください。
- 電源を入れたまま、本機を動かさないでください。
- データの書き込み中や読み込み中は、電源を切ったり再起動したりしないでください。
- 急激な温度変化（毎時10℃以上の変化）のある場所では使用しないでください。
- テレビやスピーカー、磁石、磁気ブレスレットなどの磁気を帯びたものを本機に近づけないでください。

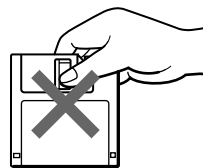
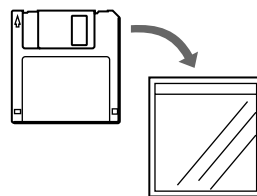
何らかの原因でハードディスクが故障した場合、データの修復はできませんのでご注意ください。

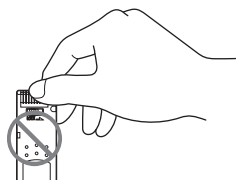
ハードディスクのバックアップをとる

ハードディスクは非常に多くのデータを保存することができますが、その反面、ひとたび事故で故障すると多量のデータが失われ、取り返しのつかないことになります。万一のためにも、ハードディスクの内容は定期的にバックアップを取ることをおすすめします。ソフトウェアはオリジナルがCD-ROMやフロッピーディスクにありますので、バックアップが必要なのはデータなどです。ハードディスクのバックアップ、バックアップの内容の戻しかたについて詳しくは、Windowsのヘルプをお読みください。
データの損失については、一切責任を負いかねます。

フロッピーディスクの取り扱いについて

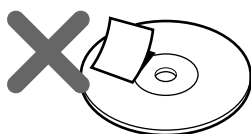
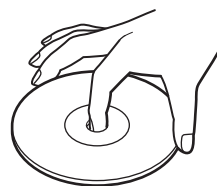
フロッピーディスクに記録されているデータなどを保護するため、次のことにご注意ください。

- テレビやスピーカー、磁石などの磁気を帯びたものに近づけないでください。
フロッピーディスクに記録されているデータが消えてしまうことがあります。
- 直射日光のあたる場所や、暖房器具の近くに放置しないでください。
フロッピーディスクが変形し、使用できなくなります。
- 手でシャッターを開けてディスクの表面に触れないでください。フロッピーディスクの表面の汚れや傷により、データの読み書きができなくなることがあります。

- フロッピーディスクに液体をこぼさないでください。
- 大切なデータを守るため、フロッピーディスクはフロッピーディスクドライブから取り出して、必ずケースなどに入れて保管してください。

“メモリースティック”の取り扱いについて

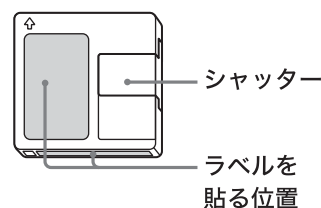
- 端子部には手や金属で触れないでください。

- ラベル貼り付け部には専用ラベル以外は貼らないでください。
- ラベルを貼るときは、所定のラベル貼り付け部からはみ出さないように貼ってください。
- 持ち運びや保管の際は、“メモリースティック”に付属の収納ケースに入れてください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 次のような場所でのご使用や保存は避けてください。
  – 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
  – 直射日光の当たる場所
  – 湿気の多い場所や腐食性のある場所

CDやDVDなどのディスクの取り扱いについて

ディスクに記録されているデータなどを保護するため、次のことにご注意ください。

- 紙などを貼ったり、傷つけたりしないでください。

- 文字の書かれていない面（再生面）に触れないようにして持ちます。

- ほこりやちりの多いところ、直射日光の当たるところ、暖房器具の近く、湿気の多いところには保管しないでください。
- ディスクに液体をこぼさないでください。
- 大切なデータを守るため、ディスクは必ずケースなどに入れて保管してください。

MDの取り扱いについて

- シャッターを無理に開けようとすると、壊れることがあります。シャッターが開いてしまった場合は、内部のディスクに直接触れずに、すぐ閉めてください。
- ディスクに付属のラベルはシャッターの周りなど所定以外の場所には貼らないでください。必ずラベル用のくぼみに貼ってください。くぼみの形はディスクによって異なります。

- 直射日光が当たる場所、車やトランクの中など、高温になるところには置かないでください。
- カートリッジ表面についたほこりやゴミは乾いた布で拭きとってください。
- カートリッジに液体をこぼさないでください。

次のページへつづく

- テレビやスピーカー、磁石などの磁気を帯びたものに近づけないでください。MDに記録されているデータが消えてしまうことがあります。
- 持ち運ぶときや保管するときはケースに入れてください。

MDの制約について

MDではいくつかのシステム上の制約があり、次のような症状が出る場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

256曲以上録音、チェックアウトができない

最大曲数は255曲です。最大記録時間に達していなくても、256曲以上の録音、チェックアウトはできません。不要な曲を消すか、別のMDを使用してください。

曲数(最大255曲)にも記録時間(記録容量)にも余裕があるのに、録音、チェックアウトできない

曲の分割(ディバイド)を繰り返し行った場合、曲の区切りと同じ扱いになり、曲数が制限を越えるとみなされ、録音、チェックアウトができない場合があります。
また、タイトルの文字数が多い場合も、タイトル文字数の制限により、録音、チェックアウトができない場合があります。

曲を消しても、ディスクの録音できる時間、容量が増えない

ディスクの録音できる残り時間、残り容量の表示をするとき、12秒以下の部分は無視します。このため、短い曲を消した場合、録音、チェックアウトできる時間、容量が増えないことがあります。

曲をつなげない

つなごうとする曲の長さが8秒以下のとき、その曲の曲番を消して曲をつなぐこと(コンバイン)はできません。また、編集を行ってできた曲はつなぐことができない場合があります。
録音モード(SP、LP2、LP4)が違う場合は、コンバインできません。

ディスクに録音、チェックアウトした時間と残り時間、容量の合計が、最大録音、最大容量と一致しない

録音モードにより録音時間、記録容量が違うため、録音モードが混在している場合、正しく計算ができません。

編集した曲を再生しながら早送り、巻戻しすると音がとぎれる

再生しながら早送り、巻戻しをすると、曲の検索に時間がかかり、音がとぎれる場合があります。

チェックインできない

分割(ディバイド)や連結(コンバイン)した曲は、チェックインできなくなります。

著作権保護

本機のMDは、「OpenMG」による著作権保護が行われています。
また、チェックアウトされた曲は、シリアルコピーマネージメントシステムにより、コピー禁止になっています。

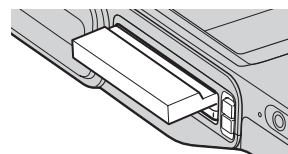
MDデータが使えない

本機のMDは音楽専用です。MDデータはお使いになれません。

ワイヤレス機能の取り扱いについて（PCG-NV99E/BなどのワイヤレスLAN搭載モデルのみ）

- 本機のワイヤレスLAN機能は、日本国内のみでお使いください。海外でご使用になると罰せられることがあります。
- ワイヤレスLAN対応機器が使用する2.4 GHz帯は、さまざまな機器が共有して使用する電波帯です。
  そのためワイヤレスLAN対応機器は、同じ電波帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を使用していますが、場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 通信速度は、通信機器間の距離や障害物、機器構成、電波状況、使用するソフトウェアなどにより変化します。また、電波環境により通信が切断される場合があります。
- 通信機器間の距離は、実際の通信機器間の障害物や電波状況、壁の有無・素材など周囲の環境、使用するソフトウェアなどにより変化します。

PCカードの取り扱いについて

- じゅうたんの上など、静電気の発生しやすいところに放置しないでください。静電気の影響でカードの部品が壊れてしまうことがあります。
- コネクタ部には手や金属で触れないでください。
- カード内部には精密な電子部品があります。落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- カードを水でぬらさないでください。
- 以下のような場所でのご使用や保存は避けてください。
  - 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
  - 直射日光のあたる場所
  - 湿気の多い場所や腐食性のある場所
  - ほこりの多い場所
- PCカードスロットからはみ出すPCカード（PHSカードなど）を挿入してお使いの場合は、次の点にご注意ください。

  - PCカードを挿入した状態で、本機を移動しないでください。
    移動時にPCカードに強い衝撃を与えると、本機が破損するおそれがあります。
  - PCカード部分を持って本機を持ち上げるなど、PCカードに力を加えると、本機が破損するおそれがあります。
  - PCカードを挿入した状態で、本機をカバンやキャリングケースなどの中へ入れないでください。PCカードに予期せぬ力が加わり、本機が破損するおそれがあります。

次のページへつづく

ACアダプタについて

- AC電源をつながない状態で本機の電源を入れたまま、または本機がスタンバイのときにバッテリを取りはずすと、作業中の状態や保存されていないデータは失われます。
- 本機には、付属のACアダプタをご使用ください。指定以外のACアダプタを使用すると、故障の原因になることがあります。
- ACアダプタを海外旅行者用の「電子式変圧器」などに接続しないでください。発熱や故障の原因となります。
- ケーブルが断線したアダプタは危険ですので、そのまま使用しないでください。

コンピュータウイルスについて

コンピュータウイルスとは、コンピュータの中のファイルやプログラムに悪影響を与えるプログラムのことです。ほとんどがいたずら半分で作成されたものですが、下記の「コンピュータウイルスに侵入されると…」に見られるような被害が起きてしまいます。
コンピュータウイルスは他のプログラムと異なり、それ自体が増殖し、データのコピーなどを通じて他のコンピュータにも悪影響を及ぼしていきます。

コンピュータウイルスに侵入されると…

- 意味不明なメッセージや、ウイルスが侵入したことを知らせるメッセージが画面上に表示される。
- ファイルがかってに消去される。
- ハードディスク上の情報が意味のないものに書き換えられる。
- 画面上に意味のないものが表示される。
- ハードディスクの空き容量が急に少なくなる。

本機には、コンピュータウイルス検査・ウイルス除去用ソフトウェアとして「Norton AntiVirus」ソフトウェアがインストールされています。
コンピュータウイルスから守るため、定期的なウイルスチェックをおすすめします。
「Norton AntiVirus」の操作方法について詳しくは、「Norton AntiVirus」のヘルプをご覧になるか、下記にお問い合わせください。

シマンテック テクニカルサポートセンター
電話番号：（03）3476-1118
ファックス：（03）3477-1118
電話受付時間：月～金 10時～12時、
13時～17時（土・日・祝日・年末年始を除く）
なお、シマンテック テクニカルサポートセンターをご利用いただくためには以下のシマンテックホームページにて、カスタマーIDの取得が必要です。
http://shop.symantec.co.jp/oem/sony.html
カスタマーID取得については、下記にお問い合わせください。

シマンテック カスタマーサービスセンター
電話番号：（03）3476-1156
ファックス：（03）3476-1159
電話受付時間：月～金 10時～12時、
13時～17時（土・日・祝日・年末年始を除く）

「Norton AntiVirus」は、本機初回起動時より180日間無償でウイルス定義ファイル（ワクチンファイル）のアップデートができます。それ以降は、ウイルス定義ファイルのアップデートは有償になります。新種のウイルスに対応するため、ウイルス定義ファイルは常に更新することをおすすめします。
また、テクニカルサポート提供期間は、ウイルス定義ファイル無償更新期間と同じく、180日間となります。
ただし、有償アップデートのお申し込みを頂くとテクニカルサポートの提供期間も延長されます。

ウイルス定義ファイルの有償アップデートについて
詳しくは、以下のシマンテック ホームページをご覧になり、お申し込みください。
http://shop.symantec.co.jp/oem/sony.html
ウイルス定義ファイルの有償アップデートのお申し込みについては、下記にお問い合わせください。

シマンテックストア
電話番号：(03) 3476-1192
ファックス：(03) 3780-9988
電話受付時間：月～金 10時～12時、
13時～17時（土・日・祝日・年末年始を除く）

ソフトウェアと周辺機器の動作について

一般的にWindows XP用、DOS/V用などと表記している市販ソフトウェアや周辺機器の中には、本機で使用できないものがあります。
ご購入に際しては、販売店または各ソフトウェアおよび周辺機器の販売元にご確認ください。
市販ソフトウェアおよび周辺機器を使用された場合の不具合や、その結果生じた損失については、一切責任を負いかねます。
また、本機に付属のOS以外をインストールした場合の動作保証はいたしかねます。

ソフトウェアの不正コピー禁止について

本機に付属のソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤリティ契約のもとに供給されています。これらのソフトウェアを不正にコピーすることは法律で禁止されています。
また、店頭で購入したソフトウェアを人に貸したり、人からソフトウェアを借りてコピーして使うことは禁じられています。ソフトウェアの使用許諾書をよくお読みのうえ、お使いください。

CD-RW/DVDドライブの地域番号書き替えについて

工場出荷時、本機のCD-RW/DVDドライブの地域番号（リージョンコード）は「2」（日本）に設定されています。一部のソフトウェアには地域番号を書き替える機能がありますが、ご使用にならないでください。これらの機能を使用した結果生じた不具合につきましては、保証期間内であっても、有償修理とさせていただきます。

CD再生／録音についてのご注意

本機は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本機で再生・録音できない場合があります。

お手入れ

本機のお手入れ

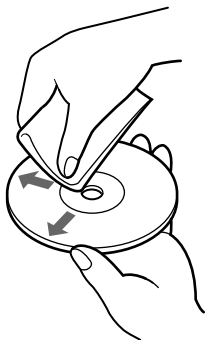
- 本機についたゴミやほこりなどは、乾いた布で軽く拭き取ってください。
- 液晶ディスプレイは、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。汚れてきたと思ったら、こまめに拭くように心がけてください。

ご注意

- ぬれたもので液晶ディスプレイを拭かないでください。内部に水が入ると故障の原因となります。
- アルコールやシンナーなど揮発性のものは、表面の仕上げを傷めますので使わないでください。
  化学ぞうきんをお使いになるときは、その注意書きに従ってください。

CDやDVDなどのディスクのお手入れ

CD-ROM、DVD-ROMディスクのお手入れ

- 指紋やほこりによるディスクの汚れは、読みとりエラーの原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- ふだんのお手入れは、柔らかい布でディスクの中心から外の方向へ軽く拭きます。

- 汚れがひどいときは、水で少し湿らせた布で拭いたあと、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。
- ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などはディスクを傷めることがありますので、使わないでください。

DVD-RW、DVD-R、CD-RW、CD-Rディスクのお手入れ

- DVD-RW、DVD-R、CD-RW、CD-Rディスクは、データを記録する前には絶対にクリーナーで拭かないでください。ほこりなどの汚れは、ブロワーを使って吹き飛ばしてください。
- ベンジンやシンナー、静電気防止剤などはディスクを痛めることがありますので、使わないでください。
- DVD-RW、DVD-R、CD-RW、CD-Rの未記録部分にキズやほこりがあると正しいデータが記録できないことがあります。取り扱いには充分ご注意ください。

保証書とアフターサービス

保証書について

- この製品は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げ店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より3か月間です。ユーザー登録していただいたお客様は1年間になります。

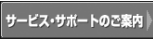
アフターサービスについて

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう1度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはVAIOカスタマーリンクへご連絡ください。

VAIOカスタマーリンクについては、「サイバーサポート」画面左側の サービス・サポートのご案内 をクリックするか、付属の「バイオ サービス・サポートのご案内」をご覧ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。ただし、保証期間内であっても、有償修理とさせていただく場合がございます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

修理について

当社ではノートブックコンピュータの修理は引取修理を行っています。

当社指定業者がご指定の場所に修理機器をお引き取りにうかがい、修理完了後にお届けします。詳しくは、「サイバーサポート」画面左側の サービス・サポートのご案内 をクリックするか、付属の「バイオ サービス・サポートのご案内」をご覧ください。

データのバックアップのお願い

修理に出す前に、ハードディスクなどの記録媒体のプログラムおよびデータは、お客様にてバックアップされますようお願いいたします。当社の修理により、ハードディスク内のプログラムおよびデータが万一消去あるいは変更された場合に関しても、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。なお、ハードディスクなどの記録媒体そのものの故障の場合には、プログラムおよびデータの修復はできません。

部品の保有期間について

当社ではノートブックコンピュータの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、VAIOカスタマーリンク修理窓口にご相談ください。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

- **型名：IDラベル（22ページ）または保証書に記載されています**
- **製造番号：本機底面または保証書に記載されています**
- **故障の状態：できるだけ詳しく**
- **購入年月日：**

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。
その際、交換した部品は回収させていただきます。

主な仕様

プロセッサ

モバイル インテル® Pentium® 4 プロセッサ 1.7 GHz-M *1

（拡張版インテル® SpeedStep™ テクノロジ搭載）

*1　ACアダプタ使用時
バッテリ使用時は1.20 GHz（固定）

キャッシュ（プロセッサに内蔵）

1次：12 K μ命令実行トレースキャッシュ／8 Kバイト データキャッシュ

2次：512 Kバイト

プロセッサシステムバス

400 MHz

チップセット

Intel® 845MZ チップセット

メインメモリ

256 Mバイト SO-DIMM

（DDR-SDRAM）

（最大512 Mバイト）

メモリバス

200 MHz

メモリスロット

SO-DIMMスロット（2）

（256 Mバイトメモリ1枚内蔵）

グラフィックアクセラレータ

デュアルディスプレイ対応

3D グラフィックアクセラレーション対応

ATI Technologies社製

MOBILITY™ RADEON™ 7500

AGP接続

ビデオメモリ

32 Mバイト

液晶ディスプレイ

15.0 型、SXGA+対応、

TFTカラー液晶（PCG-NV99E/B）

15.0 型、XGA対応、TFTカラー液晶

（PCG-NV95EN）

液晶ディスプレイ表示モード *2

1,400 × 1,050 ドット（約1,677万色）

（PCG-NV99E/Bなどの液晶ディスプレイがSXGA＋対応モデルのみ）

1,280 × 1,024 ドット（約1,677万色）

（PCG-NV99E/Bなどの液晶ディスプレイがSXGA＋対応モデルのみ）

1,024 × 768 ドット（約1,677万色）

800 × 600 ドット（約1,677万色）

*2　約1,677万色はグラフィックアクセラレータのディザリングにより実現

外部ディスプレイ表示モード *3

1,600 × 1,200 ドット（約1,677万色）

1,400 × 1,050 ドット（約1,677万色）

（PCG-NV99E/Bなどの液晶ディスプレイがSXGA＋対応モデルのみ）

1,280 × 1,024 ドット（約1,677万色）

1,024 × 768 ドット（約1,677万色）

800 × 600 ドット（約1,677万色）

*3　外部ディスプレイによっては、
使えない表示モードがあります。

ハードディスクドライブ

約40.0 Gバイト

Ultra ATA/100対応

C:ドライブ 約15.0 Gバイト

D:ドライブ 約25.0 Gバイト

（工場出荷時）

（1 Gバイト＝10 億バイトで算出）

CD-RW/DVD-ROM 一体型ドライブ

読み出し

CD-ROM、CD-R：最大24倍速

DVD-ROM：最大8倍速

書き込み

CD-R：最大16倍速

CD-RW：最大10倍速

マルチセッション対応、

12／8 cm対応トレイタイプ

ベイ ユニット

フロッピーディスクドライブ ベイ ユニット

3.5型、1.44 Mバイト／720 Kバイト

外形寸法

約106 × 15 × 141 mm

（幅／高さ／奥行き）（突起部含まず）

質量

約240 g

Net MD ベイ ユニット（PCG-NV99E/BなどのNet MD ベイ同梱モデルのみ）

音楽用レコーダブル MD ドライブ

Net MD対応、スロットイン型、

グループ機能対応、MDLP モード対応、

最大32倍速（LP4）、最大16倍速（LP2）

外形寸法

約106 × 21 × 141 mm

（幅／高さ／奥行き）（突起部含まず）

質量

約320 g

テンキー ベイ ユニット（PCG-NV99E/Bなどのテンキー ベイ同梱モデルのみ）

キーストローク：約3 mm

キーピッチ：約19 mm

外形寸法

約106 × 15 × 141 mm（幅／高さ／奥行き）（突起部含まず）

質量

約290 g

コンパクトウーファー ベイ ユニット（PCG-NV99E/B・NV95ENなどのコンパクトウーファー ベイ同梱モデルのみ）

形式：バスレフレックス方式

使用ユニット：Φ287 mmウーファー用ユニット

外形寸法

約106 × 21 × 141 mm

（幅／高さ／奥行き）（突起部含まず）

質量

約210 g

外部接続

外部ディスプレイ出力
（▭ MONITOR）
アナログRGB、ミニD-SUB 15ピン（1）

USB（Ψ USB）
4ピン（3）

マイク入力（🎤）
モノラルミニジャック、
プラグインパワー対応（1）

i.LINK（IEEE1394）（i S400）
S400 4ピン（1） S400=400 Mbps

ヘッドホン出力（🎧）
ステレオミニジャック（1）

モデム用モジュラジャック
（☎ TEL LINE）
RJ-11コネクタ（1）

プリンタポート（🖶 PRINTER）
ECP、D-SUB 25ピン（1）

ネットワークコネクタ
（🖧 NETWORK）
RJ-45コネクタ（1）

AV出力（⇨ A/V OUT）
NTSC/PAL対応、ステレオ音声出力、
ミニジャック（1）

シリアルポート（IOIOI SERIAL）
RS-232C、D-SUB 9ピン（1）

インジケータ

パワーランプ（⏻）
バッテリランプ（▭）
ハードディスクランプ（⛁）
メモリースティックアクセスランプ
（MG）
Num Lockランプ（1）
Caps Lockランプ（A）
Scroll Lockランプ（↕）
CD-RW/DVD-ROM一体型ドライブ
アクセスランプ
WIRELESS LANランプ
（PCG-NV99E/Bなどのワイヤレス
LAN搭載モデルのみ）

PCカードスロット

Type III×1またはType I／II×2、
16 bit/CardBus対応

メモリースティックスロット

マジックゲート対応
メモリースティックスロット（1）

オーディオ機能

ウィンドウズサウンドシステム互換、
AC97準拠、ソフトウェアMIDI音源、
ステレオスピーカー

ネットワーク

IEEE 802.3 10BASE-T
IEEE 802.3u 100BASE-TX
オートネゴシエーション、全二重 対応

内蔵モデム

V.90およびK56flex対応
データ受信時最大56 kbps
データ送信時最大33.6 kbps
ファックス送受信時最大14.4 kbps

ワイヤレス通信（PCG-NV99E/BなどのワイヤレスLAN搭載モデルのみ）

通信方式
IEEE802.11b（IBSS Ad hocモード
対応）

最大通信速度 *4
約11 Mbps

通信距離 *5
見通し距離 最長100 m

使用周波数帯
2.4 GHz帯（2.400 GHz〜2.474 GHz）

無線チャンネル
1〜11から選択

変調方式
DS-SS（IEEE802.11b準拠）

ネットワークキーの長さ *6
64、128ビット

*4 通信速度は、通信機器間の距離や障害物、機器構成、電波状況、使用するソフトウェアなどにより変化します。また、電波環境により通信が切断される場合があります。

*5 通信機器間の距離は、実際の通信機器間の障害物や電波状況、壁の有無・素材など周囲の環境、使用するソフトウェアなどにより変化します。

*6 入力できるキーの長さは、64ビット時は40ビット（半角英数字5文字）、128ビット時は104ビット（半角英数字13文字）です。

入力デバイス

インテリジェント タッチパッド、キーボード、バックボタン付センタージョグ

電源・その他

電源
ACアダプタまたはバッテリ
DC端子入力 DC19.5 V、4.1 A

バッテリ駆動時間 *7
約2.5〜3.5時間

*7 使用状況や設定等により上記時間と異なる場合があります。

外形寸法
約336 × 42.8 × 276.1 mm
（幅／高さ（最薄部）／奥行き）

質量
約3.7 kg
（バッテリ、ウェイトセーバー装着時）

次のページへつづく

ACアダプタ *8

電源

AC100〜240 V、50/60 Hz
（付属電源コードはAC100 V用）

*8 その他の仕様については、AC
アダプタのラベルをご覧ください。

バッテリ

出力電圧

14.8 V

付属品

「付属品を確かめる」（30ページ）を
ご覧ください。

別売り品

ACアダプター

PCGA-AC19V3

リチャージャブルバッテリーパック

PCGA-BP2NX

Bluetooth USBアダプター

PCGA-BA1

USBマウス

PCGA-UMS1/A

Net MD ベイ ユニット

PCGA-MDN1

テンキー ベイ ユニット

PCGA-TKN1

256 Mバイト増設メモリーモジュール

PCGA-MM256D

動作・保存環境

動作温度

5 ℃〜35 ℃（温度勾配10 ℃／時以下）

動作湿度

20 %〜80 %（結露のないこと）ただし
35 ℃における湿度は65 %以下（湿球
温度29 ℃以下）

保存温度

-20 ℃〜60 ℃（温度勾配10 ℃／時以下）

保存湿度

10 %〜90 %（結露のないこと）ただし
60 ℃における湿度は20 %以下（湿球
温度35 ℃以下）

仕様および外観は改良のため予告なく
変更することがありますが、ご了承
ください。

付属ソフトウェアお問い合わせ先

本機に付属のソフトウェアはそれぞれお問い合わせ先が異なります。各ソフトウェアごとに記載された先へお問い合わせください。
なお、本機に付属のソフトウェアの起動方法やお使いになる際のご注意など詳しい情報は、下記の手順で本機電子マニュアル「サイバーサポート」を表示させてご覧ください。

1 **デスクトップ画面上の をダブルクリックする。**

「サイバーサポート」が表示されます。

ディスプレイ右下にあるHELPボタンを押して表示された「ヘルプとサポートセンター」画面から[VAIOマニュアル CyberSupport]をクリックしても起動できます。

2 **画面左側の 付属ソフトの紹介 をクリックする。**

ご注意

Windows XPは、Windows Meなどとは異なり、使用者がOS上で作業を行うには一定のユーザー権利とアクセス許可が必要です。
本機に付属のソフトウェアの中でも同様に、一定のユーザー権利とアクセス許可が必要なものがあります。
インストールができない、機能の一部が使用できない、またはソフトウェアが起動できない場合などは、ログインしているユーザーに必要なユーザー権利とアクセス許可が与えられていない可能性があります。
その場合は、システムの管理が可能なユーザー名で再度ログインするか、お使いのユーザー名に「コンピュータの管理者」の権利を与える設定にして作業をやり直してください。
「コンピュータの管理者」の権利使用を許可されていない場合は、職場などのシステム管理者にご相談ください。

ユーザー権利とアクセス許可について詳しくは、デスクトップ画面左下の スタート ボタンをクリックし、[コントロール パネル]→[ユーザーアカウント]を順にクリックして表示される「ユーザーアカウント」画面左のヘルプをご覧ください。
なお、ソフトウェアによっては、ユーザーの簡易切り替えに対応していないものがあります。詳しくは、各ソフトウェアのヘルプをご覧になるか、各ソフトウェアの「お問い合わせ先」にお問い合わせください。

テレビ録画

❑ PicoPlayer
VAIOカスタマーリンク

ビデオ編集・再生

❑ DVgate
VAIOカスタマーリンク

❑ MovieShaker
VAIOカスタマーリンク

❑ QuickTime
VAIOカスタマーリンク

❑ RealPlayer
リアルネットワークス株式会社　サポートセンター
電話番号：(03) 5302-2313

❑ WinDVD™ for VAIO
VAIOカスタマーリンク

音楽

❑ SonicStage
VAIOカスタマーリンク

❑ Gen-On
VAIOカスタマーリンク

❑ Windows Media™ Player
VAIOカスタマーリンク

静止画・写真

❑ PictureGear Studio
VAIOカスタマーリンク

❑ キッドピクス for Windows
株式会社インタープログ　ユーザーサポート係
東京都千代田区麹町2-10　イトーピア麹町AAビル
電話番号：サポート専用ダイヤル (03) 3288-1273

ホームネットワーク

❑ VAIO Media
VAIOカスタマーリンク

❑ VAIO Media Platform
VAIOカスタマーリンク

コミュニケーション

❑ Network Smart Capture
VAIOカスタマーリンク

❑ Q-ze Talk (キュゼ・トーク)
VAIOカスタマーリンク

❑ URecSight
VAIOカスタマーリンク

インターネット・メール

❑ Microsoft® Outlook Express
VAIOカスタマーリンク

❑ Microsoft® Internet Explorer
VAIOカスタマーリンク

❑ i-フィルター Personal Edition
デジタルアーツ株式会社　ユーザーサポート
ホームページ：http://www.daj.co.jp
電話番号：(03) 5485-1334
ファックス番号：(03) 5485-1337
電子メール (技術サポートメール)：support@daj.co.jp
受付時間：10時〜18時 (土・日・祝日は除く)

ISP サインアップ

インターネット接続サービスご紹介

❑ **So-net簡単スターター**
So-netインフォメーションデスク
電話番号：(0570) 00-1414 (全国共通)
携帯・PHSからおかけになる場合は、こちらへおかけください。
札幌 (011) 711-3765／仙台 (022) 256-2221／
東京 (03) 3446-7555／名古屋 (052) 819-1300／
大阪 (06) 6577-4000／広島 (082) 286-1286／
福岡 (092) 624-3910
受付時間：10時〜21時　年中無休
ご入会方法、サービス内容のお問い合わせ、各種会員情報の変更方法や課金状況の確認などのお問い合わせは、上記の電話番号のほか、ファックスや電子メールでも承ります。また、ホームページ でもご確認いただけます。
ファックス番号：(03) 3446-7557
電子メール：info@so-net.ne.jp
ホームページ：http://www.so-net.ne.jp/access/

❑ **@niftyでインターネット**
ニフティ株式会社　@nifty入会センター
電話番号：(0120) 816-042 (フリーダイヤル)
携帯・PHS・国際電話の場合：(03) 5753-2374
(電話料金はお客様ご負担となります)

ご注意

お問い合わせの際は、電話番号をよくお確かめください。

受付時間：毎日 9時〜21時
(ビルの電源工事などによりお休みさせていただく場合があります。)

❑ ODNスタータートキットソフトウェア

日本テレコム株式会社　ODNサポートセンター
サポートページ：http://www.odn.ne.jp/counter/
電話番号：
0088-86（無料）ODNダイアルアップサービス
（まるごと、ベーシック、モバイルの各プラン）
0088-222-375（無料）ODNブロードバンドサービス
（ADSL、フレッツADSL、Bフレッツの各プラン）

❑ DION オンラインサインアッププログラム

KDDIカスタマーサービスセンター
受付時間：9時～21時（土・日・祝日も受付中）
サービス内容に関するお問い合わせ
電話番号：（0077）7192（無料）
接続・設定などに関するお問い合わせ
電話番号：（0077）7084（無料）
ADSLコースについては24時間受付中！
※夜間はお問い合わせ内容によって、翌日にご回答させていただく場合があります。

❑ OCNスタートパック for Windows

OCNスタートパックヘルプデスク
電話番号：（0120）047-747（フリーダイヤル）
受付時間：9時～21時（月～金曜日）　9時～17時（土曜日・日曜日・祝日）
電子メール：info@ocn.ad.jp

❑ ぷらら入会／接続ソフト（P'zDialer）

株式会社ぷららネットワークス「ぷららダイヤル」
入会専用：（0120）488912（スバヤクイージー）
テクニカル：（03）5954-5311

❑ AOL for Windows

株式会社ドコモAOL　AOLメンバーサポートセンター
受付時間：9時～21時（土・日・祝日もOK）
会員サポート・入会問い合わせ：（0120）275-265（フリーダイヤル）
携帯電話および国際電話によるサポート：
（03）5331-7400
電子メール：AOLJapanMS@aol.com

❑ BIGLOBEでインターネット

BIGLOBEカスタマーサポート　インフォメーションデスク
電話番号：（0120）86-0962（フリーダイヤル）
携帯電話・PHS・CATV電話：（03）3947-0962
受付時間：24時間365日
電子メール：お問い合わせは以下のフォームをご利用ください。
http://support.biglobe.ne.jp/ask.html
ホームページ：http://support.biglobe.ne.jp/

❑ Yahoo! BB

Yahoo! BBカスタマーサポートセンター
電話番号：(0570)919-820　（受付24時間　年中無休）
ホームページ：http://bb.yahoo.co.jp/
電子メール：info@ybb-support.jp

エンターテインメント

❑ ファンタシースターオンライン

セガPCユーザーサポートセンター
電話番号：ナビダイヤル（0570）000-354
受付時間：10時～18時（月～金曜日）（祝日、セガ指定日を除く）
ホームページ：http://www.sonicteam.com/pso/pc/

❑ PostPet TypeLand 打モモ for VAIO

電話番号：東京サポートセンター（03）5342-1853
名古屋サポートセンター（052）760-6611
ホームページ：http://www.uchimomo.com/

ワープロ・表計算

❑ Microsoft® Office XP Personal（Service Pack1 含む）

マイクロソフト　スタンダードサポート
電話番号：東京（03）5354-4500／
大阪（06）6347-4400
基本操作に関するお問い合わせ：
4インシデント（4件のご質問）までは無償、それ以降は有償になります。
本件について詳しくは、付属の「Office XP プレインストールパッケージ」をご確認いただくか、マイクロソフト スタンダードサポートまでお問い合わせください。
受付時間　月～金：9時30分～12時、13時～19時、
土曜日：10時～17時
（同社指定休業日、年末年始、日曜・祝日を除く）
セットアップ、インストール中のトラブルに関するお問い合わせ：
マイクロソフト　スタンダードサポートにてサポートいたします。
期間、回数の指定はありません。
受付時間　月～金：9時30分～12時、13時～19時、
土・日：10時～17時
（同社指定休業日、年末年始、祝日を除く）

ご注意

お電話をおかけいただく前に、住所、氏名、電話番号、郵便番号、プロダクトIDをご用意ください。
プロダクトIDの確認方法については、付属の「Office XP プレインストールパッケージ」をご覧ください。
その他のサポートに関する詳しい情報は
- 付属の「Office XP プレインストールパッケージ」をご確認ください。
- Office XP 関連のお問い合わせは、VAIOカスタマーリンクではお受けしておりません。

次のページへつづく

実用ツール

❑ Drag'n Drop CD
イージーシステムズジャパン株式会社
ホームページ：http://www.easy.co.jp/dd2/sony/
製品FAQページ：
http://www.easy.co.jp/dd2/sony/faq.html
オンラインサポート*：
http://www.easy.co.jp/dd2/sony/tosupport.html
* Drag'n Drop CDは180日間のオンラインサポートのみとなります。

❑ Navin' You
VAIOカスタマーリンク

❑ MapCutter
VAIOカスタマーリンク

❑ Navin' You専用マップ3サンプル版
株式会社ゼンリン　お客様ご相談窓口
電話番号：（03）5259-5077
受付時間：10時〜12時／13時〜17時
月〜金（祝日は除く）

❑ Navin' You専用グルメスポット by Walkerplus.com
株式会社ウォーカープラス・ドット・コム編集制作部
ファックス番号：（03）3234-4613
電子メール：webmaster@walkerplus.com

❑ 乗換案内 時刻表対応版
乗換案内ユーザーサポート
電話番号：（03）5369-4055
受付時間：10時〜12時/13時〜17時
月〜金曜日（祝日は除く）

❑ 筆ぐるめ for VAIO
富士ソフトABC株式会社　インフォメーションセンター
電話番号：（03）5600-2551
ファックス番号：（03）3634-1322
電子メール：users@fsi.co.jp

❑ てきぱき家計簿マム
サポートセンター
電話番号：東京（03）3564-6370
大阪（06）6633-1162　岡山（086）245-4770
ファックス番号：（086）244-6010
ホームページ：http://www.softnet.jp/
電子メール：support@softnet.co.jp

❑ 時事通信社「家庭の医学」デジタル第Ⅱ版
時事通信社　出版局
電話番号：（03）3591-8690
電子メール：igaku@jiji.co.jp
ホームページ：http://book.jiji.com/igaku/index.htm

❑ Adobe® Acrobat® Reader
VAIOカスタマーリンク

❑ Norton AntiVirus 2002
シマンテックテクニカルサポートセンター
電話番号：（03）3476-1118
受付時間：平日10時〜12時、13時〜17時
（土・日・祝日・年末年始を除く）
FAX：（03）3477-1118
なお、上記サポートセンターをご利用いただくためには以下のシマンテックホームページにてカスタマーIDの取得が必要です。
http://shop.symantec.co.jp/oem/sony.html
カスタマーID取得に関するお問い合わせ：
シマンテック　カスタマーサービスセンター
電話番号：（03）3476-1156
受付時間：平日10時〜12時、13時〜17時
（土・日・祝日・年末年始を除く）
FAX：（03）3476-1159

ご注意

Norton AntiVirusは、本機初回起動時より180日間無償でウイルス定義ファイル（ワクチンファイル）のアップデートができます。それ以降は、ウイルス定義ファイルのアップデートは有償になります。新種のウイルスに対応するため、ウイルス定義ファイルは常に更新することをおすすめします。
テクニカルサポート提供期間はウイルス定義ファイル無償更新期間と同じく180日間となります。
ウイルス定義ファイルの有償アップデートについて詳しくは、以下のシマンテックホームページをご覧になり、お申し込みください。
http://shop.symantec.co.jp/oem/sony.html

ウイルス定義ファイルの有償アップデートのお申し込みについては、下記にお問い合わせください。
シマンテックストア
電話番号：（03）3476-1192
FAX：（03）3780-9988
電話受付時間：月〜金 10時〜12時、13時〜17時
（土・日・祝日・年末年始を除く）

設定・ユーティリティ

❑ バイオメニュー
VAIOカスタマーリンク

❑ Jog Dial Navigator
VAIOカスタマーリンク

❑ PowerPanel
VAIOカスタマーリンク

❑ Sony Notebook Setup
VAIOカスタマーリンク

サポート・ヘルプ

❑ CyberSupport for VAIO
VAIOカスタマーリンク

❑ VAIOハードウェア診断ツール
VAIOカスタマーリンク

❑ できるWindows XP for VAIO
インプレスカスタマーセンター
電話番号：(03) 5213-9295

❑ How to VAIO
VAIOカスタマーリンク

その他

❑ VAIOオンラインカスタマー登録
ソニーマーケティング株式会社
VAIOカスタマー専用デスク
電話番号：(03) 5977-7255
受付時間：月曜～金曜日 10時～18時（土曜、日曜、祝日、年末年始を除く）

❑ UI Design Selector
VAIOカスタマーリンク

❑ Grami Best Selection・Grami Stick
サイバージーンドットコム株式会社
Grami お問い合せ窓口
電子メール：info@grami.ne.jp
受付日時：月曜～金曜日（回答も平日のみとさせて頂きますのでご了承ください。）

❑ リカバリ CD-ROM
VAIOカスタマーリンク

オンラインサービスご紹介

❑ イメージステーション
ソニーマーケティング株式会社
ソニースタイルカスタマーセンター
電話番号：(0466) 30-3012
受付時間：10時～18時（土・日・祝日・年末年始は除く）
電子メール：info@imagestation.jp

❑ パーキャスTV
ソニーマーケティング株式会社
ソニースタイルカスタマーセンター
電話番号：(0466) 30-3012
受付時間：10時～18時（土・日・祝日・年末年始は除く）
電子メール：info@percastv.net

❑ Webpocket
株式会社ウェブポケット
ウェブポケットカスタマーセンター
電子メール：wp-info@webpocket.net
受付時間：10時～18時（土・日・祝日、および年末年始は除く）

❑ 今すぐとろう！バイオメールアドレス
ソニースタイルカスタマーセンター
電話番号：(0466)30-3012
電子メール：v-networkservice@vs01.vaio.ne.jp
受付時間：10時～18時（月曜～金曜。土・日・祝日・年末年始を除く）

❑ Norton AntiVirus ウイルス定義ファイル購入
お問い合わせ先について詳しくは200ページをご覧ください。

❑ gu mantan WEB
デザインエクスチェンジ株式会社
DEXインフォメーション
電子メール：info@dex.ne.jp

❑ イープラス
（株）エンタテインメントプラス
ホームページ：http://eee.eplus.co.jp/

❑ UPGRADE AREA（アップグレードエリア）
ソニーマーケティング株式会社
ソニースタイルカスタマーセンター
電話番号：(03) 5783-1254
電子メール：vaio-upgradecenter@sony.co.jp

❑ ソニースタイル
ソニーマーケティング株式会社
ソニースタイルカスタマーセンター
電話番号：(03) 5783-1122
受付時間：10時～18時（土・日・祝日・年末年始は除く）
電子メール：info@jp.sonystyle.com

❑ インプレスダイレクト
株式会社インプレスコミュニケーションズ
インプレスダイレクト カスタマーセンター
電話番号：(03) 5275-9051
受付時間：10時～12時、13時～17時30分
（土・日・祝日は除く）
電子メール：sales@ips.co.jp

❑ MONEYKit by SonyBank
ソニーバンク カスタマーセンター
電話番号：(0570) 0-36524
（携帯電話・PHS・海外からご利用いただく場合は
(03) 5439-4900）
受付日：1月1日～3日および5月3日～5日を除く毎日
受付時間：9時～20時（平日）
9時～17時（土・日・祝日）（12月31日　9時～17時）
サービスサイト：http://moneykit.net/
上記サービスサイトの［カスタマーセンター］-［サービス内容について］-［お問い合わせ］からお問い合わせください。

次のページへつづく

付属ソフトウェアお問い合わせ先（つづき）

オンラインCDストアのご紹介

❑ @TOWER.JP
タワーレコード デジタルビジネス事業部
オンラインショッピング御客様専用窓口
電話番号：(0120) 051096（お客様専用）（携帯電話・PHSからもご利用になれます。）
受付時間：10時～22時（月曜～金曜）（土・日・祝日はお休みをいただいております。）
電子メール：support@towerrecords.co.jp
オンラインショッピング全般について（掲載商品・在庫・ご注文全般・決済関係全般・配送・技術関係）
ホームページ：http://www.towerrecords.co.jp/sitemap/CSfHelpMain.jsp?HELP_PAGE=help-inquiry.html

❑ アマゾンミュージックストア
Amazon.co.jp カスタマーサービス
電子メール：info@amazon.co.jp
ホームページ：http://www.amazon.co.jp

❑ HMV（online musicstore）
HMV カスタマーサービス部
電話番号：(047) 700-9200
受付時間：10時～20時（平日）
10時～18時（土・日・祝日）
時間、メール、URLに関しては下記ホームページのヘルプをご覧ください。
ホームページ：http://www.hmv.co.jp/#HELP1

❑ すみやMEDIAMAX CYBER SHOP
すみやMedia Max Cyber Shop
電話番号：(054) 251-9511
受付時間：10時～18時（月曜～土曜）日曜・祝日はお休み
電子メール：customer@sumiya.co.jp
ホームページ：http://mediamax.sumiya.co.jp

❑ MUSICNAVI
MUSICNAVIカスタマーサポート
電話番号：(03) 5445-1330
受付時間：10時～17時（平日）土・日・祝日を除く
電子メール：http://www13.cplaza.ne.jp/cgi-bin/musicnavi/inq/w
ホームページ：http://musicnavi.cplaza.ne.jp/snc/index_snc2.html

オンライン学習ストアーご紹介

❑ i-フィルター Personal Edition
デジタルアーツ株式会社 ユーザーサポート
電話番号：(03) 5485-1334
ファックス番号：(03) 5485-1337
受付時間：10時～18時（土・日・祝日は除く）
技術サポートメール：support@daj.co.jp
ホームページ： http://www.daj.co.jp

❑ アルクの通信講座
（株）アルク カスタマーサービス部
電話番号：(03) 3327-1101
受付時間：9時～17時（月曜～金曜）
電子メール：csss@alc.co.jp
ホームページ：http://www.alc.co.jp/shop/

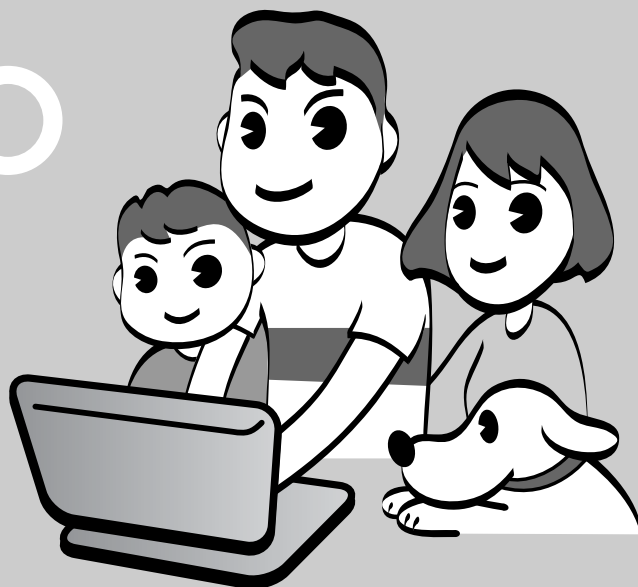
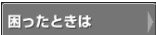
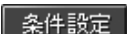
❑ ももんがクラブ(体験版)
ジャストシステムインフォメーションセンター
電話番号：東京 (03) 5412-3939
大阪 (06) 6886-9300
受付時間：10時～19時（土・日・祝日・弊社特別休業日は除く）
電子メール：momonga@justsystem.co.jp
ホームページ：http://www.justsystem.co.jp/momonga/

❑ 旺文社の英語講座
（株）旺文社 Pカレッジ事務局
電話番号：(03) 3266-6018
受付時間：10時～17時（土・日・祝日を除く）
電子メール：p_office@p-college.obunsha.co.jp
ホームページ：http://p-college.obunsha.co.jp/toeic/contents/index.html

❑ ソースネクストの学習ソフトシリーズ
ソースネクスト・カスタマーインフォメーションセンター
電話番号：(03) 5350-4844
受付時間：10時～18時（土・日・祝日・年末年始・ゴールデンウィークを除く）
電子メール：info@sourcenext.info
ホームページ：http://www.sourcenext.com/

❑ アマゾン英語学習ストア
Amazon.co.jp　カスタマーサービス
電子メール：info@amazon.co.jp
ホームページ：http://www.amazon.co.jp

❑ ブロードバンド英会話 e-EnglishGym
e-EnglishGymカスタマー専用デスク
受付時間：24時間（電子メールのみ対応）
電子メール：info@e-englishgym.com
ホームページ：http://www.e-englishgym.com/

VAIO

困ったときは

トラブルを解決するには

本機を操作していて困ったときや、トラブルが発生したときは、あわてずに下記の流れに
従ってください。
また、メッセージなどが表示されている場合は、書きとめておくことをおすすめします。

電子マニュアルやヘルプで調べる。

- 「主なトラブルとその解決方法」(217ページ)をチェックする。
- 本機電子マニュアルの 困ったときは や関連する項目

  「サイバーサポート」画面上部の質問文入力欄に質問文を入力し 検索 を
  クリックすることで、本機電子マニュアルの内容やVAIOカスタマーリンクに
  寄せられたQ&A(よくある質問とその回答)などから解決方法を検索できます。
  条件設定 をクリックすると、検索対象を絞り込んだり、あらかじめ用意された
  質問分例などから検索することもできます。なお、「サイバーサポート」の使い
  かたについて詳しくは、124ページをご覧ください。
- ソフトウェアのヘルプ
- Windowsのヘルプ

  デスクトップ画面左下の スタート ボタンをクリックし、[ヘルプとサポート]
  をクリックして、「ヘルプとサポートセンター」をご覧ください。
- VAIOハードウェア診断ツール

  CPUやハードディスクなどのハードウェアに故障があるかどうかを診断する
  ソフトウェアです。

VAIOカスタマーリンクのホームページを確認する。

VAIOカスタマーリンク ホームページでは、トラブルの解決方法や疑問の解決
に役立つ情報やサービスを掲載しています。
VAIOカスタマーリンク ホームページ
http://vcl.vaio.sony.co.jp/

VAIOカスタマーリンクのホームページ(http://vcl.vaio.sony.co.jp/)にアクセスし、
「サイバーサポート」の「キーワード検索」で検索できる情報を更新することをおすすめします。
更新のしかたは、「サイバーサポート」画面上部の ヘルプ をクリックし、[「サイバーサポート」の
使いかた]→[「サイバーサポート」で検索できる情報を更新する]の順にクリックして表示される
情報をご覧ください。
なおこの機能を使うには、あらかじめインターネットに接続していることが必要です。インター
ネット接続について詳しくは、「インターネットを始める」(70ページ)をご覧ください。

3 VAIOカスタマーリンクに電話で問い合わせる。

VAIOカスタマーリンク

電話番号　(0466) 30-3000

お問い合わせには、「VAIOカスタマーID」が必要です。(43ページ)

受付時間

平日　10時～20時

土、日、祝日　10時～17時

(年末年始は除く)

一般的にお電話は午前中より午後の方がつながりやすくなっております。

- お電話は音声認識を用いた自動音声のアナウンスに従って、ご希望のメニューをお選びください。各メニューの担当オペレーターが対応いたします。
- 付属のソフトウェアについては、「サイバーサポート」画面左側の 付属ソフトの紹介 をクリックして表示される情報をご覧ください。また、各ソフトウェアのお問い合わせ先については、「付属ソフトウェアお問い合わせ先」(207ページ)にも記載しています。

お電話の前に次の内容をご用意ください

① お客様のVAIOカスタマーID

② 本機の型名:IDラベル(22ページ)または、保証書に記載されています

③ 本機の製造番号:保証書などに記載されている7桁の番号です

④ カスタマー登録していていただいたときの電話番号、または登録予定の電話番号

発信者番号通知でお電話していただくとよりスムーズに担当者につながります。

⑤ 本機に接続している周辺機器名:メーカー名と型名

⑥ 表示されたエラーメッセージ

⑦ 本機に付属していないソフトウェアを追加した場合は、そのソフトウェアの名前とバージョン

⑧ トラブルが発生する前または直前に行った操作

⑨ トラブルがどのくらいの頻度で再現するか

⑩ その他お気づきの点

修理の場合は

⑪ VAIOカルテ:修理をお申し込みになるとき

⑫ 筆記用具:修理を受付する際にお伝えする修理受付番号を控えるのに必要です

主なトラブルとその解決方法

ここでは、本機の主なトラブルとその解決方法を説明します。

ご注意

再起動または電源を入れ直す場合は、必ず「電源を切る」(55ページ)の手順に従い、いったん電源を切ってください。
他の方法で本機の電源を切ると、作成したファイルが使えなくなることがあります。

* デジタルビデオカメラなどの機器

次のページへつづく

付属の「VAIOハードウェア診断ツール」ソフトウェアを使うと、CPUやハードディスクなどのハードウェアに故障があるかどうか自動的に診断できます。
詳しくは、「サイバーサポート」画面左側の 付属ソフトの紹介 をクリックし、［サポート・ヘルプ］→［VAIOハードウェア診断ツール］を順にクリックして表示される情報をご覧ください。

電源

電源が入らない。（⏻（パワー）ランプ（グリーン）がつかないとき）

電源が入らないときの状況によって対処方法が異なります。次の点を確認した上で、それぞれの操作を行ってください。

→ バッテリが正しく装着されているか確認する。（33ページ）

→ 本機とACアダプタ、ACアダプタと電源コード、電源コードとコンセントがそれぞれしっかりつながっているか確認する。（34ページ）

→ AC電源に接続しない状態で長期間放置した場合

内蔵バックアップバッテリが消耗すると、⏻（パワー）ボタンを押しても電源が入らないことがあります。
ACアダプタをつなぎ、本機を充電しながら、次の手順で操作してください。

1 **クリップなどの細い棒で本機底面のリセットスイッチ（26ページ）を押す。**

シャープペンシルの芯など折れやすいものは、本機の故障の原因となりますので使用しないでください。

2 **電源を入れ、Sonyのロゴマークが表示されてから、F2キーを押す。**

画面左下に「Entering SETUP...」と表示されたあと、BIOSセットアップ画面が表示されます。「Entering SETUP...」と表示されない場合は、F2キーを数回押してください。

3 **日時を確認する。**

「System Date」、「System Time」に正しい日時が表示されているか確認する。
間違った日時が表示されている場合は次の操作をしてください。

① 「System Date」の項目に月／日／年（西暦）を入力する。

例：2002年1月31日と設定するには、1＋Enterキー＋31＋Enterキー＋2002＋Enterキーの順で入力します。

② ↓キーで「System Time」を選び、時刻を入力する。

例：午後2時35分00秒と設定するには、14＋Enterキー＋35＋Enterキー＋00＋Enterキーの順で入力します。

4 Escキーを押す。

5 ↓キーで［Get Default Values］を選択し、Enterキーを押す。

6 「Load default configuration now?」と表示されるので、「Yes」を選択して、Enterキーを押す。

7 ［Exit(Save Changes)］が選ばれていることを確認してEnterキーを押す。

8 「Save configuration changes and exit now?」と表示されるので、「Yes」を選択して、Enterキーを押す。

上記の操作を行っても本機が起動しない場合は、VAIOカスタマーリンクにご相談ください。

→ プログラム動作中の異常発生などにより、通常の操作で電源を切らなかった場合
プログラムの異常で、電源を制御するコントローラが停止している可能性があります。
クリップなどの細い棒で本機底面のリセットスイッチ（26ページ）を押してから、電源を入れ直してください。シャープペンシルの芯など折れやすいものは、本機の故障の原因となりますので使用しないでください。
それでも電源が入らない場合は、ACアダプタとバッテリをはずして1分ほど待ってから取り付け直し、再度電源を入れてください。

→ 寒い戸外から暖かい屋内に持ち込んだり、湿度の高い場所で使用した場合
本機内部に結露が生じている可能性があります。その場合は、1時間ほど待ってから電源を入れ直してください。湿度の高い場所（80 %以上）でのご使用は、本機の故障の原因となりますのでおやめください。

電源を入れても、⏻（パワー）ランプ（グリーン）は点灯するが画面に何も表示されない。

電源が入らないときの状況によって対処方法が異なります。次の点を確認した上で、それぞれの操作を行ってください。

→ 外部ディスプレイに表示が切り替えられている可能性がある。
Fnキーを押しながらF7キーまたはF8キーを何回か押してください。（67ページ）

→ しばらく様子を見ても画面に何も表示されないときは、下記の手順で操作を行ってください。

1 本機の⏻（パワー）ボタンを4秒以上押したままにし、⏻（パワー）ランプが消灯するのを確認してから、再度電源を入れ直す。

次のページへつづく

2 **それでも画面に何も表示されない場合は、クリップなどの細い棒で本機底面のリセットスイッチ（26ページ）を押してから、再度電源を入れ直す。**

シャープペンシルの芯など折れやすいものは、本機の故障の原因となりますので使用しないでください。

3 **上記の操作を行っても何も表示されない場合は、本機の⏻（パワー）ボタンを4秒以上押したままにし、⏻（パワー）ランプが消灯するのを確認したあと、ACアダプタとバッテリをはずして1分ほど待ってから取り付け直し、再度電源を入れ直す。**

→ 寒い戸外から暖かい屋内に持ち込んだり、湿度の高い場所で使用した場合
本機内部に結露が生じている可能性があります。その場合は、1時間ほど待ってから電源を入れ直してください。湿度の高い場所（80%以上）でのご使用は、本機の故障の原因となりますのでおやめください。

電源が切れない。

電源が切れないときの状況によって対処方法が異なります。次の点を確認した上で、それぞれの操作を行ってください。

→ 新しくインストールしたプログラムやデータ、その操作などを確認してください。

→ 使用中のソフトウェアをすべて終了する。

→ PCカードをお使いの場合は、「サイバーサポート」画面左側の バイオの使いかた をクリックし、［拡張・接続／データのやりとり］→［PCカードを取り付ける／取り出す］の順にクリックし、「PCカードを取り出すには」の手順に従ってPCカードを取り出す。

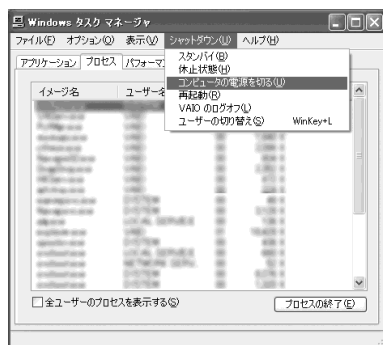
→ USB機器を接続しているときは取りはずす。

→ 周辺機器を接続している場合やネットワークを使用している場合には、それらを使用しない状態にしてから電源を切る操作を行ってください。Windows XPは、周辺機器やネットワークと通信を行っている間は、電源が切れないしくみになっています。また、周辺機器のデバイスドライバによっては、OSの強制的なプログラムの終了に対応していないものもあります。

→ 「電源を切る」（55ページ）の操作をしても、「設定を保存しています」または「Windowsをシャットダウンしています」と表示されたまま動かない場合

まず、Enterキーを押します。それでも電源が切れない場合は、本機の⏻（パワー）ボタンを4秒以上押したままにして、⏻（パワー）ランプが消灯するか確認してください。

→ スタート メニューから 終了オプション(U) を選んでも電源が切れない場合

Altキーを押しながらF4キーを数回押して「コンピュータの電源を切る」画面を表示させ、 をクリックしてください。
Altキーを押しながらF4キーを数回押しても「コンピュータの電源を切る」画面が表示されない場合は、CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押し、「Windowsタスクマネージャ」画面を表示させます。

「シャットダウン」メニューをクリックし、[コンピュータの電源を切る]をクリックしてください。
それでも電源が切れない場合は、本機の ⏻(パワー)ボタンを4秒以上押したままにして、⏻(パワー)ランプが消灯するか確認してください。

→ 本機の ⏻(パワー)ボタンを4秒以上押したままにしても、電源が切れない場合
クリップなどの細い棒で本機底面のリセットスイッチ(26ページ)を押してください。
シャープペンシルの芯など折れやすいものは、本機の故障の原因となりますので使用しないでください。

→ 上記の操作を行っても電源が切れない場合は、ACアダプタとバッテリをはずしてください。

これらの操作を行うと、作成中のデータが破壊されるおそれがあります。また、本機の電源を入れ直した際、ディスクのチェックが行われます。その場合は、Windowsのデスクトップ画面が表示されるまで画面の指示に従って操作し、その後「電源を切る」(55ページ)の手順に従っていったん本機の電源を正しく切ってください。

電源が勝手に切れた。

→ バッテリで本機を使用中にバッテリの残量がわずかになると、自動的に休止状態になり、電源が自動的に切れます。

Windowsの起動

電源を入れると、「No System disk or disk error. Replace and press any key when ready.」や「Invalid system disk. Replace the disk, and then press any key.」、「NTLDR is missing. Press any key to restart.」というメッセージが出て、Windowsが起動できない。

→ フロッピーディスクがフロッピーディスクドライブ ベイに入っているときは、イジェクトボタンを押して、取り出す。その後、キーボードのいずれかのキーを押す。

電源を入れると、「Operating system not found」と表示され、Windowsが起動できない。

→ フロッピーディスクドライブ ベイに起動ディスク以外のフロッピーディスクが入っている場合は、ディスクを取り出してからCtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押して本機を再起動する。

→ 再起動してもこのメッセージが表示され、Windowsが起動しない場合は、指定された方法以外のやりかたでパーティションサイズを変更している可能性があります。本機に付属のリカバリ CDを使って、パーティションサイズを変更し、本機を再セットアップしてください。（192ページ）

電源を入れると、「System Disable」と表示され、Windowsが起動しない。

→ パワーオンパスワードを3回間違えて入力すると、「System Disable」と表示されWindowsが起動しません。

本機の ⏻（パワー）ボタンを4秒以上押したままにして ⏻（パワー）ランプが消灯するか確認してください。
その後、再度本機の電源を入れ、正しいパスワードを入力してください。
パスワードを入力する際は、🔒（Num Lock）ランプや Ⓐ（Caps Lock）ランプが点灯していないか確認してください。点灯している場合は、Num Lkキーを押すか、またはShiftキーを押しながらCaps Lockキーを押してランプを消灯させてから入力してください。

ハードディスクから起動できない。

→ フロッピーディスクがフロッピーディスクドライブ ベイに入っているときは、イジェクトボタンを押して取り出す。その後、キーボードのいずれかのキーを押す。

電源を入れたあと、「Press <F1> to resume, <F2> to Setup」と表示され、Windowsが起動しない。

→ 内蔵バックアップバッテリが消耗している。
ACアダプタをつなぎ、本機を充電しながら、次の操作を行ってください。

1 電源を入れ、Sonyのロゴマークが表示されてから、F2キーを押す。

画面左下に「Entering SETUP...」と表示されたあと、BIOSセットアップ画面が表示されます。「Entering SETUP...」と表示されない場合は、F2キーを数回押してください。

2 日時を確認する。

「System Date」、「System Time」に正しい日時が表示されているか確認する。間違った日時が表示されている場合は次の操作をしてください。

① 「System Date」の項目に月／日／年（西暦）を入力する。

例：2002年1月31日と設定するには、
1＋Enterキー＋31＋Enterキー＋2002＋Enterキーの順で入力します。

② ↓キーで「System Time」を選び、時刻を24時間表示で入力する。

例：午後2時35分00秒と設定するには、
14＋Enterキー＋35＋Enterキー＋00＋Enterキーの順で入力します。

3 Escキーを押す。

4 ↓キーで［Get Default Values］を選択し、Enterキーを押す。

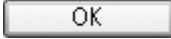
5 「Load default configuration now?」と表示されるので、「Yes」を選択して、Enterキーを押す。

6 ［Exit(Save Changes)］が選ばれていることを確認してEnterキーを押す。

7 「Save configuration changes and exit now?」と表示されるので、「Yes」を選択して、Enterキーを押す。

上記の操作を行っても本機が起動しない場合は、VAIOカスタマーリンクにご相談ください。

モデム・インターネット

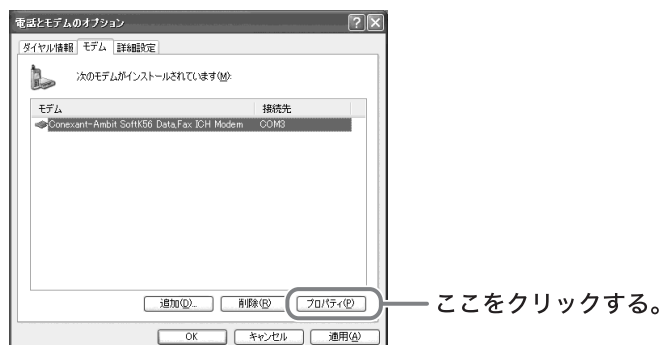
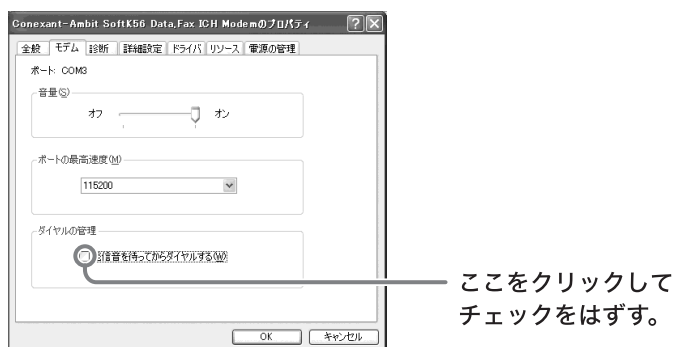
ダイヤルできない。

今まで一度もダイヤルできない場合

→ 一般電話回線に接続しているか確認する。
使用可能な回線は、一般電話回線です。その他の回線に接続した場合には、故障・発火の原因となることがあります。会社やホテルなどのPBX回線に接続する場合は、本機の内蔵モデムに対応しているかどうかを、回線管理者やホテルのフロントなどにお問い合わせください。

会社やホテルなどの回線が使用可能な場合

次の手順に従って外線発信番号を設定し（0発信など）、ダイヤルトーン（受話器を上げたときの「ツー」という音）を待たずにダイヤルするようにしてください。

1. **［スタート］ボタンをクリックして、［コントロール パネル］をクリックする。**
「コントロール パネル」画面が表示されます。
2. **［プリンタとその他のハードウェア］アイコンをクリックする。**
3. **［電話とモデムのオプション］アイコンをクリックする。**
「電話とモデムのオプション」画面が表示されます。
4. **設定されている所在地をクリックして選び、［編集(E)...］をクリックする。**
「所在地の編集」画面が表示されます。
5. **ダイヤル元の市外局番を半角の数字で入力し、「市内通話の場合の外線発信番号」と「市外電話の場合の外線発信番号」に半角で「0」（ゼロ）と入力する（0発信の場合）。**
6. **［OK］をクリックする。**
7. **［モデム］タブをクリックする。**

8 お使いのモデムをクリックして選び、［プロパティ(P)］をクリックする。

9 ［モデム］タブをクリックし、「ダイヤルの管理」の「発信音を待ってからダイヤルする」のチェックボックスをクリックして、チェックをはずす。

10 ［OK］をクリックする。

11 「電話とモデムのオプション」画面で［OK］をクリックし、画面を閉じる。

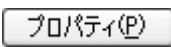
困ったときは

次のページへつづく

→ 接続状態を確認する。

- テレホンコードの接続を確認する。
  「発信音が聞こえません」とメッセージが表示されたときは、本機側の ⌂ TEL LINE（モジュラジャック）と壁側の電話回線のコンセントの接続を確認します。
  「カチッ」と音がするまでモジュラジャックに差し込んでください。
  また、予備のテレホンコードがあれば、テレホンコードを交換して試してみます。
  （78ページ）

- 分配器を使わずに、電話回線のコンセントにテレホンコードを直接接続しているか確認する。
  また、テレホンコードが長すぎないか、電話機の子機に接続していないか確認する。

- ISDN回線に接続しているときは、ターミナルアダプタが使える状態になっているか確認する。
  詳しくは、ターミナルアダプタの取扱説明書をご覧ください。

→ モデムがWindowsに正しく認識されているか確認する。

1 **[スタート] ボタンをクリックして、［コントロール パネル］をクリックする。**

「コントロール パネル」画面が表示されます。

2 **［プリンタとその他のハードウェア］アイコンをクリックする。**

3 **［電話とモデムのオプション］アイコンをクリックし、［モデム］タブをクリックする。**

4 **お使いのモデムをクリックして選び、[プロパティ(P)] をクリックし、［診断］タブをクリックする。**

5 モデムの照会(Q) をクリックする。

コマンドとその応答が表示されたら、モデムは正しく認識されています。

正しく認識されていないときは

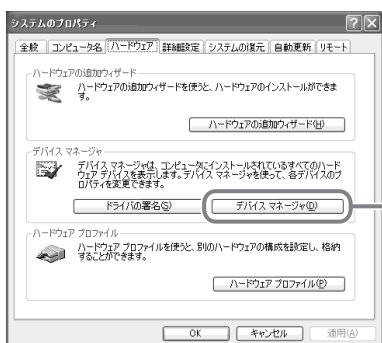
正しく認識されていないときは次の手順で操作し、COMポートのリソース（IRQなど）が他のデバイスと競合していないか確認する。

1 スタート ボタンをクリックして、［コントロール パネル］をクリックする。

2 ［パフォーマンスとメンテナンス］アイコンをクリックする。

3 ［システム］アイコンをクリックする。

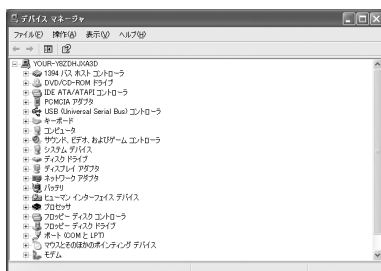
「システムのプロパティ」画面が表示されます。

4 ［ハードウェア］タブの デバイス マネージャ(D) をクリックする。

「デバイス マネージャ」画面が表示されます。
デバイスのアイコンに「！」がついているものは、他のデバイスと競合を起こしている可能性があります。

次のページへつづく

競合している場合は

競合している場合は次の手順でデバイスを無効にする。
また、競合しているデバイスが着脱可能な場合は、本機から取りはずせば競合は解消します。

1 「デバイス マネージャ」画面で競合しているデバイスをダブルクリックする。

2 ［全般］タブの「デバイスの使用状況」の をクリックし、表示されるリストから［このデバイスを使わない（無効）］をクリックする。

3 OK をクリックする。

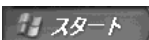
今までできていたのにできなくなった場合

→ 3分以内に3回以上同じ電話番号にかけた場合は、リダイヤル制限がかかりダイヤルできなくなります。
3分以上、時間をおいてからかけ直してください。

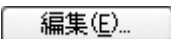
お使いの電話回線がパルス式ダイヤルで、ダイヤルに失敗する場合

→ 「PowerPanel」の「CPUの制御」を確認する。

「PowerPanel」の「CPUの制御」で「さらに省電力」を選んでいるときは、ダイヤルできないことがあります。
この場合は、「さらに省電力」以外を選択してください。
（本機では、工場出荷時の設定で、「PowerPanel」で「スーパースタミナ」プロファイルを選ぶと「CPUの制御」は「さらに省電力」に設定されます。）

モデムはダイヤルしているが、接続できない。

接続の動作（ネゴシエーション）が始まらない場合

→ ダイヤル方法を確認する。
お使いの電話回線のダイヤル方式がトーン式ダイヤルかパルス式ダイヤルかを確認し、次の手順に従って操作し、ダイヤル方法が正しく設定されているか確認する。

お使いの電話回線のダイヤル方法がわからない場合は、電話会社から送られてくる請求内訳表をご覧ください。請求内訳表の中に「プッシュ回線使用料」と記載されている場合は「トーン式ダイヤル」です。回線（基本）使用料のみ記載されている場合は「パルス式ダイヤル」です。電話回線のダイヤル方法について詳しくは、契約している電話会社へお問い合わせください。

1 **［スタート］ボタンをクリックして、［コントロール パネル］をクリックする。**
「コントロール パネル」画面が表示されます。

2 **［プリンタとその他のハードウェア］アイコンをクリックする。**

3 **［電話とモデムのオプション］アイコンをクリックする。**
「電話とモデムのオプション」画面が表示されます。

4 **設定されている所在地をクリックして選び、［編集(E)...］をクリックする。**
「所在地の編集」画面が表示されます。

5 **「ダイヤル方法」が電話回線の種類と同じか確認する。**

6 **［OK］をクリックする。**

7 **「電話とモデムのオプション」画面で［OK］をクリックし、画面を閉じる。**

→ お使いの電話回線がパルス式ダイヤルの場合は、「PowerPanel」の「CPUの制御」を確認する。

「PowerPanel」の「CPUの制御」で「さらに省電力」を選んでいるときは、ダイヤルできないことがあります。
この場合は、「さらに省電力」以外を選択してください。
（本機では、工場出荷時の設定で、「PowerPanel」で「スーパースタミナ」プロファイルを選ぶと「CPUの制御」は「さらに省電力」に設定されます。）

次のページへつづく

→ 接続先の設定（電話番号など）を再確認する。

「リモートコンピュータが応答していません」、「ユーザー名またはパスワード、あるいはその両方が無効なため、このドメインにアクセスできませんでした」といったメッセージが表示されるときは、次の手順でプロバイダやネットワークに接続するための設定を確認します。

1 **[スタート] ボタンをクリックして、［コントロール パネル］をクリックする。**

「コントロール パネル」画面が表示されます。

2 **［ネットワークとインターネット接続］アイコンをクリックする。**

3 **［ネットワーク接続］アイコンをクリックする。**

「ネットワーク接続」画面が表示されます。

4 **接続先のアイコンを右クリックし、表示されるメニューから［プロパティ］をクリックする。**

5 **契約しているプロバイダから提供された資料に従って設定を確認する。**

特に、次の点を重点的に確認してください。

- ［全般］タブ
  「接続の方法」と「電話番号」の設定
- ［ネットワーク］タブ
  「呼び出すダイヤルアップサーバーの種類」の設定で「PPP:Windows 95/98/NT4/2000, Internet」が選択されていることと、「この接続は次の項目を使用します」の「インターネットプロトコル（TCP/IP）」がチェックされていることを確認してください。
  また、「インターネットプロトコル（TCP/IP）」のプロパティを開き、その設定内容も確認してください。

ご注意

- チェックすべき項目以外はすべてチェックをはずしてください。
- プロバイダからDNSサーバーアドレスを指定されない場合（自動設定）は、［DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する］をクリックしてください。

- プロバイダによっては、同じアクセスポイントでも一般電話回線とISDN回線で電話番号をわけていることもあります。使用する電話回線にあった電話番号かは、契約したプロバイダにお問い合わせください。
- DNSサーバーアドレス（プライマリDNSとセカンダリDNS）を入力し直す場合は、［次のDNSサーバーのアドレスを使う］をクリックしてから、正しいアドレスを入力します。

→ 接続先を作り直してみる。

設定などに問題がなかった場合は、次の手順でダイヤルアップ接続アイコンを作り直してから、接続してみてください。

1 [スタート] **ボタンをクリックして、[コントロール パネル] をクリックする。**

「コントロール パネル」画面が表示されます。

2 **[ネットワークとインターネット接続] アイコンをクリックする。**

3 **[ネットワーク接続] アイコンをクリックする。**

「ネットワーク接続」画面が表示されます。

4 **接続先のアイコンをごみ箱にドラッグアンドドロップする。**

ダイヤルアップ接続アイコンを削除するか確認するメッセージが表示されます。

5 [はい(Y)] **をクリックする。**

ダイヤルアップ接続アイコンが削除されます。

6 **「ネットワーク タスク」の [新しい接続を作成する] をクリックする。**

「新しい接続ウィザードの開始」画面が表示されます。

7 [次へ(N) >] **をクリックする。**

「ネットワーク接続の種類」画面が表示されます。

8 **[インターネットに接続する] の ○ をクリックして ◉ にし、[次へ(N) >] をクリックする。**

「準備」画面が表示されます。
引き続き「接続のための設定をする」(92ページ)の手順5～10の操作を行ってください。
インターネット接続ウィザードが終了すると、「ネットワークとダイヤルアップ接続」画面の中に新しいダイヤルアップ接続アイコンができます。
このアイコンをダブルクリックして、接続を試してください。

それでも接続できない場合は、接続先のサーバーが停止している可能性があります。時間をおいて再度ダイヤルし直してください。

次のページへつづく

→ NTTの117時報サービスにダイヤルできるか試してみる。
「ハイパーターミナル」ソフトウェアで時報にダイヤルできるか試します。ダイヤルできた場合、モデムや回線は正常に動作しているので、接続の設定をもう1度確認してください。

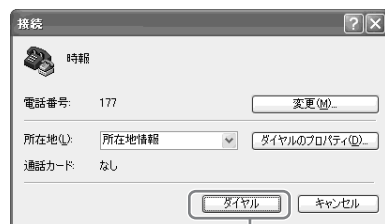
1 **スタート ボタンをクリックして［すべてのプログラム］にポインタを合わせ、［アクセサリ］から［通信］、［ハイパーターミナル］の順にクリックする。**

「ハイパーターミナル」ソフトウェアが起動し、「接続の設定」画面が表示されます。

2 **「名前」に任意の名前を入力し、OK をクリックする。**

3 **「電話番号」に「117」と入力し、OK をクリックする。**

「接続」画面が表示されます。

4 ダイヤル をクリックする。

ここをクリックする。

音が小さい場合は、音量調整ダイヤルを確認します。または、次の手順に従って操作してください。

① スタート ボタンをクリックして［コントロール パネル］をクリックする。
「コントロール パネル」画面が表示されます。

② ［サウンド、音声、およびオーディオ デバイス］をクリックする。

③ 画面左側の「関連項目」から、［詳細ボリュームコントロール］をクリックする。
「ボリュームコントロール」画面が表示されます。

④ PhoneまたはTelephonyの項目でスライダを上下に動かして好みの音量に調整する。
PhoneまたはTelephonyの項目が表示されていない場合は、［オプション］→［プロパティ］→［表示するコントロール］でPhoneまたはTelephonyの項目をチェックして表示してください。

接続の動作（ネゴシエーション）はするが接続できない場合

→ ユーザー名やパスワードを確認する。

1 スタート ボタンをクリックして、［コントロール パネル］をクリックする。

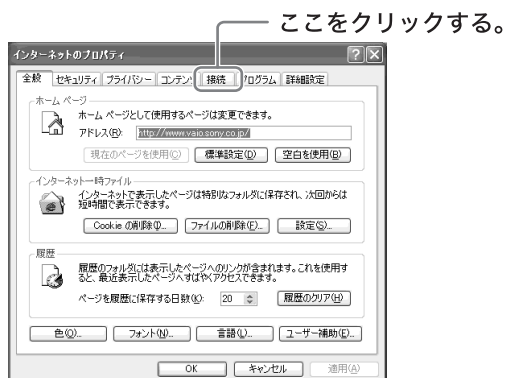
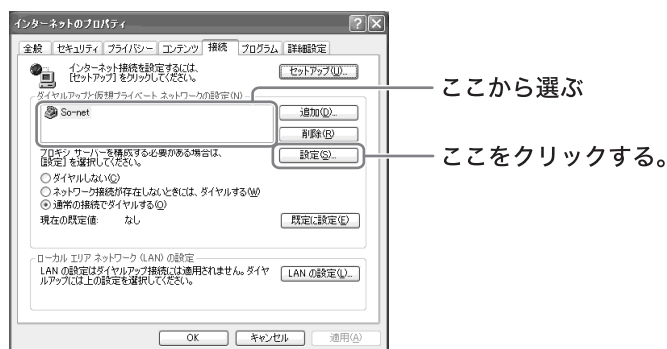
「コントロール パネル」画面が表示されます。

2 ［ネットワークとインターネット接続］アイコンをクリックする。

3 ［インターネット オプション］アイコンをクリックする。

「インターネットのプロパティ」画面が表示されます。

次のページへつづく

4 ［接続］タブをクリックする。

5 「ダイヤルアップと仮想プライベートネットワークの設定」から接続先を選んでクリックし、［設定(S)...］をクリックする。

設定画面が表示されます。

6 「ユーザー名」や「パスワード」が正しいか確認する。

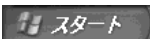
ユーザー名やパスワードを忘れてしまった場合は、プロバイダから郵送されてきた資料を確認してください。または、契約したプロバイダにお問い合わせください。

- 「モデムはダイヤルしているが、接続できない。」（229ページ）の内容も合わせてご覧ください。
- インターネットの接続に関して詳しくは、「インターネットを始める」（70ページ）をご覧ください。

→ いったん切断してからかけ直す。

接続中の動作が長く続き接続が完了しないときは、いったん回線を切断してかけ直します。

高い通信速度で接続する場合、まれに接続に失敗して、接続確認の動作が終わらなくなることがあります。

→ アクセスポイントを変更する。

内蔵モデムやターミナルアダプタが発信しているのに、ネゴシエーションが始まらない場合は、次のような問題が考えられます。

- 接続先の回線の状態が良くない。
- 接続先の回線が混み合っている。
- 接続先のモデムが不調である。

この場合は、時間帯をずらして再度接続してみるか、アクセスポイントを変更して接続してみてください。

アクセスポイントを変更する

アクセスポイントを変更するには、次の手順に従って操作します。

1 **スタート ボタンをクリックして、[コントロール パネル] をクリックする。**

「コントロール パネル」画面が表示されます。

2 **[ネットワークとインターネット接続] アイコンをクリックする。**

3 **[ネットワーク接続] アイコンをクリックする。**

「ネットワーク接続」画面が表示されます。

4 **ダイヤルアップ接続名（チェックシートのダイヤルアップ接続名）のアイコンを右クリックし、表示されるメニューから [プロパティ] をクリックする。**

ダイアルアップ接続のプロパティ画面が表示されます。

5 **「電話番号」の入力欄に別のアクセスポイントの電話番号を半角の数字で入力する。**

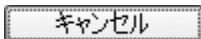
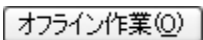
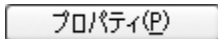
6 **OK をクリックする。**

次のページへつづく

困ったときは

接続するが通信速度が遅い場合

→ 回線が混み合っている場合や回線の品質が悪い場合は、エラーが発生しないよう自動的に通信速度を落とします。

インターネットに接続できない。

ホームページが表示されない場合

→ webブラウザの設定を確認する。
プロバイダによっては、webブラウザの設定が必要な場合があります。契約したプロバイダから送られてくる資料などをご覧になり、設定を確認してください。

→ URLを確認する。
アドレスバーに表示されているURLが正しく入力されているか確認します。URLは半角英数字で入力してください。

電子メールを送受信できない場合

→「Outlook Express」ソフトウェアをお使いの場合。

次の手順に従って操作し、電子メールソフトウェアの設定を確認する。

1 **［スタート］ボタンをクリックして［すべてのプログラム］にポインタを合わせ、［Outlook Express］をクリックする。**
「Outlook Express」が起動します。
「ダイヤルアップの接続」画面が表示されたときは、［キャンセル］または［オフライン作業(O)］をクリックします。

2 **画面上部の［ツール］をクリックし、表示されるメニューから［アカウント］をクリックする。**
「インターネット アカウント」画面が表示されます。

3 **［メール］タブをクリックする。**

4 **お使いのアカウントをクリックして選び、［プロパティ(P)］をクリックする。**

5 **各タブをクリックし、各項目が正しく入力されているか確認する。**

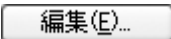
ご注意
文字は半角文字で入力してください。全角で入力してあると、電子メールソフトウェアが正しく設定されません。

→ 「Outlook Express」以外の電子メールソフトウェアをお使いの場合。
それぞれのソフトウェアの取扱説明書またはヘルプをご覧になり、正しく設定されているか確認してください。

電子メール送受信について詳しくは、「インターネットを始める」(70ページ)をご覧ください。

携帯電話を使って接続できない場合

→ 携帯電話や接続アダプタの設定を確認する。
お使いの携帯電話や接続アダプタに付属の取扱説明書をご覧になり、設定を確認してください。

→ 所在地情報を確認する。

1 **[スタート] ボタンをクリックして、[コントロール パネル] をクリックする。**

「コントロール パネル」画面が表示されます。

2 **[プリンタとその他のハードウェア] アイコンをクリックする。**

3 **[電話とモデムのオプション] アイコンをクリックする。**

「電話とモデムのオプション」画面が表示されます。

4 **設定されている所在地をクリックして選び、[編集(E)...] をクリックする。**

「所在地の編集」画面が表示されます。

5 **[全般] タブの「市外局番」に何も入力されていないときは、「000」など実在しない番号を入力する。**

通信中にエラーメッセージが表示される。

→ 本機の内蔵モデムはソフトウェアで一部の機能を制御しています。そのため、インターネットやファックスの通信中に、他のソフトウェアや周辺機器が動作してシステムに負担がかかると、エラーメッセージが表示されることがあります。
このようなときは、他のソフトウェアを終了させるか、周辺機器を取りはずしてから、通信し直してください。

カスタマー登録

オンラインでカスタマー登録できない。

→ 本機が電話回線に正しく接続されているか確認する。（78ページ）

→ お使いの電話回線がトーン式ダイヤルかパルス式ダイヤルかを確認し、ダイヤルの種類に合わせて内蔵モデムを設定する。（78ページ）

お使いの電話回線のダイヤル方法がわからない場合は、電話会社から送られてくる請求内訳表をご覧ください。請求内訳表の中に「プッシュ回線使用料」と記載されている場合は「トーン式ダイヤル」です。回線（基本）使用料のみ記載されている場合は「パルス式ダイヤル」です。電話回線のダイヤル方法について詳しくは、契約している電話会社へお問い合わせください。

→ ISDN回線をお使いの場合は、本機の IOIOI SERIALコネクタ（180ページ）または USBコネクタ（172ページ）とターミナルアダプタのSERIALコネクタまたはUSBコネクタをつないでください。

→ ターミナルアダプタ、携帯電話、PHSなど、お使いになる通信機器によっては、正しく接続できないことがあります。この場合は、本機の TEL LINE（モジュラジャック）と一般電話回線をつなぎ、通信を行ってください。（78ページ）

液晶ディスプレイ・外部ディスプレイ

液晶ディスプレイに何も表示されない。

→ LCD/Videoスタンバイになっている。タッチパッドに触れるか、キーボードのいずれかのキーを押す。

→ 外部ディスプレイに表示が切り替えられている。Fnキーを押しながら、F7キーまたはF8キーを何回か押す。（67ページ）

液晶ディスプレイが暗い。

→ Fnキーを押しながら、F5キーを押すと、液晶ディスプレイの明るさを調節できます。（67ページ）

→ 本機はエネルギースター規格に基づいて設計されており、工場出荷時の設定では、AC電源でご使用中に約30分操作しないと、自動的に現在作業中の状態を保持したまま、省電力動作モードへ移行します（スタンバイ*1）。本機のキーボードのいずれかのキーを押すか（テンキー ベイのキーは無効）、⏻（パワー）ボタン*2 を押すと、元の状態に戻ります。
AC電源でご使用中に自動的にスタンバイに移行しないように設定することもできます。*3
また、バッテリで長時間使用できるようにするため、工場出荷時の設定では、バッテリでご使用中に数分間以上操作をしないと自動的に本機の液晶ディスプレイが暗くなります（LCD/Videoスタンバイ*1 またはスタンバイ）。
さらに数分間以上操作をしないとシステムの状態をハードディスクに書き込んでから自動的に本機の電源を切ります（休止状態*1）。
元の状態に復帰させるには、⏻（パワー）ランプの状態により次の操作を行ってください。

- ⏻（パワー）ランプがグリーンで点灯（LCD/Videoスタンバイ）
  タッチパッドに触れるか、キーボードのいずれかのキーを押す。
- ⏻（パワー）ランプがアンバー（赤褐色）で点滅（スタンバイ）
  本機のキーボードのいずれかのキー（テンキー ベイのキーは無効）または⏻（パワー）ボタンを押す。*2
- ⏻（パワー）ランプが消灯（休止状態または電源オフ）
  ⏻（パワー）ボタンを押す。

*1 詳しくは、「サイバーサポート」画面左側の バイオの使いかた をクリックし、[設定を変更する] → [バッテリの消費電力を節約する（「PowerPanel」の使いかた）] → [省電力動作モードについて] の順にクリックして表示される情報をご覧ください。
*2 ⏻（パワー）ボタンを4秒以上押しつづけると保存された状態が破棄されますのでご注意ください。
*3 詳しくは、「サイバーサポート」画面左側の バイオの使いかた をクリックし、[設定を変更する] → [バッテリの消費電力を節約する（「PowerPanel」の使いかた）] → [プロファイルのパワーマネージメント設定を変更する] の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

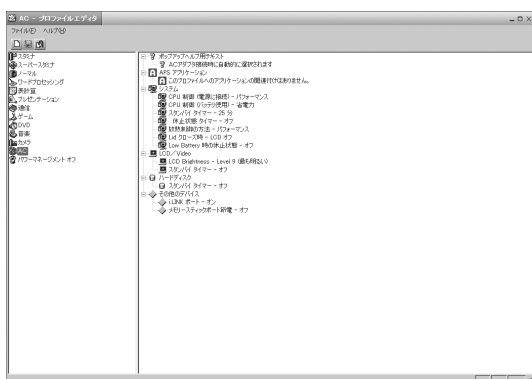
次のページへつづく

液晶ディスプレイの明るさ設定が変わってしまう。

→ 本機では「PowerPanel」ソフトウェアを使って、ACアダプタを抜き差ししたときなどに最適な動作モードになるよう、自動的にパワープロファイルが切り替わります（パワーマネージメント機能）。
Fnキーを押しながらF5キーを押すことで設定する液晶ディスプレイの明るさは、一時的なものです。特定のプロファイルで液晶ディスプレイの明るさ設定を保存したい場合は、下記の手順に従って操作してください。
なおこの操作は、「コンピュータの管理者」アカウントを持つユーザーで行ってください。

1 **デスクトップ画面右下の通知領域にある を右クリックして、表示されたメニューから［プロファイルの編集／作成］をクリックする。**

「プロファイルエディタ」が起動します。

2 **画面左から設定を変更したいプロファイルをクリックする。**

工場出荷時の状態では、バッテリ動作時は自動的に「スタミナ」プロファイルが選択されます。

3 **画面右から［LCD Brightness］をダブルクリックする。**

設定値のリストが表示されます。現在有効な設定値がチェックされています。

4 **好みの設定値をクリックする。**

5 **「ファイル」メニューをクリックし、［保存］をクリックする。**

6 **「ファイル」メニューをクリックし、［終了］をクリックする。**

「プロファイルエディタ」が終了し、手順4で選んだ設定値が有効になります。

外部ディスプレイまたはテレビに何も表示されない。

→ 表示するディスプレイの設定を確認してください。詳しくは、「サイバーサポート」画面左側の バイオの使いかた をクリックし、[設定を変更する] → [画面表示の設定を変更する] → [表示するディスプレイを選ぶ] の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

→ 本機を起動中、ユーザーの簡易切り替えを行うと、その後Fnキーを押しながらF7キーやF8キーを押して表示するディスプレイを変更することができません。
本機起動時のユーザーでログオンし直すか、表示するディスプレイの設定を変更してください。詳しくは、「サイバーサポート」画面左側の バイオの使いかた をクリックし、[設定を変更する] → [画面表示の設定を変更する] → [表示するディスプレイを選ぶ] の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

液晶ディスプレイと外部ディスプレイに動画やDVDビデオなどを同時に表示できない。

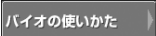
→ 液晶ディスプレイと外部ディスプレイに動画やDVDビデオなどを同時に表示することはできません。

表示するディスプレイを選択してください。表示するディスプレイについて詳しくは、「サイバーサポート」画面左側の バイオの使いかた をクリックし、[設定を変更する] → [画面表示の設定を変更する] → [表示するディスプレイを選ぶ] の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

外部ディスプレイの表示サイズ、表示位置がおかしい。

→ ディスプレイの調整つまみで設定する。詳しくは、ディスプレイの取扱説明書をご覧ください。

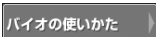
→ 外部ディスプレイや液晶プロジェクタと本機の液晶ディスプレイを同時に表示する場合は、画面表示の設定を変更してお使いください。詳しくは、「サイバーサポート」画面左側の バイオの使いかた をクリックし、[設定を変更する] → [画面表示の設定を変更する] → [ディスプレイの設定を変更する] の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

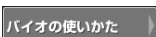
デスクトップ画面上にウィンドウやアイコンの奇跡が残る。

→ ⊞ キーを押しながらDキーを2回押す。

次のページへつづく

液晶ディスプレイとテレビの表示が切り替えられない。

→ 本機のドライブにDVDビデオディスクが入っているときは、DVDビデオディスクを取り出してから、表示を切り替えてください。

液晶プロジェクタに何も表示されない。

→ 本機の解像度を下げてください。詳しくは、「サイバーサポート」画面左側の バイオの使いかた をクリックし、[設定を変更する] → [画面表示の設定を変更する] → [ディスプレイの設定を変更する] の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

タッチパッド・キーボード

指がタッチパッドの端まできてしまい、これ以上動かせない。

→ 指をいったんタッチパッドから離し、中央に戻す。

指がタッチパッドに触れただけで、クリックしてしまう。

→ タッチパッドの設定を変更し、タッピング機能を無効にしてください。
詳しくは、「サイバーサポート」画面左側の バイオの使いかた をクリックし、[設定を変更する] → [タッチパッドをカスタマイズする] → [タッピング機能を無効にする] の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

タッチパッドが働かない。

→ タッチパッドが無効になっている。タッチパッドの設定を変更し、タッチパッドを有効にしてください。
詳しくは、「サイバーサポート」画面左側の バイオの使いかた をクリックし、[設定を変更する] → [本機の使用環境を設定する（「Sony Notebook Setup」の使いかた）] → [タッチパッドを無効にする／有効にする] の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

→ 次の手順でタッチパッドの設定を確認してください。

1 **スタート ボタンをクリックして、[コントロール パネル] をクリックする。**

2 **[プリンタとその他のハードウェア] アイコンをクリックする。**

3 **[マウス] アイコンをクリックする。**
「マウスのプロパティ」画面が表示されます。

4 ［タッピング］タブをクリックする。

5 「コーナーでタップしない」がチェックされていないことを確認する。

チェックされているときは、クリックしてチェックをはずします。

画面上のポインタが動かない。

→ CD-ROMなどのディスクを再生しているときなどにポインタが動かなくなった場合は、CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押して「Windowsタスクマネージャ」を表示させ、「アプリケーション」タブでディスクの再生を強制的に終わらせ、次の手順で本機を再起動する。

→ キーを押して スタート メニューを表示させ、↑キーを押して 終了オプション(U) を選んでEnterキーを押し、↑キーまたは↓キーを押して 「電源を切る」または 「再起動」を選び、Enterキーを押す。

→ 上記の操作で電源が切れないまたは再起動しない場合は、CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押して「Windowsタスクマネージャ」を表示させ、Altキーを押しながらUキーを押してから↑キーまたは↓キーを押して［コンピュータの電源を切る］または［再起動］を選び、Enterキーを押す。

→ 以上の操作でも何も起こらないときは、本機の ⏻（パワー）ボタンを4秒以上押して電源を切る。

次のページへつづく

画面上のすべてのものが動かなくなってしまった。

→ Ctrlキーと Altキーを押しながら Deleteキーを押して「Windows タスクマネージャ」を表示させ、Altキーを押しながら Uキーを押してから↑キーまたは↓キーを押して[再起動]を選び、Enterキーを押して本機を再起動する。

→ 以上の操作でも何も起こらないときは、本機の ⏻(パワー)ボタンを4秒以上押して電源を切る。

タッチパッドでスクロール機能が働かない。

→ ソフトウェアによっては、タッチパッドのスクロール機能が使えないことがあります。その場合は、タッチパッドの左右ボタンを同時に押して、オートスクロール機能を可能にしてからスクロールしてください。

キーボードを使って正しく入力できない。

→ U、I、O、J、K、L、M、@などの文字が入力できない場合は、Num Lock(ナムロック)が有効になっている場合があります。
🔒(Num Lock)ランプが点灯していないか確認してください。点灯している場合は、Num Lkキーを押してランプを消灯させてから入力してください。(65ページ)

→ 次の手順で操作し、キーボードの項目が「日本語 PS/2 キーボード(106/109キー Ctrl+英数)」に設定されているか確認してください。異なるキーボードタイプに設定していると、入力したい文字と違う文字が表示されることがあります。

1 **スタート ボタンをクリックして、[コントロール パネル]をクリックする。**

2 **[パフォーマンスとメンテナンス]アイコンをクリックする。**

3 **[システム]アイコンをクリックする。**

4 **「ハードウェア」タブの[デバイス マネージャ]をクリックする。**

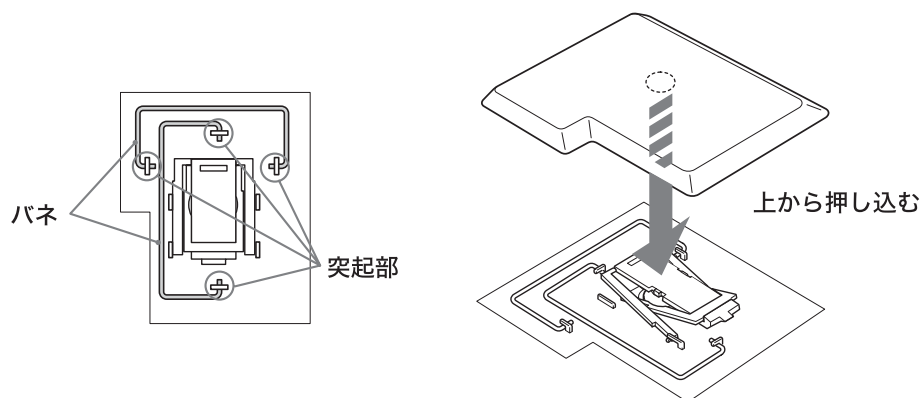
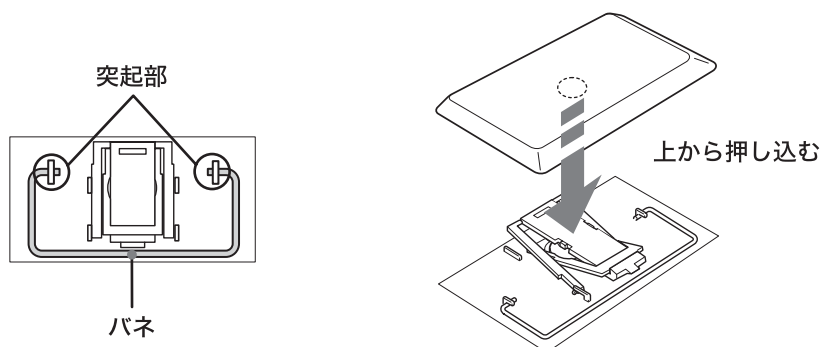
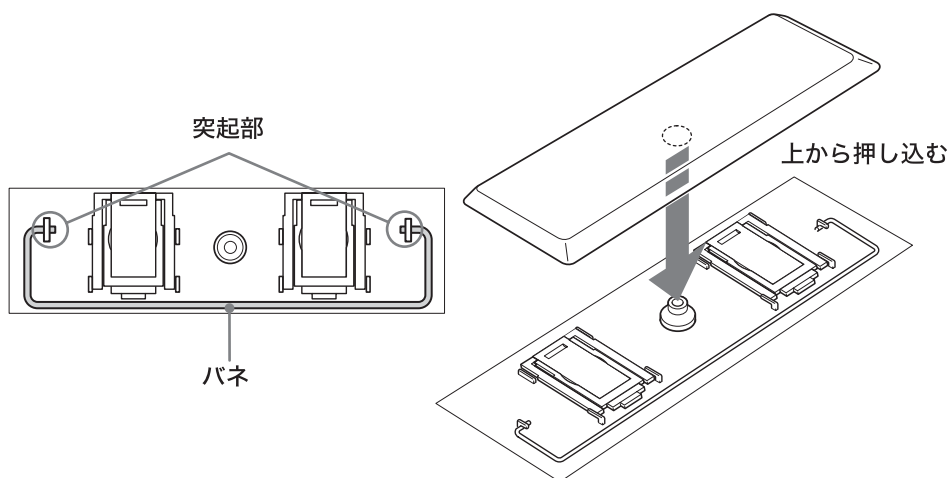
5 **キーボードの項目が「日本語 PS/2 キーボード(106/109キー Ctrl+英数)」に設定されているか確認する。**

キートップがはずれた。

→ Enterキー、Caps Lockキー、Ctrlキー、Tabキー、スペースキーとShiftキーがはずれた場合は、次の図に従って取り付けてください。
その他のキートップがはずれたときは、元の位置に戻して「カチッ」と音がするまで上から押し込んでください。

キートップの取り付けかた

キートップから針金のバネを取りはずして、突起部にひっかけ、キートップの中心を合わせて「カチッ」と音がするまで上から押し込む。

Enterキー

Caps Lockキー、Ctrlキー、Tabキー

スペースキー、Shiftキー

ご注意

- キートップを故意にはずさないでください。故障の原因となります。
- 取り付けるときに無理に力を加えると破損の原因となります。取り扱いには充分ご注意ください。

フロッピーディスク

フロッピーディスクが取り出せない。

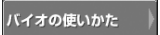
→ フロッピーディスクドライブ ベイを取りはずして、VAIOカスタマーリンクにご連絡ください。

「ディスクがいっぱいです」というメッセージが表示され、ファイルなどをフロッピーディスクに保存できない。

→ フロッピーディスクの容量の空きがない。容量の空きが充分にある別のフロッピーディスクを使って保存し直す。

「書き込み禁止」というメッセージが表示された。

→ フロッピーディスクが書き込み禁止になっている。タブを動かして書き込み可能にする。詳しくは、「サイバーサポート」画面左側の バイオの使いかた をクリックし、［基本的な使いかた］→［フロッピーディスクを使う］→［フロッピーディスクのデータを誤って消さないようにする］の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

「マイ コンピュータ」からフロッピーディスクを選んで初期化しようとしたができない。

→ フロッピーディスクが書き込み禁止になっている。タブを動かして書き込み可能にする。詳しくは、「サイバーサポート」画面左側の バイオの使いかた をクリックし、［基本的な使いかた］→［フロッピーディスクを使う］→［フロッピーディスクのデータを誤って消さないようにする］の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

→ フロッピーディスクがフロッピーディスクドライブ ベイにきちんと入っているか確認する。

→ 「アプリケーションが使用中です」というメッセージが出たときは、フロッピーディスクの内容が画面で表示されている。画面表示されているときは初期化できないので、フロッピーディスクのウィンドウを閉じる。

フロッピーディスクにアクセスできない。

→ お使いになるフロッピーディスクのフォーマットなどをご確認ください。

本機で使用できるフロッピーディスクについて詳しくは、「サイバーサポート」画面左側の バイオの使いかた をクリックし、［基本的な使いかた］→［フロッピーディスクを使う］→［使用できるフロッピーディスク］の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

CD・DVDディスク

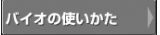
CD-ROMなどのディスクが再生できない。

→ ディスクが正しくトレイに置かれているか確認する。

→ ディスクの再生面を柔らかい布できれいに拭き、汚れをとる。（202ページ）

→ 結露（195ページ）が生じている可能性があります。1時間くらい待って電源を入れ直してから、もう1度再生してみる。

→ 再生音量を確認する。

→ 本機で使用できるディスクかどうか確認する。詳しくは、「サイバーサポート」画面左側の バイオの使いかた をクリックし、［基本的な使いかた］→［CDやDVDなどのディスクを使う］→［使用できるCDやDVDなどのディスク］を順にクリックして表示される情報をご覧ください。

DVDが再生できない。

→ DVDディスクの地域番号（リージョンコード）が合っているか確認する。（201ページ）

ディスクの再生時、音がとぎれる。

→ ディスクの再生面を柔らかい布できれいに拭き、汚れをとる。（202ページ）

ディスクが取り出せない。

→ 本機が省電力動作モードのときは、ディスクを取り出せません。
通常モードに復帰させてから、イジェクトボタンを押してください。
省電力動作モードについて詳しくは、「サイバーサポート」画面左側の バイオの使いかた をクリックし、［設定を変更する］→［バッテリの消費電力を節約する（「PowerPanel」の使いかた）］→［省電力動作モードについて］を順にクリックして表示される情報をご覧ください。

イジェクトボタンを押してもディスクが取り出せない。

→ 針金のようなもの（太めのクリップで代用可）を、ドライブ側面にあるマニュアルイジェクト穴に押し込んでください。

CD-RWの読み出しが遅い。

→ CD-RWディスクの読み出しは、一般にCD-ROMやCD-Rの読み出しよりも時間がかかります。また、フォーマットの種類によっても大きく異なります。

次のページへつづく

ディスクに書き込めない。

→ ディスクにデータを書き込む際のご注意をご確認ください。詳しくは、「サイバーサポート」画面左側の バイオの使いかた をクリックし、［基本的な使いかた］→［CDやDVDなどのディスクを使う］→［CD-RW、CD-Rにデータを書き込むときのご注意］の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

CD-RWに書き込んだMPEG2データを再生すると、正常に再生できない。

→ CD-RWディスクの読み込み速度は、CD-Rと比べて遅いため、高画質のMPEG2データは再生できないことがあります。

“メモリースティック”

「書込み禁止」または「書き込み保護されています」というメッセージが表示された。

→ “メモリースティック”が書き込み禁止になっている。タブを動かして書き込み可能にする。

詳しくは、「サイバーサポート」画面左側の バイオの使いかた をクリックし、［基本的な使いかた］→［“メモリースティック”を使う］→［データを書き込み禁止にする］の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

MD

操作を受け付けない、または正しく動作しない。

→ MDを入れなおす。

詳しくは、「サイバーサポート」画面左側の バイオの使いかた をクリックし、［基本的な使いかた］→［MDで音楽を楽しむ］→［MDを入れる／取り出す］の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

→ 結露（195ページ）が生じている可能性があります。

MDを取り出して、そのまま数時間おいてください。

→ 損傷しているMD、または録音や編集の内容などの情報が正しく入力されていないMDが入っている。
録音しなおしてください。それでもエラー表示が出るときは、他のMDと取りかえてください。

→ 内部システムが誤動作している。

MDを取り出し、いったんNet MD ベイを本機から取りはずし、本機を再起動してからNet MD ベイを再度取り付けてください。詳しくは、「サイバーサポート」画面左側の バイオの使いかた をクリックし、[基本的な使いかた] → [MDで音楽を楽しむ] → [Net MD ベイを取り付ける／取りはずす] の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

チェックアウトした音楽が他のMD機器で再生できない。

→ MDLP モードでチェックアウトした音楽は、MDLP非対応機器で再生することはできません。

チェックアウトしたのにMDの中に曲がない。

→ チェックアウトの途中でNet MD ベイを本機から取りはずした。

チェックアウトが完了し、Net MD ベイの動作が止まるまで、Net MD ベイを本機から取りはずさないでください。

チェックアウト中に「転送中にエラーが発生しました」というメッセージが表示される。

→ MDの空き容量を確認してください。

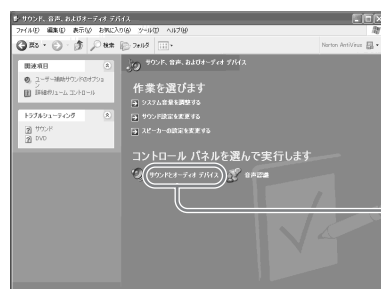
MDを再生しても音が出ない。

→ 音量調整ダイヤルが「0」になっていないか確認する。

音量調整ダイヤルが「0」以外なのに音が出ない場合は、下記の手順に従って、本機の内蔵スピーカーの音量設定を確認してください。

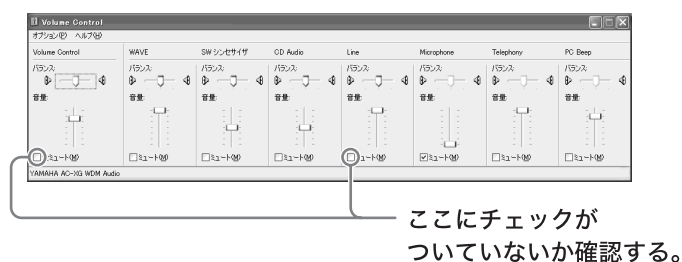
1 **スタート ボタンをクリックして、[コントロール パネル] をクリックする。**

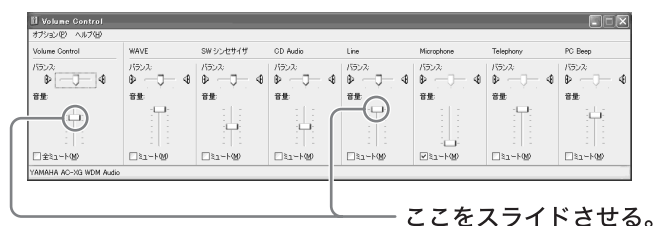
2 **[サウンド、音声、およびオーディオデバイス] アイコンをクリックする。**

3 **[サウンドとオーディオ デバイス] アイコンをクリックする。**

次のページへつづく

困ったときは

4 ［オーディオ］タブの「音の再生」にある 音量(V)... をクリックする。

5 「Volume Control」の「全ミュート」や「Line」の「ミュート」にチェックがついていないか確認する。

チェックがついている場合は、チェックボックスをクリックして、チェックをはずします。

6 「Volume Control」や「Line」の音量スライダで音量を調節する。

→ USBスピーカーを使っている。

Net MD ドライブから出力される信号はアナログです。USBスピーカーを使って音を聞くことはできません。アナログスピーカーをお使いください。USBスピーカーで音を聞きたい場合は、「SonicStage」ソフトウェアを使って本機のハードディスク内に取り込んだ音楽を再生してください。

MDが取り出せない。

→ Net MD ベイを取りはずし、Net MD ベイ上面にあるマニュアルイジェクトレバーをスライドして、MDを取り出してください。

MDにチェックアウトできない。

→ MDが誤消去防止状態になっている。

MDを取り出して、録音可能状態にする。詳しくは、「サイバーサポート」画面左側の バイオの使いかた をクリックし、[基本的な使いかた] → [MDで音楽を楽しむ] → [MD録音の前にお読みください] の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

→ 市販の再生専用MDが入っている。

録音用MDと交換してください。

→ MDの残り時間が足りない。

曲をチェックインするか、いらない曲を消すか、別のMDと交換してください。

本機に曲をチェックインできない。

→ 他のコンピュータやMD機器で録音した音楽データは本機にチェックインまたは録音（取り込み）することはできません。

ワイヤレスLAN（PCG-NV99E/Bなどのワイヤレス LAN搭載モデルのみ）

ワイヤレスLANが使えない。

→ WIRELESS LANスイッチを「ON ▶」方向にスライドさせているか確認してください。（140ページ）

本機とワイヤレスLANアクセスポイントの通信ができない。

→ WIRELESS LANスイッチを「ON ▶」方向にスライドさせているか確認してください。（140ページ）

→ ワイヤレスLANアクセスポイントの電源が入っているか確認してください。

→ 次の手順に従って［ワイヤレスネットワーク］タブの「利用できるネットワーク」にワイヤレスLANアクセスポイントが表示されているか確認してください。

1 スタート **ボタンをクリックして「コントロール パネル」をクリックする。**

2 **［ネットワークとインターネット接続］アイコンをクリックする。**

次のページへつづく

3 ［ネットワーク接続］アイコンをクリックする。
「ネットワーク接続」画面が表示されます。

4 ［ワイヤレス ネットワーク接続］アイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックする。
「ワイヤレス ネットワーク接続のプロパティ」画面が表示されます。

5 ［ワイヤレス ネットワーク］タブをクリックし、「利用できるネットワーク」にワイヤレスLANアクセスポイントが表示されているか確認する。

→ ワイヤレスLANアクセスポイントが表示されていないときは、アクセスポイントのチャンネルを確認してください。

本機は、1～11チャンネルに対応しています。
アクセスポイントのチャンネルを1～11に設定してください。
設定方法について詳しくは、アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。

→ 通信機器間の距離は、実際の通信機器間の障害物や電波状況、壁の有無・素材など周囲の環境、使用するソフトウェアなどにより変化します。
本機の設置場所を移動するか通信機器間の距離を近づけてください。

→ 入力したネットワークキーが間違えていることがあります。

セキュリティ上、１度設定したネットワークキーは「●」で表示され、確認することはできません。再度入力し直してください。

1 スタート ボタンをクリックして「コントロール パネル］をクリックする。

2 ［ネットワークとインターネット接続］→［ネットワーク接続］の順にクリックする。

3 ［ワイヤレス ネットワーク接続］アイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックする。

4 ［ワイヤレス ネットワーク］タブをクリックする。

5 「優先するネットワーク」のリストから確認したいものを選び、［プロパティ］をクリックする。

6 ネットワーク キーを入力し直し、OK をクリックする。

7 「ワイヤレス ネットワーク接続のプロパティ」画面で OK をクリックし、画面を閉じる。

データ転送速度が遅い。

→ データ転送速度は、通信機器間の距離や障害物、機器構成、電波状況、使用するソフトウェアなどにより変化します。
本機の設置場所を移動するか通信機器間の距離を近づけてください。

→ 他のワイヤレスLANアクセスポイントと混信している場合は、アクセスポイントで無線チャンネルの設定をしてください。詳しくは、アクセスポイントに付属の取扱説明書をご覧ください。

→ ワイヤレスLANアクセスポイントへのアクセスが集中している可能性があります。その場合は、時間をおいてからもう1度アクセスしてください。

インターネットにアクセスできない。

→ ワイヤレスLANアクセスポイントの設定を確認してください。詳しくは、アクセスポイントに付属の取扱説明書をご覧ください。

→ 本機とワイヤレスLANアクセスポイントが接続されているか確認してください。（142ページ）

→ 本機の設置場所を移動するか、本機とワイヤレスLANアクセスポイント間の距離を近づけてください。

最大通信速度が11 MbpsとあるがMPEG2のデータを転送するととぎれる。

→ ワイヤレスLANアクセスポイント経由の最大実効速度は約4〜5 Mbpsです。これはIEEE802.11b準拠の製品全般にいえることです。MPEG2のような高レートのストリーム転送には実行速度が充分でない場合があります。

ネットワーク上の他のコンピュータが表示されない。

→ Windowsを起動するときのパスワード入力を確認してください。
Windowsを起動したときに要求されるユーザー名とパスワードを入力した上でログオンしてください。

→ Windowsのネットワーク設定を確認してください。
詳しくはWindowsのヘルプをご覧ください。

→ 他のコンピュータがワイヤレスLANネットワークの中に存在しない場合は表示されません。

次のページへつづく

IBSS Ad hocモードで通信できない。

→ ワイヤレスLANアクセスポイントとの通信設定が行われていると、IBSS Ad hocモードでの通信が行えないことがあります。この場合には、以下の設定を行ってください。

1 [スタート] ボタンをクリックして［コントロール パネル］をクリックする。

2 ［ネットワークとインターネット接続］→［ネットワーク接続］の順にクリックする。

3 ［ワイヤレス ネットワーク接続］アイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックする。

4 ［ワイヤレス ネットワーク］タブをクリックする。

5 ［詳細設定］をクリックし、「アクセスするネットワーク」で［コンピュータ相互（ad hoc）のネットワークのみ］を選んでから、［閉じる］をクリックする。

6 ［OK］をクリックする。

DV機器・i.LINK機器

DV機器が使用できない。または、「DV機器が接続されていないか、電源が入っていないので、動作しません。」などのメッセージが表示される。

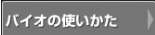
→ DV機器の電源が入っているか、またはケーブルが正しく接続されているか確認する。（170ページ）

→ i.LINKでは、複数の機器を接続して動くように設計されていますが、機器との組み合わせによっては、動作が不安定になることがあります。接続されている機器すべての電源をいったん切り、なるべく不要な機器を取りはずして、ケーブルの接続を確認した後、再度電源を入れてください。

本機と接続したi.LINK対応機器が認識されない。または、「DV機器が接続されていないか、電源が入っていないので、動作しません。」などのメッセージが表示される。

→ いったんi.LINKケーブルを抜き、再度接続し直してください。（170ページ）

「DVgate」ソフトウェアを使用してテープに録画中、「DV機器への録画に失敗しました。DV機器の電源、接続の状態を確認して操作をやり直してください」というメッセージが表示される。

→ DV機器の電源やケーブルが正しく接続されているかどうか確認してください。また、続けて録画を行っていると、機器が正しく接続されていても、録画できなくなる場合があります。その場合、すべてのソフトウェアを終了してから本機を再起動してください。
さらに快適な環境でご使用いただくためには、メモリの増設をおすすめします。（158ページ）

「DVgate」ソフトウェアを使用中にフレーム落ちが生じる。

→ 使用状況によってはフレーム落ちが生じることがあります。

その場合は、メモリの増設をしてください。（158ページ）

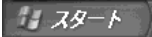
i.LINK接続したバイオどうしで接続できない。

→ お使いの機種によっては、本機とデータのやりとりができない場合があります。詳しくは、「サイバーサポート」画面左側の バイオの使いかた をクリックし、[拡張・接続／データのやりとり] → [i.LINK対応機器とデータをやりとりする] → [i.LINK接続でデータをやりとりする] の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

→ i.LINKケーブルをいったん抜いてもう1度挿し直してください。しばらく待って接続できないときは再起動してください。

→ ネットワークの設定によっては、省電力動作モードから復帰後に接続できなくなることがあります。その場合は、省電力動作モードに入らないようにしてご使用ください。

プリンタ

プリンタで印刷できない。

→ Windows XP対応でないプリンタドライバではお使いになれません。

→ お使いのプリンタの製造元からWindows XPに対応したドライバを入手してお使いいただくか、プリンタの製造元へお問い合わせください。

→ プリンタポートのモード設定を変更する。

詳しくは、「サイバーサポート」画面左側の バイオの使いかた をクリックし、[設定を変更する] → [本機の使用環境を設定する（「Sony Notebook Setup」の使いかた）] → [プリンタポートの設定を変更する] の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

PCカード

PCカードが使えない。

→ Windows XP対応でないPCカードは使えないことがあります。

→ 以前使用できたPCカードが使用できなくなった場合は、次の手順でドライバの更新を行ってください。

1 スタート ボタンをクリックして、[コントロール パネル] をクリックする。

2 [パフォーマンスとメンテナンス] アイコンをクリックする。

3 [システム] アイコンをクリックする。

4 [ハードウェア] タブの [デバイス マネージャ] をクリックする。

5 動作しないPCカードをダブルクリックして、プロパティ画面を表示する。

6 [ドライバ] タブの [ドライバの更新] をクリックする。

→ ドライバの更新を行っても使用できない場合は、PCカード製造元にお問い合わせください。

スピーカー

スピーカーから音が出ない。

→ 音量調整ダイヤルが「0」になっていないか確認する。

音量調整ダイヤルが「0」以外なのに音が出ない場合は、下記の手順に従って、本機の内蔵スピーカーの音量設定を確認してください。

1 [スタート] ボタンをクリックして、[コントロール パネル] をクリックする。

2 [サウンド、音声、およびオーディオデバイス] アイコンをクリックする。

3 [サウンドとオーディオ デバイス] アイコンをクリックする。

4 [オーディオ] タブの「音の再生」にある [音量(V)...] をクリックする。

5 「全ミュート」や「ミュート」にチェックがついていないか確認する。

チェックがついている場合は、チェックボックスをクリックして、チェックをはずします。

6 「Volume Control」や「Line」などの音量スライダで音量を調節する。

→ 再生音量を確認する。

→ 外部スピーカーをお使いの場合は、本機とスピーカーが正しく接続されているか確認する。

→ 外部スピーカーの音量が最小になっている。音量つまみで音量を上げる。
詳しくは、スピーカーに付属の取扱説明書をご覧ください。

→ ∩（ヘッドホン）コネクタにケーブルをつないでいるときは、ケーブルをはずす。

→ USBスピーカーをつないでMDを再生している。

Net MDドライブから出力される信号はアナログです。USBスピーカーを使って音を聞くことはできません。アナログスピーカーをお使いください。
USBスピーカーで音を聞きたい場合は、「SonicStage」ソフトウェアを使って本機のハードディスク内に取り込んだ音楽を再生してください。

次のページへつづく

Fnキーを押しながらF3キーまたはF4キーを押しても、何も表示されない。

→ 次の手順で「デバイス マネージャ」画面を表示し、サウンドデバイスを使用できるように設定してください。

1 スタート ボタンをクリックして、［コントロール パネル］をクリックする。

2 ［パフォーマンスとメンテナンス］アイコンをクリックする。

3 ［システム］アイコンをクリックする。

4 ［ハードウェア］タブの［デバイス マネージャ］をクリックする。

マイク

マイクが使えない。

→ 録音デバイスとしてマイクが選択されていない可能性があります。次の手順に従って選択してください。

1 スタート ボタンをクリックして［コントロール パネル］をクリックする。

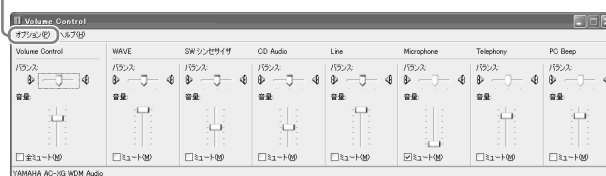
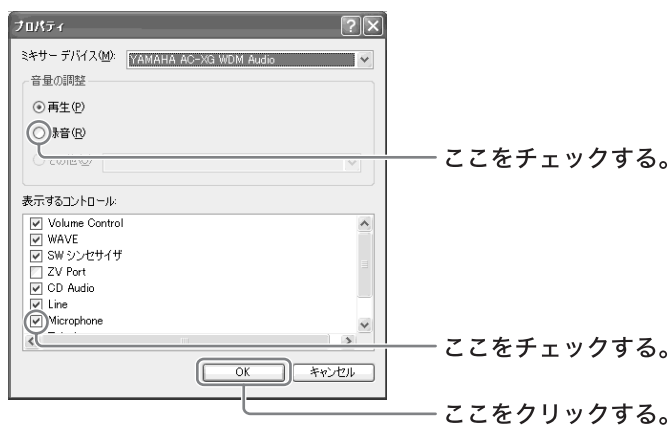
「コントロール パネル」画面が表示されます。

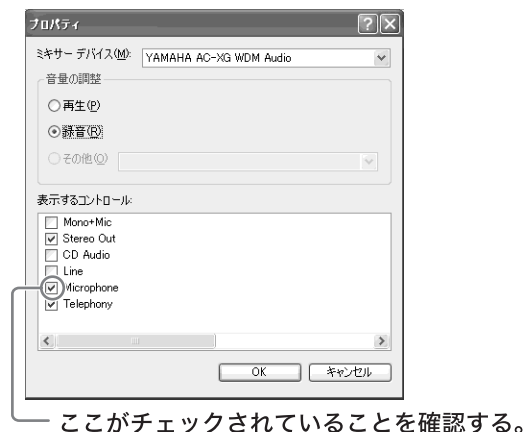
2 ［サウンド、音声、およびオーディオデバイス］をクリックする。

3 画面左側の「関連項目」から、［詳細ボリュームコントロール］をクリックする。

「ボリュームコントロール」画面が表示されます。

4 ［オプション］メニューから［プロパティ］を選ぶ。

ここをクリックする。

5 「音量の調整」の［録音］と［表示するコントロール］のマイクの項目をチェックし、［OK］をクリックする。

6 マイクの項目の［選択］がチェックされていることを確認する。

ここがチェックされていることを確認する。

チェックされていないときは、クリックしてチェックします。

7 スライダを上下に動かして好みの音量に調整する。

→ 「Windows Media Player」などの音声を扱うソフトウェアと同時に動かしている場合は、それらのソフトウェアを終了させてください。

→ プラグインパワー方式に対応したマイクをご使用ください。

次のページへつづく

音声を扱うソフトウェアでエラーメッセージが表示された。

→ 他の音声を扱うソフトウェアと同時に動かしている場合は、それらのソフトウェアを終了させてください。

ファン

ファンの音が大きい。

→「PowerPanel」ソフトウェアの「放熱制御の方法」を「サイレント」に変更する。詳しくは、「PowerPanel」のヘルプをご覧ください。

ファンが回らない。

→ CPUの発熱に応じて回転数を制御するため、電源が入っているときでもファンが回らない場合があります。また、ファンが回っていても回転音が静かで聞こえない場合があります。

パスワード

パスワードを忘れた。

→ パスワードを忘れてしまったときは、修理（有償）が必要となります。VAIOカスタマーリンクにご連絡ください。

省電力動作モード

バッテリ残量がわずかなのに、休止状態にならない。

→ 使用中のソフトウェアや接続している周辺機器によっては、Windowsからの指示で作業を一時中断することができないため、この機能が正しく働かないことがあります。

休止状態に移行できない。

次の操作を行ってください。

→ モデム通信やプリンタユーティリティなどが使用中の場合は、終了するか一時的に使用不可にする。

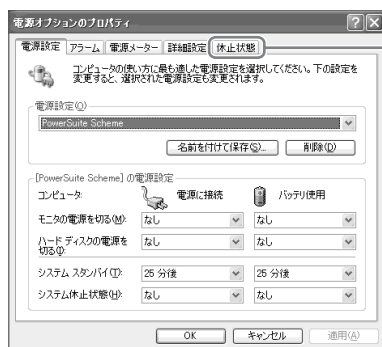
→ それでも休止状態に移行できない場合は、次の手順で操作してください。

1 **スタート ボタンをクリックして、[コントロール パネル] をクリックする。**

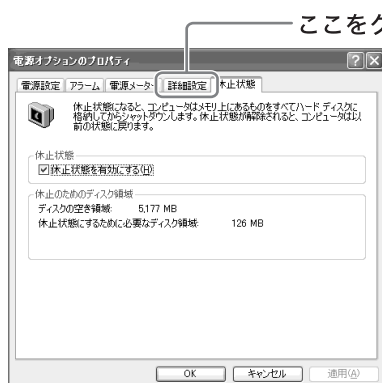
2 **[パフォーマンスとメンテナンス] アイコンをクリックする。**

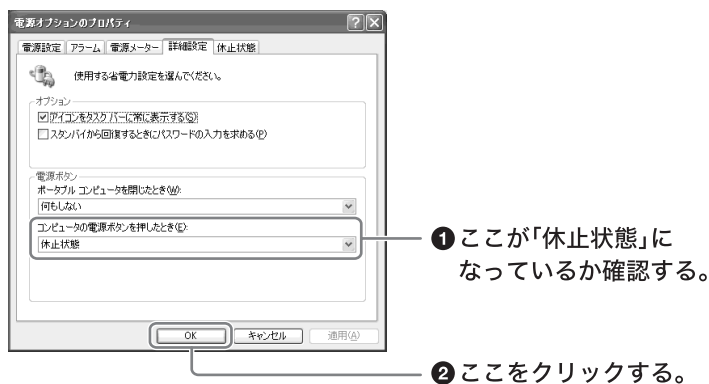
3 **[電源オプション] アイコンをクリックする。**

「電源オプションのプロパティ」画面が表示されます。

4 **[休止状態] タブで「休止状態を有効にする」がチェックされているか確認する。**

ここをクリックし、
[休止状態を有効にする]
がチェックされているか
確認する。

チェックされていないときは、チェックボックスをクリックしてチェックしてください。

5 **[詳細設定] タブをクリックする。**

次のページへつづく

6 「電源ボタン」の「コンピュータの電源ボタンを押したとき」が「休止状態」になっているか確認する。

「休止状態」になっていないときは、 をクリックして［休止状態］を選び、 OK をクリックしてください。

スタンバイに移行できない。

→ モデム通信やプリンタユーティリティなどが使用中の場合は、終了するか一時的に使用不可にする。

→ スクリーンセーバーの種類によっては、表示中はスタンバイに移行できないことがあります。

電源オプションの設定が有効にならない。

→ 付属の「PowerPanel」ソフトウェアを使用して設定してください。本機では、「PowerPanel」で省電力動作モードを管理しています。
設定方法について詳しくは、「サイバーサポート」画面左側の バイオの使いかた をクリックし、［設定を変更する］→［バッテリの消費電力を節約する（「PowerPanel」の使いかた）］→［プロファイルのパワーマネージメント設定を変更する］の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

ハードディスク

誤ってハードディスクを初期化してしまった。

→ リカバリ CDを使って、本機を再セットアップする必要があります。(182ページ)

ハードディスクから起動できない。

→ フロッピーディスクがフロッピーディスクドライブ ベイに入っているときは、イジェクトボタンを押して取り出す。その後、キーボードのいずれかのキーを押す。

文字入力

日本語が入力できない。

→ 「サイバーサポート」画面左側の できるWindows をクリックして表示される情報をご覧ください。

キーボードを使って正しく入力できない。

→ U、I、O、J、K、L、M、@などの文字が入力できない場合は、Num Lock(ナムロック)が有効になっている場合があります。
(Num Lock)ランプが点灯していないか確認してください。点灯している場合は、Num Lkキーを押してランプを消灯させてから入力してください。(65ページ)

→ 次の手順で操作し、キーボードの項目が「日本語 PS/2 キーボード(106/109キー Ctrl+英数)」に設定されているか確認してください。異なるキーボードタイプに設定していると、入力したい文字と違う文字が表示されることがあります。

1. **スタート ボタンをクリックして、[コントロール パネル]をクリックする。**
2. **[パフォーマンスとメンテナンス]アイコンをクリックする。**
3. **[システム]アイコンをクリックする。**
4. **「ハードウェア」タブの[デバイス マネージャ]をクリックする。**
5. **キーボードの項目が「日本語 PS/2 キーボード(106/109キー Ctrl+英数)」に設定されているか確認する。**

次のページへつづく

入力した文字が表示されない。

→ 文字を入力したいソフトウェアの画面が前面に出ていない。（ディスプレイ上では薄い色の画面になります。）画面のどこかをクリックするか、AltキーとTabキーを同時に押して目的のソフトウェアを前面に出し、使える状態にする。

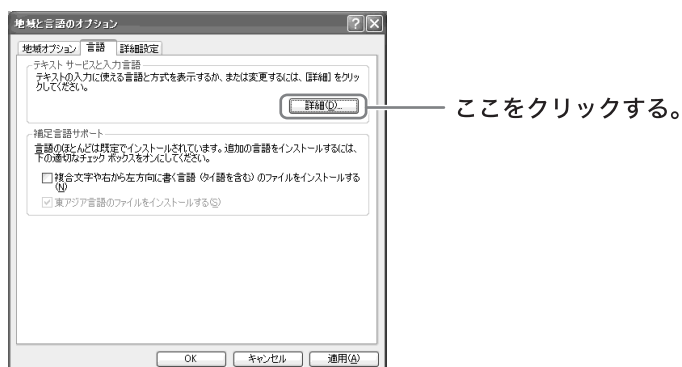
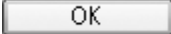
IME の言語バーが表示されない。

→ IME の言語バーが表示されない場合は、次の手順で操作し言語バーを表示させてください。

1 **スタート ボタンをクリックして、［コントロールパネル］をクリックする。**

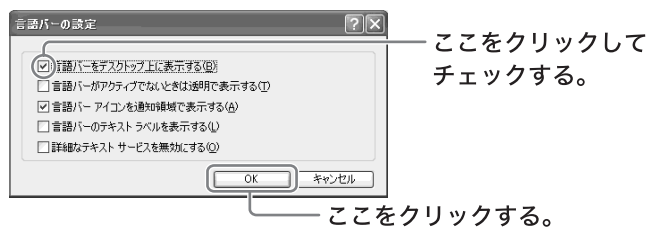
2 **［日付、時刻、地域と言語のオプション］、［地域と言語のオプション］アイコンを順にクリックする。**

「地域と言語のオプション」画面が表示されます。

3 **［言語］タブをクリックし、詳細(D)... をクリックする。**

「テキスト サービスと入力言語」画面が表示されます。

4 **言語バー(B)... をクリックする。**

「言語バーの設定」画面が表示されます。

5 ［言語バーをデスクトップ上に表示する］をクリックしてチェックし、［OK］をクリックする。

6 「テキスト サービスと入力言語」画面、「地域と言語のオプション」画面でそれぞれ［OK］をクリックして画面を閉じる。

言語バー右上の （最小化ボタン）をクリックすると言語バーはタスクバーに収納され、タスクバーに常に表示させておくことができます。

プロセッサ（CPU）

「システムのプロパティ」画面でCPUのクロック周波数が正しく表示されない。

→「システムのプロパティ」画面にはCPUのクロック周波数が低めに表示される場合があります。

困ったときは

メッセージ

下記のようなメッセージが表示された場合は、それぞれの項目をご覧ください。

アプリケーションが使用中です

→「フロッピーディスク」（「マイ コンピュータ」からフロッピーディスクを選んで初期化しようとしたができない。）の項目をご覧ください。（246ページ）

書き込み禁止（フロッピーディスク）

→「フロッピーディスク」（「書き込み禁止」というメッセージが表示された。）の項目をご覧ください。（246ページ）

ディスクがいっぱいです

→「フロッピーディスク」（「ディスクがいっぱいです」というメッセージが表示され、ファイルなどをフロッピーディスクに保存できない。）の項目をご覧ください。（246ページ）

「書き込み禁止」または「書き込み保護されています」（“メモリースティック”）

→「“メモリースティック”」（「書き込み禁止」または「書き込み保護されています」というメッセージが表示された。）の項目をご覧ください。（248ページ）

DV機器が接続されていないか、電源が入っていないので、動作しません。

→「DV機器・i.LINK機器」（DV機器が使用できない。または、「DV機器が接続されていないか、電源が入っていないので、動作しません。」などのメッセージが表示される。）の項目をご覧ください。（254ページ）

DV機器への録画に失敗しました。DV機器の電源、接続の状態を確認して操作をやり直してください。

→「DV機器・i.LINK機器」（「DVgate」ソフトウェアを使用してテープに録画中、「DV機器への録画に失敗しました。DV機器の電源、接続の状態を確認して操作をやり直してください」というメッセージが表示される。）の項目をご覧ください。（255ページ）

No System disk or disk error. Replace and press any key when ready.

→「Windowsの起動」(電源を入れると、「No System disk or disk error. Replace and press any key when ready.」や「Invalid system disk. Replace the disk, and then press any key.」、「NTLDR is missing. Press any key to restart.」というメッセージが出て、Windowsが起動できない。)の項目をご覧ください。(222ページ)

Invalid system disk. Replace the disk, and then press any key.

→「Windowsの起動」(電源を入れると、「No System disk or disk error. Replace and press any key when ready.」や「Invalid system disk. Replace the disk, and then press any key.」、「NTLDR is missing. Press any key to restart.」というメッセージが出て、Windowsが起動できない。)の項目をご覧ください。(222ページ)

NTLDR is missing. Press any key to restart.

→「Windowsの起動」(電源を入れると、「No System disk or disk error. Replace and press any key when ready.」や「Invalid system disk. Replace the disk, and then press any key.」、「NTLDR is missing. Press any key to restart.」というメッセージが出て、Windowsが起動できない。)の項目をご覧ください。(222ページ)

Operating system not found.

→「Windowsの起動」(電源を入れると、「Operating system not found」と表示され、Windowsが起動できない。)の項目をご覧ください。(222ページ)

Press <F1> to resume, <F2> to Setup

→「Windowsの起動」(電源を入れたあと、「Press <F1> to resume, <F2> to Setup」と表示され、Windowsが起動しない。)の項目をご覧ください。(223ページ)

System Disable

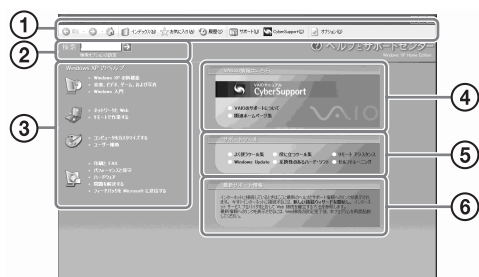
→「Windowsの起動」(電源を入れると、「System Disable」と表示され、Windowsが起動しない。)の項目をご覧ください。(223ページ)

「ヘルプとサポートセンター」について

「ヘルプとサポートセンター」は、Windowsやバイオの使いかたのFAQ（よくある質問とその回答）の検索、最新情報の入手など、サポートに関する情報の入り口です。困ったときは、まず「ヘルプとサポートセンター」をご覧ください。

「ヘルプとサポートセンター」を見るには

液晶ディスプレイ右下にあるHELPボタン（22ページ）を押す。または、デスクトップ画面左下の スタート ボタンをクリックして、表示されるメニューから［ヘルプとサポート］をクリックしても起動できます。
「ヘルプとサポートセンター」画面が表示されます。

デスクトップ画面上の をダブルクリックしても表示できます。

① **ナビゲーションバー**
よく使用するページを登録したり、開いたページの履歴を参照することができます。
ここから「サイバーサポート」を起動することもできます。

② **検索**
Windowsやバイオで調べたいことをキーワード検索できます。

③ **Windows XPのヘルプ**
Windowsやバイオの使いかたのFAQ（よくある質問とその回答）を見ることができます。

④ **バイオの情報はこちら**
「サイバーサポート」や、VAIOカスタマーリンクのホームページなどを見ることができます。

⑤ **サポートツール**
困ったとき、設定を変更したいとき、Windowsの操作を学習するときなどに役に立つソフトウェアを起動したり、関連する情報を見ることができます。

⑥ **最新サポート情報**
Windowsやバイオの最新サポート情報を見ることができます。

「ヘルプとサポートセンター」の情報の中には、インターネットに接続することによって、最新の情報に更新されるものがあります。インターネットに接続するための設定について詳しくは、「インターネットに接続する」（70ページ）をご覧ください。

索引

五十音順

次のページへつづく

アルファベット順

ソフトウェアをお使いになる前に、必ずお買い上げのパソコンに添付のソフトウェア使用許諾契約書をご覧ください。

商標について

- VAIO はソニー株式会社の商標です。
- “MagicGate MemoryStick”（“マジックゲートメモリースティック”）および MG 、“Memory Stick”（“メモリースティック”）、 、MEMORY STICK、“MagicGate”（“マジックゲート”）、MAGICGATE、OpenMG、OpenMGは、ソニー株式会社の商標です。
- So-net、ソネットおよびSo-netロゴはソニー株式会社の登録商標です。
- i.LINKは、IEEE1394-1995とIEEE1394a-2000を示す呼称です。i.LINKとi.LINKロゴ“ i ”はソニー株式会社の商標です。
- 「CastaDrive」、および CastaDrive はソニー株式会社の商標です。
- 「PercasTV」、および percastv はソニー株式会社の商標です。
- 「Webpocket」はソニー株式会社の商標です。
- Intel、Pentium、Celeron、SpeedStepはIntel Corporationの商標または登録商標です。
- Microsoft、MS-DOS、Windows Media、Windows、OutlookおよびBookshelfは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Bookshelf Basicは、次の書籍を基に制作されました。
  『新英和中辞典』 第6版© 研究社 1967,1994,1998,
  『新和英中辞典』 第4版© 研究社 1933,1995,1998,
  『新明解国語辞典』 第5版© 三省堂 1972,1974,1981,1989,1997
- IBMおよびPC/AT、PS/2は、米国International Business Machines Corporationの商標および登録商標です。
- Adobe、Acrobat ReaderはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
- Copyright © 2001 DigiOn Inc. and Easy Systems Japan Ltd. All rights reserved.
  Drag'n Drop CDはEasy Systems Japan Ltd.とDigiOn Inc.の商標です。
- Copyright © 1993-2002 FUJISOFT ABC Inc. All rights reserved.
- Copyright © 1995-2002 Macromedia, Inc. All rights reserved.
  MacromediaおよびFlashは、Macromedia, Inc.の商標または登録商標です。
- DIRECTOR® COPYRIGHT©1994,1996 Macromedia, Inc.
- Made with Macromediaは、Macromedia, Inc.の商標です。
- QuickTime and QuickTime Player are trademarks of Apple Computer, Inc., registered in the U.S. and other countries.
- 「RealPlayer」は、米国また諸各国において、米国RealNetworks, Inc.社の登録商標あるいは登録申請中の商標です。
- Recording Technology by VERITAS Software.
- Copyright InterVideo,Inc 2001 All Rights Reserved.
- 2002 AMERICA ONLINE. INC. All Rights Reserved.
- ©2001 Broderbund Properties LLC, and its licensors. All rights reserved.
  Broderbund, Kid Pix and Fun tools for big imaginations are trademarks of Broderbund Properties LLC.
- Copyright © 2000-2002 Digital Arts Inc.
- ©2000-2002 DigiCube
  PostPet™ ©1996-2002 Sony Communication Network Corporation.
- BIGLOBEは日本電気株式会社の登録商標です。
- DIONはKDDI株式会社の登録商標です。
- Copyright 2001 Entertainment Plus Inc. All Rights Reserved.
- Grami Stick
  All rights Reserved. Copyright © CyberGene.com Corporation.
  Contains IP3 Technology licensed from Visionarts, Inc.
  Portions of this software are based in part on the work of the Independent JPEG Group
- Grami Best Selection
  Released Version v1.02
  Copyright © 2001-2002 CyberGene.com Corporation
  This product contains a software product of Visionarts, Inc.
  “Net Icon Driver”(Copyright © 2001-2002 Visionarts, Inc All rights reserved.).
  This product contains IP3 Technology licensed by Visionarts, Inc.
  Portions of this software are based in part on the work of the Independent JPEG Group
- K56flexはConexant Systems, Inc.とLucent Technologies社の商標です。
- @niftyはニフティ株式会社の商標です。
- Symantec、Symantecロゴ、Norton AntiVirusはSymantec Corporationの登録商標です。
  2002 Symantec Corporation. All Rights Reserved.
- OCNは、NTTコミュニケーションズ株式会社の商標です。
- ODNは日本テレコム株式会社の商標です。
- 「ぷらら」は株式会社ぷららネットワークスの登録商標です。
- PowerPanelは米国フェニックス テクノロジーズ社の商標です。
- PHANTASY STAR ONLINE（ファンタシースターオンライン）は（株）セガ及びSONIC TEAMの登録商標です。
- 「ConceptBase」「ConceptBase Search」「CBSearch」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。
  Portion Copyright 2000 株式会社ジャストシステム
  Portion Copyright 1981-1988 Microsoft Corporation
- Gen-Onはソニーデジタルネットワークアプリケーションズ株式会社の商標です。
- 時事通信社「家庭の医学」デジタル第Ⅱ版は、時事通信社の商標です。
- 「できる」は株式会社インプレスの登録商標です。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名、サービス名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。

国際エネルギースタープログラムについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象商品に関する基準を満たしていると判断します。

国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっております。
対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク（ロゴ）は参加各国の間で統一されています。

マクロビジョンについて

本機は、マクロビジョンコーポレーションやその他の権利者が保有する、米国特許上の方法クレームおよびその他の知的所有権によって保護された著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンコーポレーションの許諾が必要であり、マクロビジョンコーポレーションが特別に許諾する場合を除いては、一般家庭その他における限られた視聴用以外に使用してはならないこととされています。リバースエンジニアリングまたは分解は禁止されています。

充電式電池の収集・リサイクルについて

リチウムイオン電池は、リサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。
充電式電池の収集・リサイクルおよびリサイクル協力店に関する問い合わせ先：
社団法人電池工業会　ホームページ：http://www.baj.or.jp

漏洩電流自主規制について

この装置の本体およびディスプレイは、それぞれ社団法人電子情報技術産業協会（旧JEIDA）のパソコン基準（PC-11-1988）に適合しております。

著作権について

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
なお、この商品の価格には、著作権法上の定めにより、私的録音補償金が含まれております。
（お問い合わせ先　（社）私的録音補償金管理協会　Tel.03-5353-0336）

- □ 権利者の許諾を得ることなく、本機に付属のソフトウェアおよび取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、およびソフトウェアを賃貸することは、著作権法上禁止されております。
- □ 本機、および本機に付属のソフトウェアを使用したことによって生じた損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は一切その責任を負いかねます。
- □ 本機の保証条件は、同梱の当社所定の保証書の規定をご参照ください。
- □ 本機に付属のソフトウェアは、本機以外には使用できません。
- □ 本機、および本機に付属のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご容赦ください。
- □ CD-ROMや音楽CDからのコピーの作成およびその利用は、使用許諾条件または著作権法に違反する場合があります。コピーの作成およびその利用にあたっては、オリジナルCDの利用許諾条件および著作権法を遵守してください。使用許諾条件、著作権法についてご不明な点がある場合は、法律の専門家にご相談ください。

VAIO

VAIOホームページ
バイオを楽しく使っていただくための情報をご案内します。
● http://www.vaio.sony.co.jp/

VAIOカスタマーリンク ホームページ
バイオの最新サポート情報をご案内します。
● http://vcl.vaio.sony.co.jp/

http://www.sony.co.jp/

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35

技術的なお問い合わせ、および修理のご依頼はVAIOカスタマーリンクへ
（VAIOカスタマーリンクお問い合わせ先は、本書の「困ったときは」または別冊の「バイオ サービス・サポートのご案内」をご覧ください。）

Printed in Japan